令和８年度

施工単価条件表

（設計業務等）

富山県土木部

施工単価条件表（設計業務等）

・ 索引（番号順）
・ 索引（５０音順）
・ 索引（工種順）

１．測量
２．地質調査
３．設計

設計業務等

測　　量

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
測量				
				委-1
＝＝　第１編　測量業務　＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝				
＝＝　第２章 第１節 共通				
打合せ（測量）	SA100	業務		委-1-　1
関係機関協議資料作成（測量）	SA010	回		委-1-　3
関係機関打合せ協議（測量）	SA011	回		委-1-　4
往復旅行時間にかかる直接人件費	SA021	式		委-1-　5
＝＝　第２章 第２節 基準点測量				
１級基準点測量	SA141	業務	改訂	委-1-　9
２級基準点測量	SA121	業務	改訂	委-1-　11
３級基準点測量	SA130	業務		委-1-　14
４級基準点測量	SA140	業務	改訂	委-1-　17
基準点設置　地上埋設（普通）	SA155	点		委-1-　19
基準点設置　地上埋設（上面舗装）	SA156	点	改訂	委-1-　20
基準点設置　地下埋設	SA157	点		委-1-　21
基準点設置　屋上埋設	SA158	点		委-1-　22
基準点設置　コンクリート杭設置	SA159	点	改訂	委-1-　23
＝＝　第２章 第３節 水準測量				
１級水準測量観測（レベル等による）	SA111	業務	改訂	委-1-　24
２級水準測量観測（レベル等による）	SA112	業務		委-1-　26
３級水準測量観測（レベル等による）	SA113	業務		委-1-　28
４級水準測量観測（レベル等による）	SA114	業務	改訂	委-1-　30
水準点設置（永久標識）	SA118	業務		委-1-　32
水準点設置（永久標識以外）	SA119	業務	改訂	委-1-　33
＝＝　第２章 第４節 路線測量				
路線測量　作業計画	SA161	業務		委-1-　34
路線測量　現地踏査	SA162	km		委-1-　35
路線測量　伐採	SA163	km		委-1-　37
路線測量　線形決定（条件点の観測）	SA175	点	改訂	委-1-　39
路線測量　線形決定	SA164	km	改訂	委-1-　41

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
路線測量　ＩＰ設置	SA165	km	改訂	委-1-　43
路線測量　中心線測量	SA166	km	改訂	委-1-　46
路線測量　仮ＢＭ設置測量	SA167	km	改訂	委-1-　49
路線測量　縦断測量	SA168	km	改訂	委-1-　51
路線測量　横断測量	SA169	km		委-1-　53
路線測量　詳細測量（縦断測量）	SA170	km	改訂	委-1-　56
路線測量　詳細測量（横断測量）	SA176	km	改訂	委-1-　58
路線測量　用地幅杭設置測量	SA171	km	改訂	委-1-　60
＝＝　第２章 第５節 河川測量				
作業計画	SA401	業務		委-1-　62
現地踏査	SA402	業務		委-1-　63
距離標設置測量	SA403	業務	改訂	委-1-　64
水準基標測量	SA404	業務		委-1-　65
河川定期縦断測量　直接水準	SA405	業務	改訂	委-1-　66
河川定期横断測量　直接水準（平地）	SA406	業務	改訂	委-1-　67
河川定期横断測量　複写	SA407	業務	改訂	委-1-　68
河川定期横断測量　直接水準（山地）	SA408	業務	改訂	委-1-　69
河川定期横断測量　間接水準（山地）	SA409	業務	改訂	委-1-　70
法線測量	SA410	業務	改訂	委-1-　71
＝＝　第２章 第６節 深浅測量				
作業計画	SA249	業務		委-1-　72
ダム・貯水池深浅測量	SA252	測線	改訂	委-1-　73
河川深浅測量	SA250	測線	改訂	委-1-　74
海岸深浅測量	SA251	測線	改訂	委-1-　75
＝＝　第２章 第７節 用地測量				
用地測量	SA350	業務		委-1-　76
作業計画	SA361	業務		委-1-　79
現地踏査	SA363	業務		委-1-　80
公図等の転写(地積測量図以外の公図等転写)	SA364	業務	改訂	委-1-　81
地積測量図転写（地積測量図のみの転写）	SA378	業務		委-1-　82
土地の登記記録調査	SA365	業務		委-1-　83

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
建物の登記記録調査	SA366	戸		委-1- 84
権利者確認調査（当初）	SA367	業務		委-1- 85
権利者確認調査（追跡）	SA382	人		委-1- 86
公図等転写連続図作成	SA368	業務		委-1- 87
復元測量	SA380	業務	改訂	委-1- 88
境界確認	SA369	業務		委-1- 89
土地境界確認書作成	SA383	ha		委-1- 90
補助基準点設置	SA370	業務	改訂	委-1- 91
境界測量	SA371	業務	改訂	委-1- 92
用地境界仮杭設置	SA373	業務	改訂	委-1- 93
用地境界杭設置	SA379	本	改訂	委-1- 94
境界点間測量	SA381	業務	改訂	委-1- 95
面積計算	SA374	業務		委-1- 96
用地実測図原図作成	SA375	業務		委-1- 97
用地現況測量（建物等）	SA372	業務	改訂	委-1- 98
用地平面図作成	SA376	業務		委-1- 99
土地調書作成	SA377	業務		委-1- 100
公共用地境界確定協議	SA351	業務		委-1- 101
公共用地管理者との打合せ	SA384	業務		委-1- 103
現況実測平面図作成	SA385	業務	改訂	委-1- 104
横断面図作成	SA386	km	改訂	委-1- 105
依頼書作成	SA387	km		委-1- 106
協議書作成	SA388	km		委-1- 107
杭の写真台帳作成	SA389	業務		委-1- 108
立会謝金	SA390	業務		委-1- 109
用地測量（小規模）	SA340	業務		委-1- 110
＝＝　第２章 第８節 空中写真測量				
撮影計画	SA200	km2	改訂	委-1- 111
総運航	SA203	時間		委-1- 112
撮影費	SA204	時間		委-1- 113
滞留費	SA205	日	改訂	委-1- 114
GNSS/IMU計算	SA211	枚	改訂	委-1- 115
数値写真作成	SA212	枚	改訂	委-1- 116

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
対空標識の設置	SA210	点		委-1- 117
標定点測量	SA222	点	改訂	委-1- 119
簡易水準測量	SA224	km		委-1- 121
同時調整	SA227	km2	改訂	委-1- 123
数値図化・作業計画	SA271	km2	改訂	委-1- 124
数値図化・現地調査	SA272	km2	改訂	委-1- 126
数値図化・数値図化	SA273	km2	改訂	委-1- 128
数値図化・数値編集	SA274	km2	改訂	委-1- 130
数値図化・補測編集	SA275	km2	改訂	委-1- 132
数値図化・数値地形図データファイルの作成	SA276	km2	改訂	委-1- 134
＝＝　第２章 第９節 現地測量				
現地測量（作業計画）	SA552	業務		委-1- 135
現地測量	SA151	業務	改訂	委-1- 136
＝＝　第２章 第10節 航空レーザ測量				
全体計画	SA281	km2		委-1- 139
計測計画	SA282	km2	改訂	委-1- 140
総運航	SA283	時間		委-1- 141
計測	SA284	時間		委-1- 142
滞留	SA285	日		委-1- 143
調整点の設置	SA286	箇所or km2	改訂	委-1- 144
点群データ及びオリジナルデータ作成	SA287	km2	改訂	委-1- 145
グラウンドデータ作成	SA288	km2	改訂	委-1- 146
グリット（標高）データ作成	SA289	km2	改訂	委-1- 147
等高線データ作成	SA290	km2	改訂	委-1- 148
成果データファイル作成	SA291	km2	改訂	委-1- 149
＝＝　第２章 第11節 三次元点群測量				
UAV写真点群測量	SA300	業務	改訂	委-1- 150
地上レーザ測量	SA310	業務	改訂	委-1- 151
UAVレーザ測量	SA320	業務	改訂	委-1- 152

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝				
＝＝　道路管理図作成				
道路管理図作成（耕地）	SA261	km2		委-1- 153
道路台帳修正（延長200m以上）	SA262	m		委-1- 155
道路台帳修正（延長200m未満）	SA263	箇所		委-1- 157
＝＝　国土交通省港湾請負工事積算基準　＝＝＝				
＝＝　旅費				
旅費（港湾）	SH335	式		委-1- 159
＝＝　計画準備等				
計画準備等（計画準備）港湾	SH301	式		委-1- 161
計画準備等（機材運搬）港湾	SH302	式	改訂	委-1- 162
基準点測量（踏査）港湾	SH304	式		委-1- 163
交通車（港湾）	SH305	日		委-1- 164
基準点測量（陸上設標）港湾	SH306	地点		委-1- 165
基準点測量（海上設標）港湾	SH307	地点		委-1- 166
基準点測量（測角・測距）港湾	SH308	点		委-1- 167
基準点測量（整理計算）港湾	SH309	点		委-1- 168
基準点測量（主要基準点設置）港湾	SH310	点		委-1- 169
基準点測量（補助基準点設置）港湾	SH311	点		委-1- 170
＝＝　水準測量				
水準測量（水準測量）港湾	SH312	km		委-1- 171
水準測量（成果報告）港湾	SH313	断面		委-1- 172
＝＝　水深測量				
水深測量（艤装テスト）港湾	SH321	式		委-1- 173
水深測量（音響測深）港湾	SH322	km		委-1- 174
水深測量（測深）港湾	SH323	式		委-1- 176
船外機船運転	SH324	日		委-1- 177
水深測量（成果報告）港湾	SH325	式		委-1- 178
深浅測量（業務成果品）港湾	SH334	式		委-1- 179
事前協議	SH011	回		委-1- 180

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
中間報告	SH012	回		委-1- 181
最終報告	SH013	回		委-1- 182
水深測量（底質判別）港湾	SH326	地点		委-1- 183
水深測量（浮泥層調査）港湾	SH327	地点		委-1- 184
水深測量（岸線測量）港湾	SH328	km		委-1- 185
水深測量（岸線測量資料整理）港湾	SH329	cm		委-1- 186
＝＝　基準測定及び検潮				
基準測定及び検潮（基準測定）港湾	SH331	式		委-1- 187
基準測定及び検潮（検潮）港湾	SH332	日		委-1- 188
基準測定及び検潮（検潮資料整理）港湾	SH333	日		委-1- 189
＝＝　マルチビーム測深				
マルチビーム測量（測量準備）港湾	SH371	式		委-1- 190
マルチビーム測量（艤装テスト）港湾	SH372	式		委-1- 191
マルチビーム測量（マルチビーム測深）港湾	SH373	km2		委-1- 192
マルチビーム測量（報告書作成）港湾	SH374	式		委-1- 194
＝＝　海象観測装置定期点検・保守業務				
事前協議	SH011	回		委-1- 195
中間報告	SH012	回		委-1- 196
最終報告	SH013	回		委-1- 197

施工単価コード　SA100

施工単価名称	打合せ（測量）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～D

出力名称	打合せ（測量）
規格名称１	（設計種別）
規格名称２	
適用条件	

１．打合せ議事録の作成時間及び移動時間（片道所要時間1時間程度以内）を含むものとする。
２．電話及び電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
３．中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数（3回を標準）を計上する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。
なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。

条件名	A	条件名称	設計種別

01	基準点測量
02	水準測量
03	現地測量
04	路線測量
05	河川測量
06	深浅測量
07	用地測量
08	空中写真測量　撮影（デジタル）
09	空中写真測量　数値図化
10	航空レーザ測量

条件名	B	条件名称	中間打合せの有無

01	中間打合せ　有り
02	中間打合せ　無し

施工単価コード SA100

条件名	C	条件名称	中間打合せ回数（省略時は標準回数）
実数	条件省略値:0		

B=2の時、打ち合せ回数は入力不可
省略すれば、標準とする。

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA010

施工単価名称	**関係機関協議資料作成（測量）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	関係機関協議資料作成（測量）
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA011

施工単価名称	関係機関打合せ協議（測量）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	関係機関打合せ協議（測量）
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	

１．打合せ議事録の作成時間及び移動時間（片道所要時間1時間程度以内）を含むものとする。
２．電話及び電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
３．関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とし、関係機関打合せ協議の回数を増減する場合は、1回当たり、関係機関打合せ協議1回の人員を増減する。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA021

施工単価名称	往復旅行時間にかかる直接人件費						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～Y

出力名称	往復旅行時間にかかる直接人件費
規格名称１	（業務区分）
規格名称２	
適用条件	
１．往復旅行時間にかかる直接人件費が必要な場合に適用する。	

条件名	A	条件名称	業務区分
01	測量		
02	設計		
03	地質調査		

条件名	B	条件名称	移動日数（測量上級主任技師）
実数	条件省略値:0		

B条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	移動日数（測量主任技師）
実数	条件省略値:0		

C条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	移動日数（測量技師）
実数	条件省略値:0		

D条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	移動日数（測量技師補）
実数	条件省略値:0		

E条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	F	条件名称	移動日数（測量助手）
実数	条件省略値:0		

F条件は、A=1のとき入力可能。

施工単価コード SA021

条件名	G	条件名称	移動日数（測量補助員）
実数	条件省略値:0		

G条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	H	条件名称	移動日数（操縦士）
実数	条件省略値:0		

H条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	I	条件名称	移動日数（整備士）
実数	条件省略値:0		

I条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	J	条件名称	移動日数（撮影士）
実数	条件省略値:0		

J条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	K	条件名称	移動日数（測量船操縦士）
実数	条件省略値:0		

K条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	L	条件名称	移動日数（撮影助手）
実数	条件省略値:0		

L条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	M	条件名称	移動日数（主任技術者）
実数	条件省略値:0		

M条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	N	条件名称	移動日数（理事、技師長）
実数	条件省略値:0		

N条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	O	条件名称	移動日数（主任技師）
実数	条件省略値:0		

O条件は、A=2のとき入力可能。

施工単価コード　SA021

条件名	P	条件名称	移動日数（技師Ａ）
実数	条件省略値:0		

P条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	Q	条件名称	移動日数（技師Ｂ）
実数	条件省略値:0		

Q条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	R	条件名称	移動日数（技師Ｃ）
実数	条件省略値:0		

R条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	S	条件名称	移動日数（技術員）
実数	条件省略値:0		

S条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	T	条件名称	移動日数（地質調査技師）
実数	条件省略値:0		

T条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	U	条件名称	移動日数（主任地質調査員）
実数	条件省略値:0		

U条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	V	条件名称	移動日数（地質調査員）
実数	条件省略値:0		

V条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	W	条件名称	移動日数（試験助手）
実数	条件省略値:0		

W条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	X	条件名称	測量上級主任技師単価（円／人）
実数			

X条件は、B>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード　SA021

条件名	Y	条件名称	試験助手単価（円／人）
実数			

Y条件は、W>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード　SA141

施工単価名称	１級基準点測量						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～I

出力名称	１級基準点測量
規格名称１	新点（Ｃ条件値）点
規格名称２	（地域条件）　（地形条件）
適用条件	
１．新点50点以下とする。 ２．基準点設置の地上埋設（普通）、地上埋設（上面舗装）、地下埋設、屋上埋設と併せて使用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 ４．伐採のある場合は、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	１級基準点測量　新点数（点）
実数			

作業量は、50点まで

施工単価コード SA141

条件名	D	条件名称	地上埋設（普通）（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、35点まで

条件名	E	条件名称	地上埋設（上面舗装）（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、80点まで

条件名	F	条件名称	地下埋設（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、80点まで

条件名	G	条件名称	屋上埋設（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、80点まで

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（11～14）
実数	条件省略値:0		

基準点測量変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA121

施工単価名称	２級基準点測量						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～J

出力名称	２級基準点測量
規格名称１	新点（D条件値）点
規格名称２	（地域条件）　（地形条件）
適用条件	
１．新点35点以下とする。 ２．基準点設置の地上埋設（普通）、地上埋設（上面舗装）、地下埋設、屋上埋設と併せて使用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	伐採の有無
＊ 01	伐採無し		
02	伐採有り		

伐採を必要としない場合は、伐採工程の人日数を減ずるものとする。

施工単価コード SA121

条件名	D	条件名称	２級基準点測量　新点数（点）
実数			

作業量は、35点まで

条件名	E	条件名称	地上埋設（普通）（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、35点まで

条件名	F	条件名称	地上埋設（上面舗装）（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、80点まで

条件名	G	条件名称	地下埋設（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、80点まで

条件名	H	条件名称	屋上埋設（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、80点まで

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～05）
実数	条件省略値:0		

条件名	J	条件名称	構成項目の選択（13～16）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード	SA121

基準点測量変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA130

施工単価名称	３級基準点測量						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～J

出力名称	３級基準点測量
規格名称１	新点（D条件値）点
規格名称２	（地域条件）　（地形条件）
適用条件	

１．新点80点以下とする。
２．基準点設置の地上埋設（上面舗装）、地下埋設、屋上埋設、コンクリート杭設置と併せて使用する。ただし、永久標識設置を設置しない場合は永久標識設置なしの直接人件費に対する割合を適用する。
３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
４．伐採を必要としない場合は、伐採工程の人日数を減ずるものとする。
５．直接人件費に対する割合は「伐採なし」の数値を適用するものとする。

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	伐採・永久標識の有無
＊ 01	伐採無し・永久標識無し		
02	伐採無し・永久標識有り		

施工単価コード SA130

条件名	C	条件名称	伐採・永久標識の有無
03	伐採有り・永久標識無し		
04	伐採有り・永久標識有り		

伐採は必要に応じて計上のこと。

条件名	D	条件名称	３級基準点測量　新点数（点）
実数			

作業量は、80点まで

条件名	E	条件名称	地上埋設（上面舗装）（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、80点まで

条件名	F	条件名称	地下埋設（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、80点まで

条件名	G	条件名称	屋上埋設（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、80点まで

条件名	H	条件名称	コンクリート杭設置（点）
実数	条件省略値:0		

作業量は、80点まで

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～05）
実数	条件省略値:0		

条件名	J	条件名称	構成項目の選択（13～16）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA130

基準点測量変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA140

施工単価名称	４級基準点測量						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～E

出力名称	４級基準点測量
規格名称１	新点（D条件値）点
規格名称２	（地域条件）　（地形条件）
適用条件	
１．新点170点以下とする。 ２．伐採を必要としない場合は、伐採工程の人日数を減ずるものとする。 ３．直接人件費に対する割合は「伐採なし」の数値を適用するものとする。 ４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件

01	大市街地
02	市街地甲
03	市街地乙
04	都市近郊
05	耕地
06	原野
07	森林

条件名	B	条件名称	地形条件

01	平地
02	丘陵地
03	低山地
04	高山地

条件名	C	条件名称	伐採の有無

＊ 01	伐採無し
02	伐採有り

伐採は必要に応じて計上のこと。

施工単価コード　SA140

条件名	D	条件名称	４級基準点測量　新点数（点）
実数			

作業量は、170点まで

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～05）
実数	条件省略値:0		

省略すれば、標準とする。

基準点測量変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA155

施工単価名称	基準点設置　地上埋設（普通）						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	点	条件	A～B

出力名称	基準点設置　地上埋設（普通）
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．新点35点以下とする。 ２．1級基準点測量、2級基準点測量と併せて使用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

条件名	B	条件名称	精度管理費区分
01	1級基準点測量		
02	2級基準点測量		

施工単価コード　SA156

施工単価名称	基準点設置　地上埋設（上面舗装）						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	点	条件	A～B

出力名称	基準点設置　地上埋設（上面舗装）
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．新点80点以下とする。 ２．1級基準点測量、2級基準点測量、3級基準点測量と併せて使用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

条件名	B	条件名称	精度管理費区分
01	1級基準点測量		
02	2級基準点測量		
03	3級基準点測量		

施工単価コード　SA157

施工単価名称	**基準点設置　地下埋設**						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	点	条件	A～B

出力名称	基準点設置　地下埋設
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．新点80点以下とする。 ２．1級基準点測量、2級基準点測量、3級基準点測量と併せて使用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

条件名	B	条件名称	精度管理費区分
01	1級基準点測量		
02	2級基準点測量		
03	3級基準点測量		

施工単価コード　SA158

施工単価名称	基準点設置　屋上埋設						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	点	条件	A～B

出力名称	基準点設置　屋上埋設
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．新点80点以下とする。 ２．1級基準点測量、2級基準点測量、3級基準点測量と併せて使用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

条件名	B	条件名称	精度管理費区分
01	1級基準点測量		
02	2級基準点測量		
03	3級基準点測量		

施工単価コード　SA159

施工単価名称	基準点設置　コンクリート杭設置						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	点	条件	A

出力名称	基準点設置　コンクリート杭設置
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．新点80点以下とする。 ２．3級基準点測量と併せて使用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA111

施工単価名称	１級水準測量観測（レベル等による）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～D

出力名称	１級水準測量観測（レベル等による）
規格名称１	作業量（Ｃ条件値）km
規格名称２	（地域条件）　（地形条件）
適用条件	
１．1級水準測量観測700km以下に適用する。 ２．埋標は別途計上する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	１級水準測量観測作業量（km）
実数			

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA111

水準測量変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3				×
4				×
5				×
6				×
7	×	×		

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA112

施工単価名称	２級水準測量観測（レベル等による）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～D

出力名称	２級水準測量観測（レベル等による）
規格名称１	作業量（Ｃ条件値）km
規格名称２	（地域条件）　（地形条件）
適用条件	
１．2級水準測量観測100km以下に適用する。 ２．埋標は別途計上する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	２級水準測量観測作業量（km）
実数			

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SA112

水準測量変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3				×
4				×
5				×
6				×
7	×	×		

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA113

施工単価名称	３級水準測量観測（レベル等による）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～E

出力名称	３級水準測量観測（レベル等による）
規格名称１	作業量（Ｄ条件値）km
規格名称２	（地域条件）　（地形条件）
適用条件	
１．3級水準測量観測50km以下に適用する。 ２．埋標は別途計上する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	対象路線の位置
＊ 01	道路上・道路沿い		
02	道路外		

道路上・道路沿及び道路外の区分は主として水準路線が既設の道路沿いにあるか、
そうでないかによって決定する。

施工単価コード　SA113

条件名	D	条件名称	３級水準測量観測作業量（km）
実数			

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

水準測量変化率

（Ｃ条件が１の場合）

Ａ条件	Ｂ条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3				×
4				×
5				×
6				×
7	×	×		

（Ｃ条件が２の場合）

Ａ条件	Ｂ条件			
	1	2	3	4
1	×	×	×	×
2	×	×	×	×
3	×	×	×	×
4		×	×	×
5			×	×
6	×			×
7	×	×		

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA114

施工単価名称	４級水準測量観測（レベル等による）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～E

出力名称	４級水準測量観測（レベル等による）
規格名称１	作業量（Ｄ条件値）km
規格名称２	（地域条件）　（地形条件）
適用条件	
１．4級水準測量観測20km以下に適用する。 ２．埋標は別途計上する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	対象路線の位置
＊ 01	道路上・道路沿い		
02	道路外		

道路上・道路沿及び道路外の区分は主として水準路線が既設の道路沿いにあるか、
そうでないかによって決定する。

施工単価コード　SA114

条件名	D	条件名称	４級水準測量観測作業量（km）
実数			

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

水準測量変化率

（Ｃ条件が１の場合）

Ａ条件	Ｂ条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3				×
4				×
5				×
6				×
7	×	×		

（Ｃ条件が２の場合）

Ａ条件	Ｂ条件			
	1	2	3	4
1	×	×	×	×
2	×	×	×	×
3	×	×	×	×
4		×	×	×
5			×	×
6	×			×
7	×	×		

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA118

施工単価名称	**水準点設置（永久標識）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	水準点設置（永久標識）
規格名称１	新点（Ａ条件値）点
規格名称２	
適用条件	
１．作業量は新点65点以下に適用する。 ２．地上・地下埋設及び1級～4級の各水準測量に適用するものとし 水準測量と併せて使用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業 時間も含む。	

条件名	A	条件名称	水準点設置（永久標識）　新点数（点）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA119

施工単価名称	水準点設置（永久標識以外）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	水準点設置（永久標識以外）
規格名称１	新点（Ａ条件値）点
規格名称２	
適用条件	
１．作業量は、新点20点以下に適用する。 ２．固定点を除く一時標識の設置に適用する。水準測量と併せて使用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	水準点設置（永久標識以外）　新点数（点）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA161

施工単価名称	**路線測量　作業計画**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	路線測量　作業計画
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 ３．本歩掛については、路線測量の作業計画に係る費用以外は含まない。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1を入力

１．発注機関との打合せ、物品、資料の収集、計画書及び計画図の作成。

施工単価コード　SA162

施工単価名称	**路線測量　現地踏査**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～D

出力名称	路線測量　現地踏査
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	交通量
01	0～1000台未満／12時間		
02	1000～3000台未満／12時間		
03	3000台以上／12時間		

施工単価コード SA162

条件名	D	条件名称	調整係数
	実数	条件省略値:0	

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

路線測量積算変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA163

施工単価名称	**路線測量　伐採**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～D

出力名称	路線測量　伐採
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	交通量
01	0～1000台未満／12時間		
02	1000～3000台未満／12時間		
03	3000台以上／12時間		

施工単価コード SA163

条件名	D	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1を入力

路線測量積算変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA175

施工単価名称	**路線測量　線形決定（条件点の観測）**						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	点	条件	A～C

出力名称	路線測量　線形決定（条件点の観測）
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．線形決定において設計条件となる点（線形決定する上で避けるべきポイント）があり、その位置（座標）が必要な場合に限り計上する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA175

路線測量積算変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA164

施工単価名称	**路線測量　線形決定**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～C

出力名称	路線測量　線形決定
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．路線測量の図上線形決定に適用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

省略すれば、標準とする。

施工単価コード　SA164

路線測量積算変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA165

施工単価名称	**路線測量　　ＩＰ設置**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～F

出力名称	路線測量　ＩＰ設置
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．路線測量のＩＰ設置測量に適用する。 ３．ＩＰの位置を現地に設置する必要がある場合に計上する。 ４．ＩＰ設置計算は、座標値を持たない場合にのみ計上する。 ５．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	曲線数条件
01	単曲線換算曲線数0		
02	単曲線換算曲線数1		
03	単曲線換算曲線数2		

施工単価コード SA165

条件名	C	条件名称	曲線数条件
04	単曲線換算曲線数3		
05	単曲線換算曲線数4		
06	単曲線換算曲線数5		
07	単曲線換算曲線数6		
08	単曲線換算曲線数7		
09	単曲線換算曲線数8		
10	単曲線換算曲線数9		
11	単曲線換算曲線数10以上		

標準歩掛は、クロソイド曲線設置（Ａ１＋Ｒ＋Ａ２）1ヶ所を
標準としている。（曲線数は基準を参照のこと）
曲線数による変化率の曲線数は1km当りに換算し四捨五入する。
なお、単曲線は2ヶ所をもってクロソイド曲線設置1ヶ所とする。

条件名	D	条件名称	交通量
01	0～1000台未満／12時間		
02	1000～3000台未満／12時間		
03	3000台以上／12時間		

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

F=1の時、3桁以上は入力不可
省略すれば、標準とする。

条件名	F	条件名称	座標値
01	座標値あり		
02	座標値なし		

施工単価コード　SA165

路線測量積算変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA166

施工単価名称	**路線測量　中心線測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～F

出力名称	路線測量　中心線測量
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．路線測量の中心線測量に適用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件

01	大市街地
02	市街地甲
03	市街地乙
04	都市近郊
05	耕地
06	原野
07	森林

条件名	B	条件名称	地形条件

01	平地
02	丘陵地
03	低山地
04	高山地

条件名	C	条件名称	曲線数条件

01	単曲線換算曲線数0
02	単曲線換算曲線数1
03	単曲線換算曲線数2
04	単曲線換算曲線数3

施工単価コード SA166

条件名	C	条件名称	曲線数条件
05	単曲線換算曲線数4		
06	単曲線換算曲線数5		
07	単曲線換算曲線数6		
08	単曲線換算曲線数7		
09	単曲線換算曲線数8		
10	単曲線換算曲線数9		
11	単曲線換算曲線数10以上		

標準歩掛は、クロソイド曲線設置（Ａ１＋Ｒ＋Ａ２）1ヶ所を
標準としている。（曲線数は基準を参照のこと）
曲線数による変化率の曲線数は1km当りに換算し四捨五入する。
なお、単曲線は2ヶ所をもってクロソイド曲線設置1ヶ所とする。

条件名	D	条件名称	交通量
01	0～1000台未満／12時間		
02	1000～3000台未満／12時間		
03	3000台以上／12時間		

条件名	E	条件名称	測点間隔
01	測点間隔10m		
02	測点間隔20m		
03	測点間隔25m		
04	測点間隔50m		

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

省略すれば、標準とする。

施工単価コード	SA166

１．測点設置：杭打及び観測。
２．中心線測量は、中心杭の間隔は20mを標準として、これにプラス杭、役杭を加えたものとする。
　　基準点に取り付ける場合は、基準点測量の歩掛により別途計上する。

路線測量積算変化率について

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA167

施工単価名称	**路線測量　仮ＢＭ設置測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～D

出力名称	路線測量　仮ＢＭ設置測量
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．路線測量の仮ＢＭ設置測量に適用する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	交通量
01	0～1000台未満／12時間		
02	1000～3000台未満／12時間		
03	3000台以上／12時間		

施工単価コード SA167

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

省略すれば、標準とする。

路線測量積算変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA168

施工単価名称	**路線測量　縦断測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～D

出力名称	路線測量　縦断測量
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．縦断測量は直接水準、間接水準の両方に適用し、機械経費には、間接水準におけるトータルステーションも含む。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	交通量
01	0～1000台未満／12時間		
02	1000～3000台未満／12時間		
03	3000台以上／12時間		

施工単価コード SA168

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

路線測量積算変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA169

施工単価名称	**路線測量　横断測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～G

出力名称	路線測量　横断測量
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．横断測量は直接水準、間接水準の両方に適用し、機械経費には、間接水準におけるトータルステーションも含む。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	曲線数条件
01	単曲線換算曲線数0		
02	単曲線換算曲線数1		
03	単曲線換算曲線数2		

施工単価コード SA169

条件名	C	条件名称	曲線数条件
04	単曲線換算曲線数3		
05	単曲線換算曲線数4		
06	単曲線換算曲線数5		
07	単曲線換算曲線数6		
08	単曲線換算曲線数7		
09	単曲線換算曲線数8		
10	単曲線換算曲線数9		
11	単曲線換算曲線数10以上		

標準歩掛は、クロソイド曲線設置（Ａ１＋Ｒ＋Ａ２）1ヶ所を
標準としている。（曲線数は基準を参照のこと）
曲線数による変化率の曲線数は1km当りに換算し四捨五入する。
なお、単曲線は2ヶ所をもってクロソイド曲線設置1ヶ所とする。

条件名	D	条件名称	交通量
01	0～1000台未満／12時間		
02	1000～3000台未満／12時間		
03	3000台以上／12時間		

条件名	E	条件名称	測点間隔
01	測点間隔 10m		
02	測点間隔 20m		
03	測点間隔 25m		
04	測点間隔 50m		
05	測点間隔100m		

条件名	F	条件名称	測量幅
01	測量幅 45m未満		
02	測量幅 45m以上 75m未満		
03	測量幅 75m以上 95m未満		
04	測量幅 95m以上105m未満		
05	測量幅105m以上115m未満		
06	測量幅115m以上125m未満		
07	測量幅125m以上135m未満		

施工単価コード SA169

条件名	F	条件名称	測量幅
08	測量幅135m以上145m未満		
09	測量幅145m以上155m未満		
10	測量幅155m以上165m未満		
11	測量幅165m以上175m未満		
12	測量幅175m以上185m未満		
13	測量幅185m以上195m未満		
14	測量幅195m以上205m未満		
15	測量幅205m以上250m未満		
16	測量幅250m以上300m未満		

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

横断測量の測量幅は、中心線より左右各30mで測点間隔20mを標準としており、それと異なる場合は測量幅及び測点間隔による変化率による。

路線測量積算変化率について

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA170

施工単価名称	**路線測量　詳細測量（縦断測量）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～D

出力名称	路線測量　詳細測量（縦断測量）
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．詳細測量は、縦断測量で行う測量のほかに、さらに詳細な測量を必要とする場合に計上する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	交通量
01	0～1000台未満／12時間		
02	1000～3000台未満／12時間		
03	3000台以上／12時間		

施工単価コード SA170

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

省略すれば、標準とする。

路線測量積算変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA176

施工単価名称	**路線測量　詳細測量（横断測量）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～D

出力名称	路線測量　詳細測量（横断測量）
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．詳細測量は、横断測量で行う測量のほかに、さらに詳細な測量を必要とする場合に計上する。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	交通量
01	0～1000台未満／12時間		
02	1000～3000台未満／12時間		
03	3000台以上／12時間		

施工単価コード SA176

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

路線測量積算変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA171

施工単価名称	**路線測量　用地幅杭設置測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～D

出力名称	路線測量　用地幅杭設置測量
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
１．平地の標準作業歩掛であり、作業量（延長等）の増減に対しては、比例計算で計上し、地域の異なる場合等は路線測量変化率により補正する。 ２．用地幅杭で、コンクリート杭を使用する場合は、別途計上する。 ３．用地幅杭を片側のみ設置する場合においても同一歩掛とする。 ４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	交通量
01	0～1000台未満／12時間		
02	1000～3000台未満／12時間		
03	3000台以上／12時間		

施工単価コード SA171

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～05）
実数	条件省略値:0		

路線測量積算変化率

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA401

施工単価名称	**作業計画**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	作業計画
規格名称１	河川測量
規格名称２	
適用条件	
１．作業量（延長・幅・断面数等）の増減に対しては、比例計算で補正を行う。 ２．流心延長30km以下とする。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 ４．本歩掛については、河川測量の作業計画に係る費用以外は含まない。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード SA402

施工単価名称	**現地踏査**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	現地踏査
規格名称１	河川測量
規格名称２	流心延長（Ａ条件値）km
適用条件	

１．作業量（延長・幅・断面数等）の増減に対しては、比例計算で補正を行う。
２．流心延長30km以下とする。
３．流心延長10kmまでを延長による比例計算を行うものとし、10km超～30kmまでは10kmと同様の歩掛とする。
４．河川工事測量の現地踏査は路線測量の歩掛を適用する。
５．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

条件名	A	条件名称	流心延長（km）
実数			

流心延長は、省略不可
流心延長は、30kmまで

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SA403

施工単価名称	距離標設置測量						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	距離標設置測量
規格名称１	河川測量
規格名称２	設置数（Ｂ条件値）点
適用条件	
１．作業量（延長・幅・断面数等）の増減に対しては、比例計算で補正を行う。 ２．距離標設置数100点以下とする。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	測量業務種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

条件名	B	条件名称	距離標設置数（点）
実数			

設置数は、省略不可
設置数は、100まで

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SA404

施工単価名称	水準基標測量						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	水準基標測量
規格名称１	河川測量
規格名称２	測量延長（Ｂ条件値）km
適用条件	

１．作業量（延長・幅・断面数等）の増減に対しては、比例計算で補正を行う。
２．測量延長30km以下とする。
３．既知点（水準点）から水準基標までの取付観測が必要な場合は、2級水準測量を計上するものとする。
４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

条件名	A	条件名称	測量業務種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

条件名	B	条件名称	測量延長（km）
実数			

測量延長は、省略不可
測量延長は、30kmまで

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SA405

施工単価名称	河川定期縦断測量　直接水準							
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B	

出力名称	河川定期縦断測量　直接水準
規格名称１	河川測量
規格名称２	流心延長（Ａ条件値）km
適用条件	

１．作業量（延長・幅・断面数等）の増減に対しては、比例計算で
　　補正を行う。
２．定期縦断測点間隔50～200mかつ流心延長30km以下とする。
３．河川工事測量は路線測量の歩掛を適用する。
４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業
　　時間も含む。

条件名	A	条件名称	流心延長（km）
実数			

流心延長は、省略不可
流心延長は、30kmまで

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SA406

施工単価名称	河川定期横断測量　直接水準（平地）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	河川定期横断測量　直接水準（平地）
規格名称１	河川測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）本
適用条件	

１．作業量（延長・幅・断面数等）の増減に対しては、比例計算で補正を行う。
２．平均測量幅2～800mかつ定期横断測点間隔50～200mかつ流心延長30km以下とする。
３．平均測量幅450mまでを幅による比例計算を行うものとし、450m超～800mまでは450mと同様の歩掛とする。
４．河川工事測量は、路線測量の歩掛を適用する。
５．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

条件名	A	条件名称	作業量（本）
実数			

作業量は、省略不可

条件名	B	条件名称	平均測量幅（m）
実数			

測量幅は、省略不可
測量幅は、800mまで

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA407

施工単価名称	**河川定期横断測量　複写**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	河川定期横断測量　複写
規格名称１	河川測量
規格名称２	（A条件値）断面
適用条件	
１．作業量（延長・幅・断面数等）の増減に対しては、比例計算で補正を行う。 ２．河川における主として河状変化を調査するための横断測量に適用するものとする。 ３．定期的に河状調査のために実測する範囲は、河川定期横断測量または深浅測量（河川水深測量）の歩掛を適用する。 ４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業断面数
実数			

作業断面数は、省略不可

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード　SA408

施工単価名称	**河川定期横断測量　直接水準（山地）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	河川定期横断測量　直接水準（山地）
規格名称１	河川測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）本
適用条件	
１．作業量（延長・幅・断面数等）の増減に対しては、比例計算で補正を行う。 ２．平均測量幅0～100mかつ定期横断測点間隔50～200mかつ流心延長30km以下とする。 ３．河川工事測量は、路線測量の歩掛を適用する。 ４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（本）
実数			

作業量は、省略不可

条件名	B	条件名称	平均測量幅（m）
実数			

測量幅は、省略不可
測量幅は、100mまで

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SA409

施工単価名称	**河川定期横断測量　間接水準（山地）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	河川定期横断測量　間接水準（山地）
規格名称１	河川測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）本
適用条件	

１．作業量（延長・幅・断面数等）の増減に対しては、比例計算で補正を行う。
２．平均測量幅0～200mかつ定期横断測点間隔50～200mかつ流心延長30km以下とする。
３．河川工事測量は、路線測量の歩掛を適用する。
４．直接水準の不可能な勾配10%以上の傾斜が連続する区間で横断測量を実施する場合に限り適用する。
５．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

条件名	A	条件名称	作業量（本）
実数			

作業量は、省略不可

条件名	B	条件名称	平均測量幅（m）
実数			

測量幅は、省略不可
測量幅は、200mまで

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA410

施工単価名称	**法線測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	法線測量
規格名称１	河川測量
規格名称２	測量延長（Ａ条件値）km
適用条件	
１．作業量（延長・幅・断面数等）の増減に対しては、比例計算で補正を行う。 ２．法線測量測点間隔20～50mかつ流心延長10km以下とする。 ３．法線の縦横断測量は路線測量の縦横断測量を適用する。 ４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	測量延長（km）
実数			

測量延長は、省略不可
測量延長は、10kmまで

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA249

施工単価名称	**作業計画**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	作業計画
規格名称１	深浅測量
規格名称２	内業
適用条件	
１．ダム・貯水池深浅測量、河川深浅測量、海岸深浅測量のすべてにおいて 共通の歩掛として計上するものとする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業 時間も含む。 ３．本歩掛については、深浅測量の作業計画に係る費用以外は含まない。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SA252

施工単価名称	ダム・貯水池深浅測量						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	測線	条件	A～C

出力名称	ダム・貯水池深浅測量
規格名称１	水面幅（Ａ条件値）（m）
規格名称２	
適用条件	
１．横断面図作成には縦断面図の作成及びダム堆砂量の計算を含む。 ２．等深線図の作成を行う場合は、別途計上とする。 ３．補正は、ダム・貯水池深浅測量の変化率によるものとする。ただし、水面幅400mを超える場合は別途計上とする。 ４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	水面幅（m）
実数			

水面幅は、省略不可
水面幅は、400mまで

条件名	B	条件名称	水深区分
01	1m≦水深≦3m		
02	3m＜水深		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA250

施工単価名称	**河川深浅測量**						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	測線	条件	A～C

出力名称	河川深浅測量
規格名称１	水面幅（Ａ条件値）（m）
規格名称２	
適用条件	
１．等深線図を作成する場合は、別途計上とする。 ２．補正は河川深浅測量の変化率によるものとする。ただし、水面幅400mを超える場合は別途計上とする。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	水面幅（m）
実数			

水面幅は、省略不可
水面幅は、400mまで

条件名	B	条件名称	水深区分
01	1m≦水深≦3m		
02	3m＜水深		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA251

施工単価名称	海岸深浅測量						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	測線	条件	A～C

出力名称	海岸深浅測量
規格名称１	水面幅（Ａ条件値）（m）
規格名称２	
適用条件	
１．外海及び内海に適用する。 ２．横断面図作成には等深線図の作成を含む。 ３．補正は海岸深浅測量の変化率によるものとする。ただし、水面幅1500m を超える場合は別途計上とする。 ４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業 時間も含む。	

条件名	A	条件名称	水面幅（m）
実数			

水面幅は、省略不可
水面幅は、1,500mまで

条件名	B	条件名称	水深区分
01	水深≦3m		
02	3m＜水深		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA350

施工単価名称	**用地測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～M

出力名称	用地測量
規格名称１	複合施工
規格名称２	
適用条件	
１．用地測量関係の複合施工単価表である。 ２．実施に当ってこの施工単価表によることが不都合な場合は別途積算すること。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	境界面積（m2）
実数			

境界面積とは潰れ地面積と残地面積の合計をいう。

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

地域区分は下記の通りとする。
１．大市街地
　人口約100万人以上の大都市の中心部（家屋密度90％程度）
２．市街地（甲）
　人口約 50万人以上の大都市の中心部（家屋密度80％程度）
３．市街地（乙）
　上記以外の都市部（家屋密度60％程度）
４．都市近郊
　都市に接続する家屋の散在している地域（家屋密度40％程度）
５．耕　　地
　耕地及びこれに類似した所で農地でなくともこの中に含む
　（家屋密度20％程度以下）
６．原　　野
　木が少なく視通のよい所
７．森　　林
　木が多く視通の悪い所

施工単価コード SA350

条件名	C	条件名称	建物の登記記録調査対象戸数
実数	条件省略値:0		

条件名	D	条件名称	戸籍簿調査の有無
＊ 01	戸籍簿調査無し		
02	戸籍簿調査有り		
03	戸籍簿調査・追加確認有り		

条件名	E	条件名称	戸籍簿調査の追加確認人数（人）
実数			

D=3の時、確認人数は省略不可

条件名	F	条件名称	転写連続地図作成条件
＊ 01	転写連続地図作成無し		
02	転写連続地図作成有り		

転写した公図の位置関係を整合し連続図を作成する場合E=2とする。

条件名	G	条件名称	補足多角測量対象面積
＊ 01	補足多角測量無し		
02	境界面積× 10%		
03	境界面積× 20%		
04	境界面積× 30%		
05	境界面積× 40%		
06	境界面積× 50%		
07	境界面積× 60%		
08	境界面積× 70%		
09	境界面積× 80%		
10	境界面積× 90%		
11	境界面積×100%		

従前に設置した中心線、測点杭等が消失しており、そのままでは中心杭、測点杭を現地に復元することが困難である場合、又は、残地部分が従前に作成した多角網の範囲を越えているため所定の精度を保つことが困難な場合に、現地の状況に応じて適宜面積を設定するものとする。
なお、この施工単価条件によることが不適当な場合、別途実面積を計上すること。

施工単価コード SA350

条件名	H	条件名称	建物敷地面積の合計（m2）
	実数	条件省略値:0	

条件名	I	条件名称	用地平面図作成の有無
	＊ 01	用地平面図作成無し	
	02	用地平面図作成有り	

条件名	J	条件名称	用地実測図縮尺
	＊ 01	1／ 250	
	02	1／ 500	
	03	1／1000	

条件名	K	条件名称	復元測量の有無
	＊ 01	復元測量無し	
	02	復元測量有り	

条件名	L	条件名称	土地境界確認書作成対象面積（ha）
	実数	条件省略値:0	

条件名	M	条件名称	単価調整係数
	実数	条件省略値:0	

調整係数は、0～1まで

単価調整係数は、用地境界面積の残地部分が、圃場整備事業、区画整理事業或いは地積調査が完了済みであり、容易に土地の境界が判別でき、かつ、既存の確定された測量図等を利用して、用地測量ができる場合に使用する。

$$\text{単価調整係数} = \frac{\text{調整境界面積} \quad \cdots\cdots\cdots\cdots \quad ②}{\text{設計境界面積} \quad \cdots\cdots\cdots\cdots \quad ①}$$

① 設計境界面積 ＝ 丈量面積 ＋ 残地面積

② 調整境界面積 ＝ 丈量面積 ＋ 丈量延長（m）×W（m）

W ＝ 現道両側測量の場合 30m

W ＝ 現道片側測量の場合 20m

施工単価コード　SA361

施工単価名称	**作業計画**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	

出力名称	作業計画
規格名称１	用地測量
規格名称２	
適用条件	

１．用地測量に適用し、地域区分によらず1委託に1業務計上する。
２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
３．本歩掛については、用地測量の作業計画に係る費用以外は含まない。

施工単価コード　SA363

施工単価名称	**現地踏査**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	現地踏査
規格名称１	用地測量
規格名称２	
適用条件	
１．用地測量に適用し、地域区分によらず1委託に1業務計上する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域補正条件

01	大市街地
02	市街地甲
03	市街地乙
04	都市近郊
＊ 05	耕地
06	原野
07	森林

施工単価コード　SA364

施工単価名称	公図等の転写（地積測量図以外の公図等転写）							
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	公図等の転写(地積測量図以外の公図等転写)
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	業務種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA378

施工単価名称	**地積測量図転写（地積測量図のみの転写）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	地積測量図転写（地積測量図のみの転写）
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード SA365

施工単価名称	土地の登記記録調査						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	土地の登記記録調査
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
	01	大市街地	
	02	市街地甲	
	03	市街地乙	
	04	都市近郊	
	＊ 05	耕地	
	06	原野	
	07	森林	

条件名	C	条件名称	業務種別
	＊ 01	内・外業共	
	02	内業	
	03	外業	

施工単価コード　SA366

施工単価名称	建物の登記記録調査						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	戸	条件	A

出力名称	建物の登記記録調査
規格名称１	用地測量
規格名称２	
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．潰れ地にかかる建物件数が対象となる。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	業務種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA367

施工単価名称	**権利者確認調査（当初）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	権利者確認調査（当初）
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	業務種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA382

施工単価名称	**権利者確認調査（追跡）**						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	人	条件	A

出力名称	権利者確認調査（追跡）
規格名称１	用地測量
規格名称２	
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	業務種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA368

施工単価名称	公図等転写連続図作成						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	公図等転写連続図作成
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

施工単価コード SA380

施工単価名称	**復元測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	復元測量
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．復元測量とは、境界確認において境界を確定するうえで法務局において提出済の地積測量図他参考資料による杭の復元を行うものである。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA369

施工単価名称	**境界確認**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	境界確認
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	業務種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA383

施工単価名称	土地境界確認書作成						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	ha	条件	A～B

出力名称	土地境界確認書作成
規格名称１	用地測量
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域補正条件
	01	大市街地	
	02	市街地甲	
	03	市街地乙	
	04	都市近郊	
	＊ 05	耕地	
	06	原野	
	07	森林	

条件名	B	条件名称	業務種別
	＊ 01	内・外業共	
	02	内業	
	03	外業	

施工単価コード　SA370

施工単価名称	**補助基準点設置**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	補助基準点設置
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	

１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積に補足測量が必要な率をかけたものとする。
２．従前に設置した中心線、測点杭等が消失しており、そのままでは中心杭、測点杭を現地に復元することが困難である場合、又は、残地部分が従前に作成した多角網の範囲を超えているため所定の精度を保つことが困難な場合に現地の状況に応じて適宜面積を設定するものとする。
３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	業務種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA371

施工単価名称	**境界測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	境界測量
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA373

施工単価名称	用地境界仮杭設置						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	用地境界仮杭設置
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA379

施工単価名称	**用地境界杭設置**						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	本	条件	A

出力名称	用地境界杭設置
規格名称１	用地測量
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA381

施工単価名称	**境界点間測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	境界点間測量
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA374

施工単価名称	**面積計算**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	面積計算
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

施工単価コード　SA375

施工単価名称	用地実測図原図作成						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	用地実測図原図作成
規格名称１	用地測量　　作業量（Ａ条件値）m2
規格名称２	縮尺　（縮尺）
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	縮尺
＊ 01	1／ 250		
02	1／ 500		
03	1／1000		

施工単価コード　SA372

施工単価名称	**用地現況測量（建物等）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	用地現況測量（建物等）
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA376

施工単価名称	**用地平面図作成**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	用地平面図作成
規格名称１	用地測量　　作業量（Ａ条件値）m2
規格名称２	縮尺　（縮尺）
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	縮尺
＊ 01	1／ 250		
02	1／ 500		
03	1／1000		

施工単価コード　SA377

施工単価名称	**土地調書作成**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	土地調書作成
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．用地測量に適用し、対象面積は境界面積とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

施工単価コード　SA351

施工単価名称	公共用地境界確定協議						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～G

出力名称	公共用地境界確定協議
規格名称１	複合施工
規格名称２	
適用条件	
１．公共用地境界確定協議関係の複合施工単価表である。 ２．実施に当ってこの施工単価表によることが不都合な場合は別途積算すること。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	現況実測平面図作成の有無
01	現況実測平面図作成　無し		
02	現況実測平面図作成　有り		

既存地図等を利用する場合は「無し」を選択

条件名	B	条件名称	現況実測平面図作成（m2／業務）
実数			

A=2の時、入力可能かつ必須入力

条件名	C	条件名称	横断面図作成（km／業務）
実数			

条件名	D	条件名称	依頼書作成（km／業務）
実数			

条件名	E	条件名称	協議書作成（km／業務）
実数			

条件名	F	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		

施工単価コード SA351

条件名	F	条件名称	地域補正条件

03	市街地乙
04	都市近郊
＊ 05	耕地
06	原野
07	森林

地域区分は下記の通りとする。
１．大市街地
　人口約100万人以上の大都市の中心部（家屋密度90％程度）
２．市街地　甲
　人口約 50万人以上の大都市の中心部（家屋密度80％程度）
３．市街地　乙
　上記以外の都市部（家屋密度60％程度）
４．都市近郊
　都市に接続する家屋の散在している地域（家屋密度40％程度）
５．耕地
　耕地及びこれに類似した所で農地でなくともこの中に含む
　（家屋密度20％程度以下）
６．原野
　木が少なく視通のよい所
７．森林
　木が多く視通の悪い所

条件名	G	条件名称	縮尺

＊ 01	1／ 250
02	1／ 500
03	1／1000

A=2の時、選択可能

施工単価コード　SA384

施工単価名称	公共用地管理者との打合せ						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	公共用地管理者との打合せ
規格名称１	公共用地境界確定協議
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業種別

＊ 01	内・外業共
02	内業
03	外業

施工単価コード SA385

施工単価名称	現況実測平面図作成						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～D

出力名称	現況実測平面図作成
規格名称１	公共用地境界確定協議
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	縮尺
＊ 01	1／ 250		
02	1／ 500		
03	1／1000		

条件名	D	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA386

施工単価名称	**横断面図作成**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～B

出力名称	横断面図作成
規格名称１	公共用地境界確定協議
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA387

施工単価名称	**依頼書作成**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	

出力名称	依頼書作成
規格名称１	公共用地境界確定協議
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

施工単価コード　SA388

施工単価名称	**協議書作成**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A

出力名称	協議書作成
規格名称１	公共用地境界確定協議
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード SA389

施工単価名称	杭の写真台帳作成						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	杭の写真台帳作成
規格名称１	用地測量
規格名称２	作業量（Ａ条件値）m2

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	業務種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード　SA390

施工単価名称	**立会謝金**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	立会謝金
規格名称１	用地測量　　作業量（Ａ条件値）m2
規格名称２	（地域補正条件）
適用条件	
１．丈量測量に適用し、対象面積は調整境界面積とする。 ２．立会謝金は、諸経費の対象としない。	

条件名	A	条件名称	作業量（m2）
実数			

条件名	B	条件名称	地域補正条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
＊ 05	耕地		
06	原野		
07	森林		

施工単価コード SA340

施工単価名称	**用地測量（小規模）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	用地測量（小規模）
規格名称１	複合施工
規格名称２	
適用条件	
１．丈量面積約20m2未満、かつ、一点（箇所）の小規模な測量に適用する。 ２．境界面積3000m2未満の一筆の場合とし、多筆及び一筆の面積が著しく大きい場合は、適用しない。	

条件名	A	条件名称	地域補正条件
	01	大市街地	
	02	市街地甲	
	03	市街地乙	
	04	都市近郊	
	＊ 05	耕地	
	06	原野	
	07	森林	

条件名	B	条件名称	用地実測図縮尺
	＊ 01	1／ 250	
	02	1／ 500	
	03	1／1000	

施工単価コード	SA200

施工単価名称	**撮影計画**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km2	条件	A

出力名称	撮影計画
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	
適用条件	

１．撮影作業に先だち、撮影器材の選定（航空機の性能又は機種、デジタルカメラの性能等）、地上画素寸法の決定（撮影高度又は地上画素寸法、撮影基準面、撮影重複度等）、1／25000地形図等を利用して行う撮影航法の選定（撮影コース及び各コースの撮影開始ならびに終了地点等）ならびに撮影飛行場、撮影時間等の撮影作業全般にわたる計画及び準備作業である。
２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

条件名	A	条件名称	歩掛調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード　SA203

施工単価名称	**総運航**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	時間	条件	

出力名称	総運航
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

施工単価コード　SA204

施工単価名称	**撮影費**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	時間	条件	

出力名称	撮影費
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

施工単価コード　SA205

施工単価名称	**滞留費**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	

出力名称	滞留費
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

施工単価コード　SA211

施工単価名称	**GNSS/IMU計算**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	枚	条件	

出力名称	GNSS/IMU計算
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

施工単価コード　SA212

施工単価名称	**数値写真作成**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	枚	条件	

出力名称	数値写真作成
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

施工単価コード　SA210

施工単価名称	対空標識の設置						
実査区分	共通	単位数量	15	単位	点	条件	A～D

出力名称	対空標識の設置
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	写真縮尺 1/10,000～12,500
適用条件	
１．設置点数32点以下とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地物による分類
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形による分類
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード SA210

条件名	D	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

地物・地形条件の組合せ

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA222

施工単価名称	**標定点測量**						
実査区分	共通	単位数量	5	単位	点	条件	A～D

出力名称	標定点測量
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	
適用条件	
１．設置点数80点以下とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地物による分類
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形による分類
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード SA222

条件名	D	条件名称	調整係数
	実数	条件省略値:0	

調整係数は0～1まで。
省略すれば、標準とする。

地物・地形条件の組合せ

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA224

施工単価名称	**簡易水準測量**						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	km	条件	A～D

出力名称	簡易水準測量
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	
適用条件	
１．観測距離100km以下とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地物による分類
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形による分類
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード SA224

条件名	D	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

地物・地形条件の組合せ

A条件	B条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA227

施工単価名称	**同時調整**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km2	条件	A

出力名称	同時調整
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	
適用条件	
１．数値図化と併せて使用する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード　SA271

施工単価名称	**数値図化・作業計画**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km2	条件	A～D

出力名称	数値図化・作業計画
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	（レベル）
適用条件	
１．レベル1,000の場合は、作成面積 15.1km2以下とする。 ２．レベル2,500の場合は、作成面積128.6km2以下とする。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	レベル
01	レベル　1,000		
02	レベル　2,500		

条件名	B	条件名称	地物による分類
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	地形による分類
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

施工単価コード SA271

条件名	D	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

地物・地形条件の組合せ

B条件	C条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA272

施工単価名称	**数値図化・現地調査**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km2	条件	A～E

出力名称	数値図化・現地調査
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	（レベル）
適用条件	
１．レベル1,000の場合は、作成面積 15.1km2以下とする。 ２．レベル2,500の場合は、作成面積128.6km2以下とする。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	レベル
01	レベル　1,000		
02	レベル　2,500		

条件名	B	条件名称	地物による分類
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	地形による分類
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

施工単価コード SA272

条件名	D	条件名称	作業種別
01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

条件名	E	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

地物・地形条件の組合せ

B条件	C条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード SA273

施工単価名称	**数値図化・数値図化**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km2	条件	A～D

出力名称	数値図化・数値図化
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	（レベル）
適用条件	
１．レベル1,000の場合は、作成面積 15.1km2以下とする。 ２．レベル2,500の場合は、作成面積128.6km2以下とする。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	レベル
01	レベル　1,000		
02	レベル　2,500		

条件名	B	条件名称	地物による分類
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	地形による分類
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

施工単価コード SA273

条件名	D	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

地物・地形条件の組合せ

B条件	C条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA274

施工単価名称	**数値図化・数値編集**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km2	条件	A～D

出力名称	数値図化・数値編集
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	（レベル）
適用条件	
１．レベル1,000の場合は、作成面積 15.1km2以下とする。 ２．レベル2,500の場合は、作成面積128.6km2以下とする。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	レベル
01	レベル　1,000		
02	レベル　2,500		

条件名	B	条件名称	地物による分類
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	地形による分類
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

施工単価コード SA274

条件名	D	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

地物・地形条件の組合せ

B条件	C条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA275

施工単価名称	**数値図化・補測編集**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km2	条件	A～E

出力名称	数値図化・補測編集
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	（レベル）
適用条件	
１．レベル1,000の場合は、作成面積 15.1km2以下とする。 ２．レベル2,500の場合は、作成面積128.6km2以下とする。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	レベル
01	レベル　1,000		
02	レベル　2,500		

条件名	B	条件名称	地物による分類
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	地形による分類
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

施工単価コード SA275

条件名	D	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

条件名	E	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

地物・地形条件の組合せ

B条件	C条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7				

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード　SA276

施工単価名称	数値図化・数値地形図データファイルの作成						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km2	条件	A～B

出力名称	数値図化・数値地形図データファイルの作成
規格名称１	空中写真測量
規格名称２	（レベル）
適用条件	
１．レベル1,000の場合は、作成面積 15.1km2以下とする。 ２．レベル2,500の場合は、作成面積128.6km2以下とする。 ３．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	レベル
01	レベル　1,000		
02	レベル　2,500		

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード　SA552

施工単価名称	**現地測量（作業計画）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	現地測量（作業計画）
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA151

施工単価名称	**現地測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～G

出力名称	現地測量
規格名称１	（地域条件）　（地形条件）
規格名称２	（縮尺条件）
適用条件	
１．現地測量に適用する。 ２．機械経費率は、主要機械器具、ライトバン運転費及び雑機材を対象としている。 ３．材料費率は、材料費、雑品等を対象としている。 ４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	地域条件

01	大市街地
02	市街地甲
03	市街地乙
04	都市近郊
05	耕地
06	原野
07	森林

条件名	B	条件名称	地形条件

01	平地
02	丘陵地
03	低山地
04	高山地

条件名	C	条件名称	縮尺条件

01	1／ 200
02	1／ 250
＊ 03	1／ 500

施工単価コード SA151

条件名	C	条件名称	縮尺条件
04	1／1000		

条件名	D	条件名称	作業量（km2）
実数			

作業量は、省略不可
作業量は、0.2km2まで

条件名	E	条件名称	打合せの有無
01	打合せを行う		
02	打合せを行わない		

条件名	F	条件名称	中間打合せ回数（標準回数は2回）
実数			

E条件が1のとき入力可

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（01～05、12、14）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SA151

現地変化率

（Ｃ条件が１の場合）

Ａ条件	Ｂ条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5			×	×
6	×			
7	×			

（Ｃ条件が２，４の場合）

Ａ条件	Ｂ条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6	×			
7	×			

（Ｃ条件が３の場合）

Ａ条件	Ｂ条件			
	1	2	3	4
1		×	×	×
2		×	×	×
3			×	×
4			×	×
5				×
6				
7	×			

注）表中の、×印は組合せエラーを示す。

施工単価コード SA281

施工単価名称	**全体計画**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km2	条件	A～B

出力名称	全体計画
規格名称１	航空レーザ測量（（施工区分））
規格名称２	
適用条件	

１．計測作業に先立ち、計測器材の選定（航空機の性能又は機種、航空レーザ測量システムの性能等）、計測諸元の決定（対地高度、対地速度、コース間重複(%)、スキャン回数、スキャン角度、パルスレート、飛行方向及び飛行直交方向の標準的取得点間距離等）、1/50,000地形図等を利用して行う計測航法の選定（計測コース及び各コースの計測開始ならびに終了地点等）ならびに計測に用いる飛行場の選定、計測時間等の計測作業全般にわたる計画及び準備作業である。
２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

条件名	A	条件名称	施工区分
01	地図情報レベル1000		
02	地図情報レベル 500		

条件名	B	条件名称	歩掛調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード SA282

施工単価名称	**計測計画**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km2	条件	A～B

出力名称	計測計画
規格名称１	航空レーザ測量（（施工区分））
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	施工区分
01	地図情報レベル1000		
02	地図情報レベル 500		

条件名	B	条件名称	歩掛調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード　SA283

施工単価名称	**総運航**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	時間	条件	

出力名称	総運航
規格名称１	航空レーザ測量（地図情報レベル1000）
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

施工単価コード　SA284

施工単価名称	**計測**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	時間	条件	

出力名称	計測
規格名称１	航空レーザ測量（地図情報レベル1000）
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

施工単価コード　SA285

施工単価名称	**滞留**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	

出力名称	滞留
規格名称１	航空レーザ測量（地図情報レベル1000）
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

施工単価コード　SA286

施工単価名称	**調整点の設置**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所or km2	条件	A～B

出力名称	調整点の設置
規格名称１	航空レーザ測量（（施工区分））
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	施工区分
01	地図情報レベル1000		
02	地図情報レベル 500		

条件名	B	条件名称	歩掛調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード　SA287

施工単価名称	点群データ及びオリジナルデータ作成						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km2	条件	A～B

出力名称	点群データ及びオリジナルデータ作成
規格名称１	航空レーザ測量（（施工区分））
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	施工区分
01	地図情報レベル1000		
02	地図情報レベル 500		

条件名	B	条件名称	歩掛調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード SA288

施工単価名称	グラウンドデータ作成						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km2	条件	A～B

出力名称	グラウンドデータ作成
規格名称１	航空レーザ測量（（施工区分））
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	施工区分
01	地図情報レベル1000		
02	地図情報レベル 500		

条件名	B	条件名称	歩掛調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード　SA289

施工単価名称	**グリット（標高）データ作成**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km2	条件	A～B

出力名称	グリット（標高）データ作成
規格名称１	航空レーザ測量（（施工区分））
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	施工区分
01	地図情報レベル1000		
02	地図情報レベル 500		

条件名	B	条件名称	歩掛調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード　SA290

施工単価名称	**等高線データ作成**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km2	条件	A～B

出力名称	等高線データ作成
規格名称１	航空レーザ測量（（施工区分））
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	施工区分
01	地図情報レベル1000		
02	地図情報レベル 500		

条件名	B	条件名称	歩掛調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード SA291

施工単価名称	成果データファイル作成						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km2	条件	A～B

出力名称	成果データファイル作成
規格名称１	航空レーザ測量（（施工区分））
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	施工区分
01	地図情報レベル1000		
02	地図情報レベル 500		

条件名	B	条件名称	歩掛調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。
省略すれば、標準とする。

施工単価コード　SA300

施工単価名称	UAV写真点群測量						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	UAV写真点群測量
規格名称１	三次元点群測量
規格名称２	
適用条件	

１．本歩掛の適用範囲は測定面積0.2km2以下とする。
２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
３．標定点及び検証点の設置・観測については対空標識の設置・撤去を含む。
４．基準点測量（基準点の設置）は、別途計上する。
５．本歩掛のうち作業計画については、UAV写真測量の作業計画に係る費用以外は含まない。

条件名	A	条件名称	作業量（km2／業務）
実数	条件省略値:0.1		

条件名	B	条件名称	縦横断面データファイル作成　計上有無
＊ 01	縦横断面データファイル作成　計上無		
02	縦横断面データファイル作成　計上有		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA310

施工単価名称	**地上レーザ測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～C

出力名称	地上レーザ測量
規格名称１	三次元点群測量
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛の適用範囲は測定面積0.2km2以下とする。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 ３．基準点測量（基準点の設置）は、別途計上する。 ４．数値図化が必要な場合は別途計上する。 ５．本歩掛のうち作業計画については、地上レーザ測量の作業計画に係る費用以外は含まない。	

条件名	A	条件名称	作業量（km2／業務）
実数	条件省略値:0.1		

条件名	B	条件名称	縦横断面データファイル作成　計上有無
＊ 01	縦横断面データファイル作成　計上無		
02	縦横断面データファイル作成　計上有		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SA320

施工単価名称	UAVレーザ測量						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	UAVレーザ測量
規格名称１	三次元点群測量
規格名称２	
適用条件	

１．本歩掛の適用範囲は測定面積0.2km2以下とする。
２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
３．作業計画には、「成果品の要求仕様の策定」、「作業仕様の策定」を含む。
４．調整点の設置については対空標識の設置・撤去を含む。
５．オリジナルデータの作成には、「最適奇跡解析」を含む。
６．成果等の整理には、「成果データファイルの作成」、「品質評価」を含む。
７．基準点測量（基準点の設置）は、別途計上する。
８．機械経費、通信運搬費等、材料費については別途計上する。

条件名	A	条件名称	作業量（km2／業務）
実数	条件省略値:0.1		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SA261

施工単価名称	**道路管理図作成（耕地）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km2	条件	A～D

出力名称	道路管理図作成（耕地）
規格名称１	（地域条件）
規格名称２	（地形条件）
適用条件	
道路管理図作成（耕地）に適用する。	

条件名	A	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	B	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	C	条件名称	作業種別
＊ 01	内・外業共		
02	内業		
03	外業		

施工単価コード SA261

条件名	D	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

1．本歩掛の変化率は、平地部の標準作業歩掛で作業量の増減に対しては比例計算した。
2．平地にはコンターをいれず、丘陵地、低山地、高山地にはコンターを入れる。
3．作業内容は次のものについて実施する。
　ａ．道路の区域の境界線
　ｂ．市町村、大字及び字の名称及び境界線
　ｃ．車道の幅員が0.5m以上変化する箇所ごとにおける当該箇所の車道の幅員
　ｄ．曲線半径
　ｅ．道路横断（200mに1箇所）
　ｆ．路面の種類及び舗装、路線の工種とその厚さ
　ｇ．トンネル、橋及び渡船施設並びにこれらの名称、延長、幅員、また橋にあってはその設計荷重
　ｈ．道路原標その他主要な道緑の付属物（距離標を含む）
　ｉ．道路と効用を兼ねる主要な他の工作物
　ｊ．交差し、若しくは接続する道路又は重複する道路の種類名称
　ｋ．交差する鉄道又は新設軌道及びこれらの名称
　ｌ．軌道その他主要な占用物件

施工単価コード　SA262

施工単価名称	道路台帳修正 （延長200m以上）						
実査区分	共通	単位数量	1000	単位	m	条件	A～F

出力名称	道路台帳修正
規格名称１	延長200m以上に適用
規格名称２	
適用条件	
１．道路台帳修正に適用する。 ２．作業内容は、道路台帳作成と同等とする。 ３．作業延長200m以上に適用し、延長200m未満の場合は、SA263を使用する。	

条件名	A	条件名称	作業区分
01	Ａ（幅40m）		
02	Ｂ（幅20m）		
03	Ｃ（幅10m）		

Ａ：現道の両側を拡幅した場合の台帳修正
Ｂ：現道の片側を拡幅した場合の台帳修正
Ｃ：現道の道路敷地内で改良した場合の台帳修正

条件名	B	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

条件名	C	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

施工単価コード　SA262

条件名	D	条件名称	縦断測量必要の有無
01	必要なし		
02	必要あり		

条件名	E	条件名称	４級基準点測量　新点数（点）
実数			

1km当りの基準点設置点数を入力する。'0'を入力すると、構成項目から削除される。
設置点数については、積算参考資料を参照のこと。

条件名	F	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA263

施工単価名称	道路台帳修正 （延長200m未満）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～G

出力名称	道路台帳修正
規格名称１	延長200m未満に適用
規格名称２	区間延長　（作業延長区分）
適用条件	
１．道路台帳修正に適用する。 ２．作業内容は、道路台帳作成と同等とする。 ３．作業延長200m未満に適用し、延長200m以上の場合は、SA262を使用する。	

条件名	A	条件名称	作業延長区分
01	0～ 50m		
02	50～100m		
03	100～200m		

条件名	B	条件名称	作業区分
01	A（幅40m）		
02	B（幅20m）		
03	C（幅10m）		

A：現道の両側を拡幅した場合の台帳修正
B：現道の片側を拡幅した場合の台帳修正
C：現道の道路敷地内で改良した場合の台帳修正

条件名	C	条件名称	地域条件
01	大市街地		
02	市街地甲		
03	市街地乙		
04	都市近郊		
05	耕地		
06	原野		
07	森林		

施工単価コード SA263

条件名	D	条件名称	地形条件
01	平地		
02	丘陵地		
03	低山地		
04	高山地		

条件名	E	条件名称	縦断測量必要の有無
01	必要なし		
02	必要あり		

条件名	F	条件名称	４級基準点測量　新点数（点）
実数			

1km当りの基準点設置点数を入力する。'0'を入力すると、構成項目から削除される。
設置点数については、積算参考資料を参照のこと。

条件名	G	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SH335

施工単価名称	**旅費（港湾）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～G

出力名称	旅費（港湾）
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	宿泊区分
01	宿泊を要しない		
02	宿泊を要する		

条件名	B	条件名称	交通費(円)
実数			

条件名	C	条件名称	職種区分
01	理事		
02	技師長		
03	主任技師		
04	主任技術者		
05	技師Ａ		
06	技師Ｂ		
07	技師Ｃ		
08	技術員		
09	測量主任技師		
10	測量技師		
11	操縦士		
12	整備士		
13	撮影士		
14	測量技師補		
15	測量助手		
16	撮影助手		

施工単価コード SH335

条件名	C	条件名称	職種区分

17	測量補助員
18	地質調査技師
19	主任地質調査員
20	地質調査員
21	潜水士（ダイバー）
22	潜水士補助員（ダイバー）
23	上廻り員

A=2のとき、C条件は入力可能。

条件名	D	条件名称	宿泊手当：朝食及び夕食含まない（日数）

実数	条件省略値:0

A=2のとき、D条件は入力可能。

条件名	E	条件名称	宿泊手当：朝食又は夕食含む（日数）

実数	条件省略値:0

A=2のとき、E条件は入力可能。

条件名	F	条件名称	宿泊手当：朝食及び夕食含む（日数）

実数	条件省略値:0

A=2のとき、F条件は入力可能。

条件名	G	条件名称	宿泊費（円）

実数	

A=2のとき、G条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード	SH301

施工単価名称	**計画準備等（計画準備）港湾**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	

出力名称	計画準備等（計画準備）港湾
規格名称１	
規格名称２	

施工単価コード　SH302

施工単価名称	計画準備等 （機材運搬） 港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A

出力名称	計画準備等（機材運搬）港湾
規格名称１	往復距離　（往復平均距離（km））
規格名称２	

条件名	A	条件名称	往復平均距離（km）

01	25km未満
02	25km以上～ 50km未満
03	50km以上～ 75km未満
04	75km以上～100km未満
05	100km以上～125km未満
06	125km以上～150km未満
07	150km以上～175km未満
08	175km以上～200km未満

施工単価コード　SH304

施工単価名称	基準点測量（踏査）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～D

出力名称	基準点測量（踏査）港湾
規格名称１	（作業区分）
規格名称２	踏査距離（Ｂ条件値）km

条件名	A	条件名称	作業区分
01	陸上踏査		
02	海上踏査		

条件名	B	条件名称	踏査距離（km）
実数			

条件名	C	条件名称	船員人数
＊ 01	1名船員		
02	2名船員		

C条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

D条件は、A=2のとき入力可能。

施工単価コード　SH305

施工単価名称	**交通車（港湾）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	A

出力名称	交通車（港湾）
規格名称１	ライトバン　；2.0L
規格名称２	

条件名	A	条件名称	運転時間

01	2時間
02	3時間
03	5時間
04	6時間

施工単価コード　SH306

施工単価名称	基準点測量（陸上設標）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	地点	条件	A～C

出力名称	基準点測量（陸上設標）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	平均移動距離区分
01	徒歩移動200m未満		
02	徒歩移動200m以上		
03	ライトバンによる移動		

条件名	B	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	C	条件名称	作業時間区分
01	影響なし		
02	影響あり		
03	悪い		

施工単価コード　SH307

施工単価名称	基準点測量（海上設標）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	地点	条件	A～E

出力名称	基準点測量（海上設標）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	平均移動距離区分
01	1.0km未満		
02	1.0km以上～2.0km未満		
03	2.0km以上～3.0km未満		

条件名	B	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	C	条件名称	作業時間区分
01	5km未満		
02	5km以上～10km未満		
03	10km以上～15km未満		

条件名	D	条件名称	船員人数
＊ 01	1名船員		
02	2名船員		

条件名	E	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード　SH308

施工単価名称	基準点測量（測角・測距）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	点	条件	A～D

出力名称	基準点測量（測角・測距）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	平均移動距離区分
01	50m未満		
02	50m以上～100m未満		
03	100m以上～150m未満		
04	150m以上～200m未満		

条件名	B	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	C	条件名称	作業時間区分
01	影響なし		
02	影響あり		
03	悪い		

条件名	D	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード　SH309

施工単価名称	**基準点測量（整理計算）港湾**						
実査区分	共通	単位数量	30	単位	点	条件	

出力名称	基準点測量（整理計算）港湾
規格名称１	
規格名称２	

施工単価コード　SH310

施工単価名称	基準点測量（主要基準点設置）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	点	条件	A～E

出力名称	基準点測量（主要基準点設置）港湾
規格名称１	（標識種類）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	標識種類
01	コンクリート杭		
02	金属製測点標		

条件名	B	条件名称	平均移動距離区分
01	徒歩100m未満		
02	徒歩100m以上～200m未満		
03	徒歩200m以上～300m未満		
04	交通車2.0km未満		
05	交通車2.0km以上～5.0km未満		

条件名	C	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	D	条件名称	作業時間区分
01	影響なし		
02	影響あり		
03	悪い		

条件名	E	条件名称	標識単価（円／本）
実数			

施工単価コード　SH311

施工単価名称	基準点測量（補助基準点設置）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	点	条件	A～D

出力名称	基準点測量（補助基準点設置）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	平均移動距離区分
01	50m未満		
02	50m以上～100m未満		
03	100m以上		

条件名	B	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	C	条件名称	作業時間区分
01	影響なし		
02	影響あり		
03	悪い		

条件名	D	条件名称	標識単価（円／本）
実数			

施工単価コード　SH312

施工単価名称	**水準測量（水準測量）港湾**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～C

出力名称	水準測量（水準測量）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	作業区分
01	水準測量		
02	縦断測量		
03	横断測量　通常		
04	横断測量　砕波帯		

条件名	B	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	C	条件名称	作業時間区分
01	影響なし		
02	影響あり		
03	悪い		

施工単価コード　SH313

施工単価名称	水準測量（成果報告）港湾						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	断面	条件	A

出力名称	水準測量（成果報告）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	平均測線長
01	100m未満		
02	100m～400m		

施工単価コード　SH321

施工単価名称	水深測量（艤装テスト）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～D

出力名称	水深測量（艤装テスト）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	ＧＮＳＳ規格
01	ＤＧＮＳＳ		
02	ＲＴＫＧＮＳＳ		

条件名	B	条件名称	音響測深機規格
01	1方向　100kHz		
02	1方向　200kHz		
03	2方向　90～230kHz		
04	4方向　90～230kHz		

条件名	C	条件名称	船員人数
＊ 01	1名船員		
02	2名船員		

条件名	D	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード　SH322

施工単価名称	水深測量（音響測深）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～J

出力名称	水深測量（音響測深）港湾
規格名称１	音響測深による場合
規格名称２	

条件名	A	条件名称	海域区分
01	港内水域		
02	港外水域		

条件名	B	条件名称	平均測深長
01	500m未満		
02	500m以上～1000m未満		
03	1000m以上～1500m未満		
04	1500m以上～2000m未満		
05	2000m以上		

条件名	C	条件名称	平均測線間隔
01	100m未満		
02	100m以上		

条件名	D	条件名称	その他現場条件
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	E	条件名称	測深方向
01	両方向		
02	片方向		

施工単価コード　SH322

条件名	F	条件名称	作業時間区分
01	5km未満		
02	5km以上～10km未満		
03	10km以上～15km未満		

条件名	G	条件名称	ＧＮＳＳ規格
＊ 01	ＤＧＮＳＳ		
02	ＲＴＫＧＮＳＳ		

条件名	H	条件名称	音響測深機規格
01	1方向　100kHz		
02	1方向　200kHz		
03	2方向　90～230kHz		
04	4方向　90～230kHz		

条件名	I	条件名称	船員人数
＊ 01	1名船員		
02	2名船員		

条件名	J	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード　SH323

施工単価名称	水深測量（測深） 港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	水深測量（測深）港湾
規格名称１	レッドによる場合
規格名称２	

条件名	A	条件名称	測量延長
01	0.5km未満		
02	0.5km以上～1.0km未満		
03	1.0km以上～1.5km未満		
04	1.5km以上～2.0km未満		
05	2.0km以上～2.5km未満		
06	2.5km以上～3.0km未満		

条件名	B	条件名称	船員人数
＊ 01	1名船員		
02	2名船員		

条件名	C	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード　SH324

施工単価名称	**船外機船運転**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	A

出力名称	船外機船運転
規格名称１	就業8H
規格名称２	

条件名	A	条件名称	係数ランク
01	1；(1.65)		
02	2；(1.85)		

施工単価コード　SH325

施工単価名称	水深測量（成果報告）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	水深測量（成果報告）港湾
規格名称１	（作業区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	作業区分
01	水深測量		
02	水路測量		

条件名	B	条件名称	実測深（実測線）延長（km）
実数			

施工単価コード　SH334

施工単価名称	深浅測量（業務成果品）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	深浅測量（業務成果品）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	直接測量費（業務成果品費除く）（円）
実数			

条件名	B	条件名称	印刷製本部数
実数			

施工単価コード　SH011

施工単価名称	**事前協議**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	事前協議
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SH012

施工単価名称	**中間報告**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	中間報告
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SH013

施工単価名称	**最終報告**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	最終報告
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SH326

施工単価名称	水深測量（底質判別） 港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	地点	条件	A～E

出力名称	水深測量（底質判別）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	平均移動距離区分
01	1.0km未満		
02	1.0km以上～2.0km未満		
03	2.0km以上～3.0km未満		

条件名	B	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	C	条件名称	作業時間区分
01	5km未満		
02	5km以上～10km未満		
03	10km以上～15km未満		

条件名	D	条件名称	船員人数
＊ 01	1名船員		
02	2名船員		

条件名	E	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード SH327

施工単価名称	水深測量（浮泥層調査）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	地点	条件	A～E

出力名称	水深測量（浮泥層調査）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	平均移動距離区分
01	1.0km未満		
02	1.0km以上～2.0km未満		
03	2.0km以上～3.0km未満		

条件名	B	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	C	条件名称	作業時間区分
01	5km未満		
02	5km以上～10km未満		
03	10km以上～15km未満		

条件名	D	条件名称	船員人数
＊ 01	1名船員		
02	2名船員		

条件名	E	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード　SH328

施工単価名称	水深測量（岸線測量）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～B

出力名称	水深測量（岸線測量）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	B	条件名称	作業時間区分
01	影響なし		
02	影響あり		
03	悪い		

施工単価コード　SH329

施工単価名称	水深測量（岸線測量資料整理）港湾						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	cm	条件	

出力名称	水深測量（岸線測量資料整理）港湾
規格名称１	
規格名称２	

施工単価コード　SH331

施工単価名称	基準測定及び検潮（基準測定）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	

出力名称	基準測定及び検潮（基準測定）港湾
規格名称１	
規格名称２	

施工単価コード　SH332

施工単価名称	**基準測定及び検潮（検潮）港湾**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	

出力名称	基準測定及び検潮（検潮）港湾
規格名称１	
規格名称２	

施工単価コード　SH333

施工単価名称	**基準測定及び検潮（検潮資料整理）港湾**						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	日	条件	

出力名称	基準測定及び検潮（検潮資料整理）港湾
規格名称１	
規格名称２	

施工単価コード	SH371

施工単価名称	マルチビーム測量（測量準備）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	

出力名称	マルチビーム測量（測量準備）港湾
規格名称１	
規格名称２	

施工単価コード　SH372

施工単価名称	マルチビーム測量（艤装テスト）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	マルチビーム測量（艤装テスト）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	ＧＮＳＳ規格
01	ＤＧＮＳＳ		
02	ＲＴＫＧＮＳＳ		

条件名	B	条件名称	船員人数
＊ 01	1名船員		
02	2名船員		

条件名	C	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード　SH373

施工単価名称	マルチビーム測量（マルチビーム測深）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km2	条件	A～J

出力名称	マルチビーム測量（マルチビーム測深）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	海域区分
01	港内水域		
02	港外水域		
03	航路水域		

条件名	B	条件名称	その他現場条件
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	C	条件名称	転船に要する距離
01	100m以下		
02	100m超え		

条件名	D	条件名称	最大測深幅
01	スワス幅　60°		
02	スワス幅　90°		
03	スワス幅 120°		

条件名	E	条件名称	重複率
01	20%（水深差　～10m）		
02	40%（水深差10～20m）		
03	60%（水深差20m以上）		
04	100%（水路測量）		

施工単価コード SH373

条件名	F	条件名称	作業時間区分
01	5km未満		
02	5km以上～10km未満		
03	10km以上～25km未満		

条件名	G	条件名称	測深範囲の平均水深（m）
実数			

条件名	H	条件名称	ＧＮＳＳ規格
＊ 01	ＤＧＮＳＳ		
02	ＲＴＫＧＮＳＳ		

条件名	I	条件名称	船員人数
＊ 01	1名船員		
02	2名船員		

条件名	J	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード	SH374

施工単価名称	マルチビーム測量（報告書作成）港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A

出力名称	マルチビーム測量（報告書作成）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	測深面積（km2）
実数			

施工単価コード　SH011

施工単価名称	**事前協議**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	事前協議
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SH012

施工単価名称	**中間報告**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	中間報告
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SH013

施工単価名称	**最終報告**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	最終報告
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

地　質　調　査

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
地質調査				
				委-2
＝＝　第２編　地質調査業務　＝＝＝＝＝＝＝＝				
＝＝　第２章 第１節 共通				
打合せ（地質調査）	SB101	業務		委-2-　1
関係機関協議資料作成（地質調査）	SB010	回		委-2-　2
関係機関打合せ協議（地質調査）	SB011	回		委-2-　3
往復旅行時間にかかる直接人件費	SA021	式		委-2-　4
＝＝　第２章 第２節 機械ボーリング				
（土質ボーリング・岩盤ボーリング）				
＝＝　２－１　せん孔作業				
ライトバン運転	SB100	日		委-2-　8
トラック運転	SB200	日	改訂	委-2-　9
土質ボーリング	SB416	m		委-2-　10
岩盤ボーリング	SB417	m		委-2-　12
＝＝　２－２　サンプリング				
サンプリング	SB426	本		委-2-　14
＝＝　２－３　サウンディング及び原位置試験				
標準貫入試験	SB110	回		委-2-　15
孔内載荷試験(ﾌﾟﾚｯｼｬｰﾒｰﾀ･ﾎﾞｱﾎｰﾙｼﾞｬｯｷ試験)	SB436	回		委-2-　16
現場透水試験	SB112	回		委-2-　17
スクリューウエイト貫入試験	SB119	m		委-2-　18
機械式ｺｰﾝ（ｵﾗﾝﾀﾞ式二重管ｺｰﾝ）貫入試験	SB118	m		委-2-　19
ポータブルコーン貫入試験	SB153	m		委-2-　20
＝＝　２－４　現場内小運搬				
現場内小運搬　人肩運搬	SB401	t		委-2-　21
現場内小運搬　特装車運搬（クローラ）	SB402	t		委-2-　22
現場内小運搬　モノレール運搬	SB421	t		委-2-　23
現場内小運搬　モノレール運搬機械器具損料	SB422	日		委-2-　24
現場内小運搬　モノレール架設・撤去	SB423	箇所		委-2-　25

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
＝＝　２－５　足場仮設				
足場仮設	SB441	箇所		委-2-　26
＝＝　２－６　その他間接調査費				
準備及び跡片付け	SB408	業務		委-2-　27
搬入路伐採等	SB409	m		委-2-　28
環境保全	SB410	箇所		委-2-　29
調査孔閉塞	SB411	箇所		委-2-　30
給水費（ポンプ運転）	SB412	箇所		委-2-　31
＝＝　２－７　解析等調査業務				
計画準備	SB175	業務		委-2-　32
既存資料の収集・現地調査	SB174	業務		委-2-　33
資料整理とりまとめ	SB170	業務		委-2-　34
断面図等の作成	SB171	業務		委-2-　35
総合解析とりまとめ	SB172	業務		委-2-　36
＝＝　２－８　その他				
電子成果品作成費	SB901	式		委-2-　37
施工管理費	SB902	式		委-2-　38
＝＝　第２章 第３節 弾性波探査業務				
弾性波探査（解析等調査業務費）	SB130	式		委-2-　39
弾性波探査（直接調査費）	SB135	式		委-2-　40
＝＝　第２章 第５節 地すべり調査				
＝＝　５－２　計画準備				
計画準備	SB361	業務		委-2-　42
＝＝　５－３　地下水位測定				
地下水位測定	SB370	孔		委-2-　43
設置（地下水位測定）	SB393	孔		委-2-　44
観測（地下水位測定）	SB394	孔	改訂	委-2-　45
資料整理（地下水位測定）	SB395	孔	改訂	委-2-　46

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
撤去（地下水位測定）	SB396	孔		委-2- 47
＝＝　５－４　移動変形調査				
伸縮計による調査（移動変形調査）	SB371	基		委-2- 48
設置（伸縮計による調査）	SB381	基		委-2- 49
観測（伸縮計による調査）	SB382	基		委-2- 50
資料整理（伸縮計による調査）	SB383	基		委-2- 51
傾斜計による調査（移動変形調査）	SB372	基		委-2- 52
設置（傾斜計による調査）	SB384	基		委-2- 53
観測（傾斜計による調査）	SB385	基		委-2- 54
資料整理（傾斜計による調査）	SB386	基		委-2- 55
パイプ式歪計による調査（移動変形調査）	SB373	基	改訂	委-2- 56
設置（パイプ式歪計による調査）	SB387	孔		委-2- 57
観測（パイプ式歪計による調査）	SB388	孔	改訂	委-2- 58
資料整理（パイプ式歪計による調査）	SB389	孔	改訂	委-2- 59
移動変形調査・挿入式孔内傾斜計による調査	SB374	基	改訂	委-2- 60
設置（挿入式孔内傾斜計）	SB390	孔		委-2- 61
観測（挿入式孔内傾斜計）	SB391	孔	改訂	委-2- 62
資料整理（挿入式孔内傾斜計）	SB392	孔	改訂	委-2- 63
＝＝　５－５　解析				
解析	SB362	業務		委-2- 64
解析・地盤特性検討	SB375	業務		委-2- 65
解析・機構解析	SB376	業務		委-2- 66
解析・安定解析	SB377	業務		委-2- 67
解析・対策工法選定	SB378	業務		委-2- 68
＝＝　５－６　報告書作成				
報告書作成	SB363	業務		委-2- 69
電子成果品作成費	SB901	式		委-2- 70
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝				
＝＝　地すべり調査解析				
地表踏査	SB201	業務		委-2- 71

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
移動杭設置	SB231	本		委-2- 72
移動杭測定	SB232	回		委-2- 73
移動杭資料整理	SB233	回		委-2- 74
ボーリング孔保孔管設置	SB241	m		委-2- 75
自然放射能探査側線設置	SB271	km		委-2- 76
自然放射能探査測定	SB272	km		委-2- 77
自然放射能探査資料整理	SB273	km		委-2- 78
地下水追跡観測（地すべり機構調査）	SB311	式		委-2- 79
地下水追跡観測（フローレッセンソーダ）	SB312	式		委-2- 80
地下水追跡資料整理	SB313	式		委-2- 81
地下水検層	SB321	孔		委-2- 82
地下水検層資料整理	SB322	孔		委-2- 83
簡易揚水試験	SB331	回		委-2- 84
簡易揚水試験資料整理	SB332	回		委-2- 85
＝＝　国土交通省港湾請負工事積算基準　＝＝＝				
＝＝　土質調査（直接調査費）				
原位置試験および乱れの少ない試料採取（海上）	SH353	回・本		委-2- 86
原位置試験および乱れの少ない試料採取（陸上）	SH354	日		委-2- 88
＝＝　土質調査業務（協議・報告）				
事前協議	SH011	回		委-2- 90
中間報告	SH012	回		委-2- 91
最終報告	SH013	回		委-2- 92
＝＝　磁気探査（準備工）				
磁気探査（計画）港湾　測量	SH341	式		委-2- 93
磁気探査（計画）港湾　設計	SH361	式		委-2- 94
磁気探査（機材運搬）港湾	SH342	式	改訂	委-2- 95
磁気探査（準備・艤装）港湾　測量	SH343	組		委-2- 96
磁気探査（準備・艤装）港湾　設計	SH363	組		委-2- 97
＝＝　磁気探査（探査工）				
磁気探査（探査）港湾　測量	SH344	km		委-2- 98

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
磁気探査（探査）港湾　設計	SH364	km		委-2- 100
＝＝　磁気探査（資料解析）				
磁気探査（資料解析）港湾　測量	SH345	km		委-2- 101
磁気探査（資料解析）港湾　設計	SH365	km		委-2- 102
＝＝　磁気探査（協議・報告）				
事前協議	SH011	回		委-2- 103
中間報告	SH012	回		委-2- 104
最終報告	SH013	回		委-2- 105
＝＝　各種試験　＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝				
各種試験	SB121	件		委-2- 106

施工単価コード　SB101

施工単価名称	打合せ（地質調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～D

出力名称	打合せ（地質調査）
規格名称１	（設計種別）
規格名称２	
適用条件	

１．解析等調査業務を含まない地質調査の業務の発注において打合せを規定する場合には、本歩掛は適用せず別途計上する。
２．打合せ議事録の作成時間及び移動時間（片道所要時間1時間程度以内）を含むものとする。
３．電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
４．中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数（3回を標準）を計上する。打合せ回数を変更する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。
なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。

条件名	A	条件名称	設計種別
01	解析等調査業務		
02	弾性波探査業務		
03	地すべり調査		

条件名	B	条件名称	中間打合せの有無
01	中間打合せ　有り		
02	中間打合せ　無し		

条件名	C	条件名称	中間打合せ回数（省略時は標準回数）
実数	条件省略値:0		

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB010

施工単価名称	関係機関協議資料作成（地質調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	関係機関協議資料作成（地質調査）
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．解析等調査業務を含まない地質調査の業務の発注において打合せを規定する場合には、本歩掛は適用せず別途計上する。	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB011

施工単価名称	関係機関打合せ協議（地質調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	関係機関打合せ協議（地質調査）
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	

１．解析等調査業務を含まない地質調査の業務の発注において打合せを規定する場合には、本歩掛は適用せず別途計上する。
２．打合せ議事録の作成時間及び移動時間（片道所要時間1時間程度以内）を含むものとする。
３．電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
４．関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とし、関係機関打合せ協議の回数を増減する場合は、1回当たり、関係機関打合せ協議1回の人員を増減する。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SA021

施工単価名称	往復旅行時間にかかる直接人件費						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～Y

出力名称	往復旅行時間にかかる直接人件費
規格名称１	（業務区分）
規格名称２	
適用条件	
１．往復旅行時間にかかる直接人件費が必要な場合に適用する。	

条件名	A	条件名称	業務区分
01	測量		
02	設計		
03	地質調査		

条件名	B	条件名称	移動日数（測量上級主任技師）
実数	条件省略値:0		

B条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	移動日数（測量主任技師）
実数	条件省略値:0		

C条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	移動日数（測量技師）
実数	条件省略値:0		

D条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	移動日数（測量技師補）
実数	条件省略値:0		

E条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	F	条件名称	移動日数（測量助手）
実数	条件省略値:0		

F条件は、A=1のとき入力可能。

施工単価コード SA021

条件名	G	条件名称	移動日数（測量補助員）
実数	条件省略値:0		

G条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	H	条件名称	移動日数（操縦士）
実数	条件省略値:0		

H条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	I	条件名称	移動日数（整備士）
実数	条件省略値:0		

I条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	J	条件名称	移動日数（撮影士）
実数	条件省略値:0		

J条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	K	条件名称	移動日数（測量船操縦士）
実数	条件省略値:0		

K条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	L	条件名称	移動日数（撮影助手）
実数	条件省略値:0		

L条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	M	条件名称	移動日数（主任技術者）
実数	条件省略値:0		

M条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	N	条件名称	移動日数（理事、技師長）
実数	条件省略値:0		

N条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	O	条件名称	移動日数（主任技師）
実数	条件省略値:0		

O条件は、A=2のとき入力可能。

施工単価コード　SA021

条件名	P	条件名称	移動日数（技師Ａ）
実数	条件省略値:0		

P条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	Q	条件名称	移動日数（技師Ｂ）
実数	条件省略値:0		

Q条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	R	条件名称	移動日数（技師Ｃ）
実数	条件省略値:0		

R条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	S	条件名称	移動日数（技術員）
実数	条件省略値:0		

S条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	T	条件名称	移動日数（地質調査技師）
実数	条件省略値:0		

T条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	U	条件名称	移動日数（主任地質調査員）
実数	条件省略値:0		

U条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	V	条件名称	移動日数（地質調査員）
実数	条件省略値:0		

V条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	W	条件名称	移動日数（試験助手）
実数	条件省略値:0		

W条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	X	条件名称	測量上級主任技師単価（円／人）
実数			

X条件は、B>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SA021

条件名	Y	条件名称	試験助手単価（円／人）
実数			

Y条件は、W>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード　SB100

施工単価名称	ライ トバン運転						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	A

出力名称	ライトバン運転
規格名称１	；1.5L
規格名称２	人員輸送
適用条件	
１．現場内器材運搬に要する費用として、「機械ボーリング」「サンプリング」「試験」について適用する。 ２．運転時間は1時間を標準とする。	

条件名	A	条件名称	日当り運転時間
実数			

省略すると、1時間とする。

施工単価コード　SB200

施工単価名称	**トラック運転**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	A～C

出力名称	トラック運転
規格名称１	（クレーン装置付トラック規格）
規格名称２	資機材運搬用

条件名	A	条件名称	クレーン装置付トラック規格
01	；通称2ｔ積級　吊能力2.9ｔ		
02	；通称3～3.5ｔ積級　吊能力2.9ｔ		
03	；通称4～4.5ｔ積級　吊能力2.9ｔ		

条件名	B	条件名称	片道所要時間　（※1時間単位で入力する）
実数			

条件名	C	条件名称	運転日当り運転時間
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB416

施工単価名称	土質ボーリング						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～E

出力名称	土質ボーリング
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	（口径区分）　　（土質区分）
適用条件	

市場単価方式による地質調査のせん孔作業に適用する。
市場単価が適用できる範囲は基準書を参照のこと。

単価＝機械経費＋労務費＋材料費
１．水源までの距離が20m未満の場合の給水費は含むものとする。
２．運搬費、仮設費、宿泊費等は別途計上する。
３．標準貫入試験及びｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ等の延長も掘削延長に含むものとする。
４．保孔材料、試料箱（コア箱）等は含むものとする。
５．泥水処理費用等が必要な場合は別途計上する。
６．採取方法及び採取深度を決定するために先行ボーリングを実施する場合は、別途箇所数を計上する。

条件名	A	条件名称	口径区分
01	φ 66mm		
02	φ 86mm		
03	φ116mm		

条件名	B	条件名称	コア区分
01	コア		
02	ノンコア		

条件名	C	条件名称	土質区分
01	粘土・シルト		
02	砂・砂質土		
03	礫混じり土砂		
04	玉石混じり土砂		
05	固結シルト・固結粘土		

施工単価コード SB416

条件名	D	条件名称	せん孔深度
＊ 01	50m以下		
02	50m超 80m以下		
03	80m超100m以下		

条件名	E	条件名称	せん孔方向
＊ 01	鉛直下方		
02	斜め下方		
03	水平		
04	斜め上方		

施工単価コード SB417

施工単価名称	**岩盤ボーリング**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～E

出力名称	岩盤ボーリング
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	（口径区分）　　（土質区分）
適用条件	

市場単価方式による地質調査のせん孔作業に適用する。
市場単価が適用できる範囲は基準書を参照のこと。

単価＝機械経費＋労務費＋材料費
１．水源までの距離が20m未満の場合の給水費は含むものとする。
２．運搬費、仮設費、宿泊費等は別途計上する。
３．標準貫入試験及びｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ等の延長も掘削延長に含むものとする。
４．保孔材料、試料箱（コア箱）等は含むものとする。
５．泥水処理費用等が必要な場合は別途計上する。
６．採取方法及び採取深度を決定するために先行ボーリングを実施する場合は、別途箇所数を計上する。

条件名	A	条件名称	口径区分
01	φ66mm		
02	φ76mm		
03	φ86mm		

条件名	B	条件名称	コア区分
01	コア		
02	ノンコア		

条件名	C	条件名称	土質区分
01	軟岩		
02	中硬岩		
03	硬岩		
04	極硬岩		
05	破砕帯		

施工単価コード SB417

条件名	D	条件名称	せん孔深度
＊ 01	50m以下		
02	50m超 80m以下		
03	80m超120m以下		
04	120m超		

条件名	E	条件名称	せん孔方向
＊ 01	鉛直下方		
02	斜め下方		
03	水平		
04	斜め上方		

施工単価コード　SB426

施工単価名称	サンプリング						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	本	条件	A

出力名称	サンプリング
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．市場単価が適用できる範囲は基準書を参照のこと。 ２．単価＝機械経費＋労務費＋材料費 単価は、パラフィンワックス、キャップ、運搬用アイスボックス、 ドライアイス等を含むものである。	

条件名	A	条件名称	サンプリング種別
01	固定ﾋﾟｽﾄﾝ式ｼﾝｳｫｰﾙｻﾝﾌﾟﾗｰ（ｼﾝｳｫｰﾙｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ）		
02	ﾛｰﾀﾘ式二重管ｻﾝﾌﾟﾗｰ（ﾃﾞﾆｿﾝｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ）		
03	ﾛｰﾀﾘ式三重管ｻﾝﾌﾟﾗｰ（ﾄﾘﾌﾟﾙｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ）		

施工単価コード SB110

施工単価名称	**標準貫入試験**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	標準貫入試験
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．ロッド先端のサンプラーを一定量貫入させるのに要する打撃回数を測定し、土層の性状探査試験結果を整理（採取試料観察含む）する。 ２．単価＝機械経費＋労務費＋材料費	

条件名	A	条件名称	土質区分

01	粘性土・シルト
02	砂・砂質土
03	礫混じり土砂
04	玉石混じり土砂
05	固結シルト・固結粘土
06	軟岩

施工単価コード　SB436

施工単価名称	孔内載荷試験（ﾌﾟﾚｯｼｬｰﾒｰﾀ･ﾎﾞｱﾎｰﾙｼﾞｬｯｷ試験）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	孔内載荷試験(ﾌﾟﾚｯｼｬｰﾒｰﾀ･ﾎﾞｱﾎｰﾙｼﾞｬｯｷ試験)
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．単価＝機械経費＋労務費＋材料費 ２．普通載荷及び中圧載荷は、測定器がプレシオメーター、ＬＬＴ及び ＫＫＴを標準とする。土研式を使用する場合は、別途計上する。 ３．機材、雑品は含むものとする。	

条件名	A	条件名称	試験種別
01	普通載荷（2.5MN/m2以下）		
02	中圧載荷（2.5～10MN/m2）		
03	高圧載荷（10～20MN/m2）		

施工単価コード　SB112

施工単価名称	**現場透水試験**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	現場透水試験
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．ボーリング機械による地下深部（岩盤）の透水試験（シングルパッカー法）測定、資料整理 ２．透水係数およびルジオン値計算、ルジオンマップ作成 ３．単価＝機械経費＋労務費＋材料費 ４．機材、雑品、資料整理（内業）、孔内洗浄を含むものとする。	

条件名	A	条件名称	現場透水試験種別

01	オーガー法　　ＧＬ－10m以内
02	ケーシング法　ＧＬ－10m以内
03	ケーシング法　ＧＬ－20m以内
04	ケーシング法　ＧＬ－30m以内
05	ケーシング法　ＧＬ－40m以内
06	ケーシング法　ＧＬ－50m以内
07	一重管式　　ＧＬ－20m以内
08	二重管式　　ＧＬ－20m以内
09	二重管式　　ＧＬ－40m以内
10	揚水法　　ＧＬ－20m以内
11	揚水法　　ＧＬ－40m以内

施工単価コード　SB119

施工単価名称	スクリューウエイト貫入試験						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	

出力名称	スクリューウエイト貫入試験
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．ロッド先端のねじり角すいを100kgの荷重をのせた状態で土中にねじり込むときの貫入度合いを測定し、土層の性状探査試験結果を整理する。 ２．深度10m以内、Ｎ値4以内とする。 ３．単価＝機械経費＋労務費＋材料費	

土質は軟弱地盤から砂層（粘土、砂、小礫混り）の範囲とし、測定可能深度は30m程度である。

施工単価コード　SB118

施工単価名称	機械式ｺｰﾝ（ｵﾗﾝﾀﾞ式二重管ｺｰﾝ）貫入試験						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A

出力名称	機械式ｺｰﾝ（ｵﾗﾝﾀﾞ式二重管ｺｰﾝ）貫入試験
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．ロッド先端のコーンを10cm静的に貫入させるに要する荷重を測定し土質の性状探査試験結果を整理する。 ２．深度30m以内とする。 ３．単価＝機械経費＋労務費＋材料費	

条件名	A	条件名称	規格
01		20kN　ＧＬ－30m以内	
02		100kN　ＧＬ－30m以内	

施工単価コード　SB153

施工単価名称	**ポータブルコーン貫入試験**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A

出力名称	ポータブルコーン貫入試験
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．深度5m以内とする。 ２．単価＝機械経費＋労務費＋材料費	

条件名	A	条件名称	規格
01	単管式　　ＧＬ－5m以内		
02	二重管式　ＧＬ－5m以内		

施工単価コード　SB401

施工単価名称	**現場内小運搬　人肩運搬**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件	A

出力名称	現場内小運搬　人肩運搬
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	

１．ボーリングマシン並びに各種原位置試験用器材をトラック又はライトバン等より降した地点から、順次調査地点へと移動して、調査終了後にトラック又はライトバンに積み込む地点までの運搬費である。（運搬に付随する積み込み、積み降ろしを含む。なお、トラック又はライトバン等による資機材運搬、人員輸送は別途計上する。）
２．総運搬距離100m以下に適用する。
３．単価＝機械経費＋労務費
４．標高差における距離の補正係数
　　換算距離＝運搬距離＋標高差×5（標高差は1m単位とする）

条件名	A	条件名称	総運搬距離
01	50m以下		
02	50m超100m以下		

換算距離の算出は、次式による。
換算距離＝運搬距離＋標高差×5

施工単価コード　SB402

施工単価名称	現場内小運搬　特装車運搬（クローラ）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件	A

出力名称	現場内小運搬　特装車運搬（クローラ）
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	

１．ボーリングマシン並びに各種原位置試験用器材をトラック又はライトバン等より降した地点から、順次調査地点へと移動して、調査終了後にトラック又はライトバンに積み込む地点までの運搬費である。（運搬に付随する積み込み、積み降ろしを含む。なお、トラック又はライトバン等による資機材運搬、人員輸送は別途計上する。）
２．総運搬距離1000m以下に適用する。
３．単価＝機械経費＋労務費
４．標高差における距離の補正係数
　　換算距離＝運搬距離＋標高差×3（標高差は1m単位とする）

条件名	A	条件名称	総運搬距離

01	100m以下
02	100m超 300m以下
03	300m超 500m以下
04	500m超1000m以下

換算距離の算出は、次式による。
換算距離＝運搬距離＋標高差×3

施工単価コード　SB421

施工単価名称	現場内小運搬　モノレール運搬						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件	A

出力名称	現場内小運搬　モノレール運搬
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	

１．ボーリングマシン並びに各種原位置試験用器材をトラック又はライトバン等より降した地点から、順次調査地点へと移動して、調査終了後にトラック又はライトバンに積み込む地点までの運搬費である。（運搬に付随する積み込み、積み降ろしを含む。なお、トラック又はライトバン等による資機材運搬、人員輸送は別途計上する。）
２．設置距離1000m以下に適用する。
３．単価＝機械経費＋労務費

条件名	A	条件名称	総運搬距離

01	50m以下
02	50m超 100m以下
03	100m超 200m以下
04	200m超 300m以下
05	300m超 500m以下
06	500m超1000m以下

施工単価コード　SB422

施工単価名称	現場内小運搬　モノレール運搬機械器具損料						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	A

出力名称	現場内小運搬　モノレール機械器具損料
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
設置距離1000m以下に適用する。	

条件名	A	条件名称	総設置距離
01		50m以下	
02		50m超 100m以下	
03		100m超 200m以下	
04		200m超 300m以下	
05		300m超 500m以下	
06		500m超1000m以下	

施工単価コード　SB423

施工単価名称	現場内小運搬　モノレール架設・撤去						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A

出力名称	現場内小運搬　モノレール架設・撤去
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
設置距離1000m以下に適用する。	

条件名	A	条件名称	総設置距離
01		50m以下	
02		50m超 100m以下	
03		100m超 200m以下	
04		200m超 300m以下	
05		300m超 500m以下	
06		500m超1000m以下	

施工単価コード SB441

施工単価名称	**足場仮設**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～B

出力名称	足場仮設
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	

単価＝機械経費＋労務費＋材料費
１．ボーリング櫓設置撤去、機械分解組立を含むものとする。
２．水上足場において、ボーリング櫓設置撤去のために「とび工」が必要な場合、並びに、水底の地形が傾斜しており、整地のため「潜水士」が必要な場合は、別途計上するものとする。
３．水上足場は、作業船を含むものとする。
４．水上足場は、河川・湖沼等波浪の少ない場合とし、海上の場合は、別途計上する。
５．水上足場設置後に、作業現場までの移動に船外機搭載の船舶等を使用する必要がある場合の移動費用については、別途計上する。

条件名	A	条件名称	足場区分

01	平坦地足場（高さ0.3m以下）
02	平坦地足場（高さ0.3m超）
03	湿地足場
04	傾斜地足場　　地形傾斜15～30°
05	傾斜地足場　　地形傾斜30～45°
06	傾斜地足場　　地形傾斜45～60°
07	水上足場　　水深 1m以下
08	水上足場　　水深 3m以下
09	水上足場　　水深 5m以下

水上足場は、河川・湖沼等波浪の少ない場合とし、海上の場合は、別途計上する。

条件名	B	条件名称	ボーリング深度

＊ 01	ボーリング深度　　50m以下
02	ボーリング深度　50m超 80m以下
03	ボーリング深度　80m超120m以下
04	ボーリング深度　120m超

施工単価コード　SB408

施工単価名称	**準備及び跡片付け**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	

出力名称	準備及び跡片付け
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
単価＝機械経費＋労務費＋材料費 １．資機材の準備・保管、ボーリング地点の整地・跡片付け、占用許可及び申請手続き、位置出し測量等を含むものとする。	

施工単価コード　SB409

施工単価名称	**搬入路伐採等**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	

出力名称	搬入路伐採等
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．現場内小運搬で、立木伐採や下草刈り等が必要な場合に適用する ２．単価＝機械経費＋労務費＋材料費 ３．距離の補正係数 　換算距離＝道路延長＋標高差×6（標高差は1m単位とする）	

施工単価コード　SB410

施工単価名称	**環境保全**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	

出力名称	環境保全
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．道路や住宅の近くでボーリングを行う場合等で、安全上、環境保全上、 囲いが必要な場合に適用する。 ２．単価＝機械経費＋労務費＋材料費 ３．交通誘導員の費用を含まない。	

施工単価コード　SB411

施工単価名称	**調査孔閉塞**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	

出力名称	調査孔閉塞
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．調査孔を閉塞する必要がある場合に適用する。 ２．単価＝機械経費＋労務費＋材料費	

施工単価コード　SB412

施工単価名称	**給水費（ポンプ運転）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	

出力名称	給水費（ポンプ運転）
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．水源が20m以上150m以下の場合に適用する。水源が20m未満は、せん孔に含むものとする。また、150m超は別途計上する。 ２．単価＝機械経費＋労務費＋材料費	

施工単価コード SB175

施工単価名称	**計画準備**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	計画準備
規格名称１	解析等調査業務
規格名称２	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SB174

施工単価名称	既存資料の収集・現地調査						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	既存資料の収集・現地調査
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	
１．設計業務委託の諸経費体系を適用する。 ２．関係文献等の収集と検討、調査地周辺の現地踏査に適用する。 ３．ダム、トンネル、地すべり、砂防等の大規模な業務や技術的に高度な業務には適用しない。 ４．単価は、コピー代等を含む。	

条件名	A	条件名称	土質ボーリング本数
実数			

１．岩盤ボーリング1本は土質ボーリング3本に換算する。
　また、ボーリング1本中に土質ボーリングと岩盤ボーリングが混在する場合は、
　その1本に占める割合が多い方とする。
２．ボーリングのせん孔長は考慮しないものとする。

施工単価コード SB170

施工単価名称	資料整理とりまとめ						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	資料整理とりまとめ
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	

１．直接人件費に係わる部分は、設計業務委託の諸経費体系を適用する。
２．ボーリング調査に伴う下記の業務を内容とする。
　①各種計測結果の評価および考察（異常データのチェック含む。）
　②試料の観察
　③ボーリング柱状図の作成
３．ダム、トンネル、地すべり、砂防等の大規模な業務や技術的に高度な
　業務には適用しない。
４．単価は内業単価であり、ボーリング柱状図、コピー代を含む。

条件名	A	条件名称	業務費区分
01	直接人件費（解析等調査業務費分）		
02	直接人件費（直接調査費分）		

直接人件費の内、解析等調査業務費として計上する部分は、コンサルタント的調査業務としてのその他原価の対象とし、それ以外の部分は直接調査費に計上する。

条件名	B	条件名称	土質ボーリング本数
実数			

１．岩盤ボーリング1本は土質ボーリング3本に換算する。
　また、ボーリング1本中に土質ボーリングと岩盤ボーリングが混在する場合は、
　その1本に占める割合が多い方とする。
２．ボーリングのせん孔長は考慮しないものとする。

施工単価コード SB171

施工単価名称	**断面図等の作成**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	断面図等の作成
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	

１．直接人件費に係わる部分は、設計業務委託の諸経費体系を適用する。
２．ボーリング調査に伴う下記の業務を内容とする。
　①地層および土性の判定。
　②土質又は地質断面図の作成（着色を含む）。
３．ダム、トンネル、地すべり、砂防等の大規模な業務や技術的に高度な
　業務には適用しない。
４．単価は、用紙類等を含む。

条件名	A	条件名称	業務費区分
01	直接人件費（解析等調査業務費分）		
02	直接人件費（直接調査費分）		

直接人件費の内、解析等調査業務費として計上する部分は、コンサルタント的調査業務としてのその他原価の対象とし、それ以外の部分は直接調査費に計上する。

条件名	B	条件名称	土質ボーリング本数
実数			

１．岩盤ボーリング1本は土質ボーリング3本に換算する。
　また、ボーリング1本中に土質ボーリングと岩盤ボーリングが混在する場合は、
　その1本に占める割合が多い方とする。
２．ボーリングのせん孔長は考慮しないものとする。

施工単価コード SB172

施工単価名称	**総合解析とりまとめ**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	総合解析とりまとめ
規格名称１	市場単価方式
規格名称２	
適用条件	

１．設計業務委託の諸経費体系を適用する。
２．下記の業務を内容とする。（ダム、トンネル、地すべり、砂防等の大規模な業務や技術的に高度な業務には適用しない。）
①調査地周辺の地形・地質の検討
②地質調査結果に基づく土質定数の設定
③地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定
④地盤の透水性の検討（現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合）
⑤調査結果に基づく基礎形式の検討（具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討）
⑥設計・施工上の留意点の検討（特に盛土や切土を行う場合）
⑦報告書の執筆
ただし、次のような業務は含まない。
１)杭の支持力計算、圧密沈下（沈下量及び沈下時間）計算、応力分布及び地すべり計算等の具体的な計算業務。
２)高度な土質・地質定数の計算と検討、軟弱地盤に対する対策工法の検討、安定解析、液状化解析、特定の基礎工法や構造物に関する総合的検討。
３)地質図の作成（別途、地質、地表踏査が必要なもの）
３．単価は内業単価であり、コピー代等を含む。

条件名	A	条件名称	土質ボーリング本数
実数			

１．岩盤ボーリング1本は土質ボーリング3本に換算する。
また、ボーリング1本中に土質ボーリングと岩盤ボーリングが混在する場合は、その1本に占める割合が多い方とする。
２．ボーリングのせん孔長は考慮しないものとする。

条件名	B	条件名称	試験種目数
01	0～3種		
02	4～5種		
03	6～9種		

施工単価コード SB901

施工単価名称	電子成果品作成費						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	電子成果品作成費
規格名称１	（設計区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	設計区分
01	地質調査市場単価		
02	地すべり調査		

条件名	B	条件名称	直接調査費(電子成果品作成費除く)(千円)
実数			

A=1のとき、B条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	C	条件名称	直接人件費（千円）
実数			

A=2のとき、C条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード　SB902

施工単価名称	**施工管理費**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A

出力名称	施工管理費
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	直接調査費(円)
実数			

本施工計上前に試算して得られた直接調査費を入力する。

施工単価コード　SB130

施工単価名称	弾性波探査 （解析等調査業務費）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	弾性波探査
規格名称１	解析等調査業務費
規格名称２	受振点間隔5m　測線延長（B条件値）km
適用条件	

１．弾性波探査器（24成分）を使用して探査する発破法及びスタッキング法に適用する。
２．本歩掛の適用延長は発破法の場合は測線延長4kmまで、スタッキング法の場合は測線延長1.5kmまでとする。
３．地域及び地形については、地域は原野又は森林、地形は丘陵地、低山地又は高山地の場合に適用できるものとする。
４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

条件名	A	条件名称	作業区分
01	発破法		
02	スタッキング法		

条件名	B	条件名称	測線延長（km）
実数			

A=1の時、測線延長は4kmまで
A=2の時、測線延長は1.5kmまで

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB135

施工単価名称	弾性波探査 （直接調査費）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	弾性波探査
規格名称１	直接調査費
規格名称２	受振点間隔5m　測線延長（B条件値）km
適用条件	

１．弾性波探査器（24成分）を使用して探査する発破法及びスタッキング法に適用する。
２．適用延長は発破法の場合は測線延長4kmまで、スタッキング法の場合は測線延長1.5kmまでとする。
３．地域及び地形については、地域は原野又は森林、地形は丘陵地、低山地又は高山地の場合に適用できるものとする。
４．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

条件名	A	条件名称	作業区分
01	発破法		
02	スタッキング法		

条件名	B	条件名称	測線延長（km）
実数			

A=1のとき、測線延長は4kmまで。
A=2のとき、測線延長は1.5kmまで。

条件名	C	条件名称	打合せの有無
＊ 01	打合せなし		
02	打合せあり		

条件名	D	条件名称	中間打合せの有無
01	中間打合せ　有り		
02	中間打合せ　無し		

C=2のとき、D条件は選択可能。

施工単価コード SB135

条件名	E	条件名称	中間打合せ回数（標準は2回を入力）
実数	条件省略値:0		

C=2のとき、E条件は入力可能。

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SB361

施工単価名称	**計画準備**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	計画準備
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	対象総面積　0.6km2以内
適用条件	

１．実施計画書を作成、提出する。また、地すべり調査の実施の予備調査として、次の項目を実施する。
「既存資料調査」：対象地すべり地付近の地形、地質、水文、地すべりの分布、滑動履歴など既存資料を収集する。
「地形判読作業」：地形図、空中写真などを用いて地すべりブロックを判定し、その周辺の地形分類、埋谷画図などを必要に応じて作成する。
「現地調査」　　：地形、地質、水文、滑動現況及び履歴等の現地調査を行い、地すべり現況を明らかにするとともに、調査計画、応急対策計画の概要を調査する。これには、主測線、その他地すべり調査計画上必要な基準線となる測線を定める作業も含む。
２．調査種目数7種以内及び対象総面積0.6km2以内の場合に適用する。

条件名	A	条件名称	調査種目数（1～7）
実数	条件省略値:0		

調査種目数は、1～7まで

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード SB370

施工単価名称	**地下水位測定**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A～D

出力名称	地下水位測定
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	
適用条件	
１．地下水位の変化を観測する。測定法は、一般的には水圧式水位計又はフロート式水位計を使用するが、他に手動で降下させる触針式水位計を使用する場合もある。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	延べ供用日数
実数			

条件名	B	条件名称	地下水位計規格
01	触針式水位計		
02	自記水位計		
03	その他		

B条件は、A>0のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	地下水位計損料（円／日）
実数			

C条件は、B=3のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB393

施工単価名称	**設置 （地下水位測定）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A

出力名称	設置（地下水位測定）
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る 作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB394

施工単価名称	**観測 （地下水位測定）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A～D

出力名称	観測（地下水位測定）
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	延べ供用日数
実数			

条件名	B	条件名称	地下水位計規格
01	触針式水位計		
02	自記水位計		
03	その他		

条件名	C	条件名称	地下水位計損料（円／日）
実数			

C条件は、B=3のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	D	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB395

施工単価名称	**資料整理 （地下水位測定）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A

出力名称	資料整理（地下水位測定）
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る 作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB396

施工単価名称	**撤去（地下水位測定）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A

出力名称	撤去（地下水位測定）
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る 作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SB371

施工単価名称	伸縮計による調査 （移動変形調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A～D

出力名称	移動変形調査・伸縮計による調査
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	
適用条件	
１．一般に地すべり地の頭部ではテンション、末端部や隆起部ではコンプレッションが働き、地表にクラックや圧縮が生ずる。この地表の動きを測定して、地すべりの活動の様子、地すべり機構を知るための調査を行う。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	延べ供用日数
実数			

条件名	B	条件名称	観測回数
実数			

条件名	C	条件名称	資料整理月数（ヶ月）　1基当り
実数			

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB381

施工単価名称	設置 （伸縮計による調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A

出力名称	設置（伸縮計による調査）
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	移動変形調査
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード SB382

施工単価名称	**観測 （伸縮計による調査）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A～C

出力名称	観測（伸縮計による調査）
規格名称１	観測回数（Ｂ条件値）回
規格名称２	地すべり調査・移動変形調査
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	延べ供用日数
実数			

条件名	B	条件名称	観測回数
実数	条件省略値:0		

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SB383

施工単価名称	資料整理 （伸縮計による調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A～B

出力名称	資料整理（伸縮計による調査）
規格名称１	1基当り （Ａ条件値）ヶ月
規格名称２	地すべり調査・移動変形調査
適用条件	
１．1ヶ月当りの歩掛である。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	資料整理月数（ヶ月）　1基当り
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SB372

施工単価名称	傾斜計による調査 （移動変形調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A～D

出力名称	移動変形調査・傾斜計による調査
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	
適用条件	
１．地すべりによる地表の傾斜変動を測定し、地すべり変動を確認する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	延べ供用日数
実数			

条件名	B	条件名称	観測回数
実数			

条件名	C	条件名称	資料整理月数（ヶ月）　1基当り
実数			

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB384

施工単価名称	設置 （傾斜計による調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A

出力名称	設置（傾斜計による調査）
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	移動変形調査
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SB385

施工単価名称	**観測 （傾斜計による調査）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A～C

出力名称	観測（傾斜計による調査）
規格名称１	観測回数（Ｂ条件値）回
規格名称２	地すべり調査・移動変形調査
適用条件	
１．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	延べ供用日数
実数			

使用日数は、省略不可

条件名	B	条件名称	観測回数
実数	条件省略値:0		

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード SB386

施工単価名称	資料整理 （傾斜計による調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A～B

出力名称	資料整理（傾斜計による調査）
規格名称１	1基当り （Ａ条件値）ヶ月
規格名称２	地すべり調査・移動変形調査
適用条件	
１．1ヶ月当りの歩掛である。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	資料整理月数（ヶ月）　　1基当り
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード SB373

施工単価名称	パイプ式歪計による調査（移動変形調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A～E

出力名称	移動変形調査・パイプ式歪計による調査
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	
適用条件	
１．パイプ式歪計は、外径48～60㎜の塩ビ管外周軸方向で、直行する2方向、又は、1方向にペーパーストレーンゲージを1.0m間隔に装置したものをボーリング孔に設置し、ゲージの歪量を測定し、すべり面の位置を確認する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	深度（m）
実数			

条件名	B	条件名称	リード線区分
01	1方向2ゲージ		
02	2方向4ゲージ		

条件名	C	条件名称	観測回数
実数			

条件名	D	条件名称	資料整理回数
実数			

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB387

施工単価名称	設置（パイプ式歪計による調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A～C

出力名称	設置（パイプ式歪計による調査）
規格名称１	（リード線区分）　　深度（Ａ条件値）m
規格名称２	地すべり調査・移動変形調査
適用条件	
１．1方向2ゲージまたは2方向4ゲージ、ゲージ間隔1.0m、深度30m以内の場合に適用し、これ以外の場合には別途計上する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	深度（m）
実数			

深度は、省略不可
深度は、30mまで

条件名	B	条件名称	リード線区分
01	1方向2ゲージ		
02	2方向4ゲージ		

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SB388

施工単価名称	観測 （パイプ式歪計による調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A～B

出力名称	観測（パイプ式歪計による調査）
規格名称１	観測回数（Ａ条件値）回
規格名称２	地すべり調査・移動変形調査
適用条件	
１．1方向2ゲージまたは2方向4ゲージ、ゲージ間隔1.0m、深度30m以内の場合に適用し、これ以外の場合には別途計上する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	観測回数
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。

施工単価コード SB389

施工単価名称	資料整理（パイプ式歪計による調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A～B

出力名称	資料整理（パイプ式歪計による調査）
規格名称１	資料整理（Ａ条件値）回
規格名称２	地すべり調査・移動変形調査
適用条件	
１．1ヶ月当りの歩掛である。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	資料整理回数
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード SB374

施工単価名称	移動変形調査・挿入式孔内傾斜計による調査						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A～E

出力名称	移動変形調査・挿入式孔内傾斜計による調査
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	
適用条件	

１．挿入型孔内傾斜計は、通常86mm以上の孔径で削孔したボーリング孔に溝付の塩化ビニールパイプ、あるいはアルミケーシングパイプを地表面から不動層まで埋設した後、プローブに取付けられた車輪をパイプの溝に合わせて降下して0.5mあるいは1.0m毎にパイプの傾きを検出し、指示計に表示される傾き量あるいは変位量を読みとるもので、X方向、Y方向の地盤の変形方向、大きさを調べる。
２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

条件名	A	条件名称	深度（m）
実数			

条件名	B	条件名称	延べ供用日数
実数	条件省略値:0		

条件名	C	条件名称	観測回数
実数			

条件名	D	条件名称	資料整理回数
実数			

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB390

施工単価名称	**設置 （挿入式孔内傾斜計）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A～B

出力名称	設置（挿入式孔内傾斜計）
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	移動変形調査
適用条件	
１．1方向または2方向で0.5～1.0m間隔、深度50m以内の場合に適用し、これ以外の場合には、別途計上する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	深度（m）
実数			

深度は、省略不可
深度は、50mまで

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。

施工単価コード SB391

施工単価名称	**観測（挿入式孔内傾斜計）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A～B

出力名称	観測（挿入式孔内傾斜計）
規格名称１	観測回数（Ａ条件値）回
規格名称２	地すべり調査・移動変形調査
適用条件	
１．1方向または2方向で0.5m～1.0m間隔、深度50m以内の場合に適用し、これ以外の場合には、別途計上する。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	観測回数
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで。

施工単価コード SB392

施工単価名称	資料整理 （挿入式孔内傾斜計）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A～B

出力名称	資料整理（挿入式孔内傾斜計）
規格名称１	資料整理回数（Ａ条件値）回
規格名称２	地すべり調査・移動変形調査
適用条件	
１．1ヶ月当りの歩掛である。 ２．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。	

条件名	A	条件名称	資料整理回数
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード SB362

施工単価名称	**解析**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～E

出力名称	解析
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	

条件名	A	条件名称	地盤特性検討個所数（1～4）
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	機構解析ブロック数（1～5）
実数	条件省略値:0		

条件名	C	条件名称	安定解析断面数（1～8）
実数	条件省略値:0		

条件名	D	条件名称	対策工法選定箇所数（1～3）
実数	条件省略値:0		

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB375

施工単価名称	**解析 ・ 地盤特性検討**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	解析・地盤特性検討
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	検討箇所数（Ａ条件値）
適用条件	
１．地盤特性検討1個所の場合の標準歩掛であり、検討個所数に応じて補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 ２．検討4個所以内かつ検討対象総面積0.6km2以下とし、これを超える場合には別途計上する。	

条件名	A	条件名称	地盤特性検討個所数（1～4）
実数	条件省略値:0		

個所数は、1～4まで

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード | SB376

施工単価名称	**解析 ・ 機構解析**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	解析・機構解析
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	ブロック数（A条件値）
適用条件	
１．機構解析1ブロックの場合の標準歩掛であり、解析ブロック数に応じて補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 ２．機構解析対象合計5ブロック以内かつ解析対象総面積0.6km2以下の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。	

条件名	A	条件名称	機構解析ブロック数（1～5）
実数	条件省略値:0		

ブロック数は、1～5まで

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SB377

施工単価名称	**解析・安定解析**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	解析・安定解析
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	断面数（A条件値）
適用条件	
１．安定解析断面1断面の場合の標準歩掛であり、断面数に応じて補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 ２．解析断面数8断面以内かつ断面の総延長4km以内の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。	

条件名	A	条件名称	安定解析断面数（1～8）
実数	条件省略値:0		

断面数は、1～8まで

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード SB378

施工単価名称	**解析・対策工法選定**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	解析・対策工法選定
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	選定個所数（A条件値）
適用条件	
１．対策工法選定対象1個所あたりの場合の標準歩掛であり、選定個所数に応じて補正係数を標準歩掛に乗じて適用する。 ２．選定個所数3個所以内かつ対象総面積0.6km2以内の場合に適用し、これを超える場合には別途計上する。	

条件名	A	条件名称	対策工法選定個所数（1～3）
実数	条件省略値:0		

箇所数は、1～3まで

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SB363

施工単価名称	**報告書作成**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	報告書作成
規格名称１	地すべり調査
規格名称２	調査種目数（Ａ条件値）

条件名	A	条件名称	調査種目数（1～7種目）
実数			

調査種目数は、1～7まで

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

調整係数は、0～1まで

施工単価コード　SB901

施工単価名称	電子成果品作成費						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	電子成果品作成費
規格名称１	（設計区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	設計区分
01	地質調査市場単価		
02	地すべり調査		

条件名	B	条件名称	直接調査費(電子成果品作成費除く)(千円)
実数			

A=1のとき、B条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	C	条件名称	直接人件費（千円）
実数			

A=2のとき、C条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード　SB201

施工単価名称	**地表踏査**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	地表踏査
規格名称１	地すべり機構調査
規格名称２	

条件名	A	条件名称	面積（ha）
実数			

本歩掛は30ha程度を標準としている。この標準によりがたい場合は、
面積による増減率で合計金額を補正する。
ただし80ha以上の場合は別途積算する。

１．新規箇所は原則として指定地の全面積を対象とし、継続箇所は必要とするブロックの面積を対象とする。
２．職階別技術者の現場までの往復、滞在に要する旅費は必要日数を積上げて「富山県旅費取扱規程」に準じて積算し業務委託の直接経費に計上する。

施工単価コード SB231

施工単価名称	**移動杭設置**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	本	条件	A

出力名称	移動杭設置
規格名称１	地すべり機構調査
規格名称２	
適用条件	
１．標準測線は移動杭8本、固定杭2本とし、標準設置数は1日1測線とする。 ２．主任地質調査員は技術管理及び設置指導のほか、測量も行う。 ３．伐開のある場合は別途計上する。 ４．標尺取付け及びこの歩掛により難い場合は、別に積算する。	

条件名	A	条件名称	生コン小型車割増の有無
＊ 01	生コン小型車割増なし		
02	生コン小型車割増あり		

施工単価コード　SB232

施工単価名称	**移動杭測定**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	移動杭測定
規格名称１	１測線１回当り
規格名称２	
適用条件	
１．標準測線、移動杭8本、固定杭2本とし、標準観測線数は1日2測線とする。 ２．見透し線法により、垂直、水平変動をレベル、トランシット併用で実施する。	

条件名	A	条件名称	杭数（本）
実数			

測線の杭数による増減率により補正を行う。

施工単価コード　SB233

施工単価名称	**移動杭資料整理**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	移動杭資料整理
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．観測4回分、杭数8～12本を標準とした歩掛である。 ２．変動図作成及び簡単な考察程度までとする。	

条件名	A	条件名称	月当り観測回数
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	移動杭本数
01	移動杭本数　3～ 7本		
＊ 02	移動杭本数　8～12本		
03	移動杭本数　13～17本		
04	移動杭本数　18～22本		
05	移動杭本数　23本以上		

施工単価コード　SB241

施工単価名称	ボーリング孔保孔管設置						
実査区分	共通	単位数量	30	単位	m	条件	A

出力名称	ボーリング孔保孔管設置
規格名称１	地すべり機構調査
規格名称２	
適用条件	
塩化ビニール管に使用する。	

条件名	A	条件名称	保孔管呼径

01	ＶＰ　40mm
02	ＶＰ　50mm
03	ＶＰ　65mm
04	ＶＰ　75mm
05	ＶＰ 100mm

施工単価コード　SB271

施工単価名称	自然放射能探査側線設置						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	

出力名称	自然放射能探査側線設置
規格名称１	地すべり機構調査
規格名称２	
適用条件	
１．伐開の必要な場合は別途計上のこと。 ２．傾斜による補正はしない。	

施工単価コード　SB272

施工単価名称	自然放射能探査測定						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	

出力名称	自然放射能探査測定
規格名称１	地すべり機構調査
規格名称２	
適用条件	
1日当り1.0km（200点）測定するものとする。	

施工単価コード　SB273

施工単価名称	**自然放射能探査資料整理**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	

出力名称	自然放射能探査資料整理
規格名称１	地すべり機構調査
規格名称２	
適用条件	
調査結果平面図及び縦横断面図作成並びに簡単な考察程度までとする。	

施工単価コード　SB311

施工単価名称	地下水追跡観測 （地すべり機構調査）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A

出力名称	地下水追跡観測
規格名称１	食塩又は硫酸マンガン
規格名称２	

条件名	A	条件名称	トレーサー
01	食塩		
02	硫酸マンガン		

トレーサーは食塩又は硫酸マンガンを用いる。

１．標準採水箇所は10箇所とする。
２．標準測定期間はバックグランド7日、投入後20日とする。
３．採水回数は次による。
　バックグランド　1日1回定時・・・・・・・・・・・ 7回
　投　入　日　　投入後0.5,1,2,4,8時間後 ・・・ 5回
　2日目以後　　1日1回定時・・・・・・・・・・・19回
　　計　 31回
４．定量分析は権威ある試験研究所で行い、単価は各都道府県の条例による。
５．標準により難い場合は別途積算のこと。
６．標準積算人件費内訳（投入日は時間外になるため7割増とする）
　地質調査技師　：投入計画1人1日、投入指導1.7人1日･･･計 2.7人
　主任地質調査員：投入計画補助1人1日、投入1.7人1日
　　バックグランド採水指導0.1人7日、
　　採水指導 0.1人19日　　･･･計 5.3人
　地質調査員　　：バックグランド採水1人7日、投入日8.5人1日
　　採水1人19日　　･･･計34.5人

施工単価コード　SB312

施工単価名称	**地下水追跡観測（フローレッセンソーダ）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	

出力名称	地下水追跡観測
規格名称１	フローレッセンソーダ
規格名称２	

１．トレーサーはフローレッセンソーダを用いる。
２．採水箇所は10箇所とする。
３．標準測定期間は投入後20日とする。
４．採水回数は次による。
　投入日　投入後　　0.5,1,2,4,8時間後・・・ 5回
　　2日目以降　1日1回定時・・・・・・・19回　　計24回
５．定量分析は蛍光光度計にて実施する。
６．標準積算
　人件費（投入日は時間外になるため７割増とする）
　地質調査技師　：投入計画1人1日、投入指導1.7人1日
　　定量分析指導1人1日　　・・・計 3.7人
　主任地質調査員：投入計画補助1人1日、投入1.7人1日
　　採水指導0.1人19日、定量分析1日40資料1人6日・・・計10.6人
　地質調査員　　：投入日8.5人／日、採水1人19日　　・・・計27.5人

施工単価コード	SB313

施工単価名称	**地下水追跡資料整理**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	

出力名称	地下水追跡資料整理
規格名称１	
規格名称２	

１．トレーサー検出量変化図、トレーサー検出速度図の作成及び簡単な考察程度までとする。

施工単価コード　SB321

施工単価名称	**地下水検層**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A

出力名称	地下水検層
規格名称１	（孔長）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	孔長
01	孔長30m以下		
02	孔長30mを超える		

標準孔長は30mとし31m以上はこの歩掛の人件費を2割増しとする。

１．測定は食塩投入前、投入後10、20、30、60、120、180分に行うものとし、
　　1孔当り所要時間は5時間とする。
２．現地までの往復時間は1時間程度見込んでいる。

施工単価コード　SB322

施工単価名称	**地下水検層資料整理**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	

出力名称	地下水検層資料整理
規格名称１	
規格名称２	

１．抵抗変化図作成及び簡単な考察程度までとする。

施工単価コード　SB331

施工単価名称	**簡易揚水試験**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	

出力名称	簡易揚水試験
規格名称１	地すべり機構調査
規格名称２	
適用条件	
調査ボーリング孔を利用し、3m掘削毎に1回試験を行う。	

施工単価コード　SB332

施工単価名称	簡易揚水試験資料整理						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	回	条件	

出力名称	簡易揚水試験資料整理
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
時間～水位回復曲線図作成及び土層の透水係数を求める。	

施工単価コード　SH353

施工単価名称	原位置試験および乱れの少ない試料採取（海上）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回・本	条件	A～H

出力名称	原位置試験および乱れの少ない試料採取
規格名称１	（港湾）海上施工
規格名称２	
適用条件	
海上での原位置試験および乱れの少ない試料採取に適用する。 原位置試験には、標準貫入試験、ベーンせん断試験（ベーンテスト）、孔内水平載荷試験、また乱れの少ない試料採取には固定ピストン式シンウォールサンプリング、ロータリー式二重管・三重管サンプリングを標準とする。	

条件名	A	条件名称	作業区分
01	標準貫入試検		
02	ベーンせん断試験		
03	孔内水平載荷試験		
04	試料採取　固定ピストン式		
05	試料採取　ロータリー式		

条件名	B	条件名称	土質
01	粘性土・シルト		
02	砂・砂質土		
03	レキ混り土砂		
04	固結シルト・固結粘土		
05	軟岩・中硬岩・硬岩		

A=1,3～5のとき、B=2は選択可能。
A=1,5のとき、　B=3,4は選択可能。
A=1のとき、　B=5は選択可能。

条件名	C	条件名称	せん孔深度区分
01	せん孔深度　50m未満		
02	せん孔深度 50m以上 ～ 80m未満		
03	せん孔深度 80m以上 ～ 100m未満		

施工単価コード SH353

条件名	D	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	E	条件名称	作業時間区分
01	作業時間　　5km未満		
02	作業時間　5km以上 ～ 10km未満		
03	作業時間 10km以上 ～ 15km未満		

条件名	F	条件名称	標準試錐深度
01	標準試錐深度　50m以下		
02	標準試錐深度 150m以下		

条件名	G	条件名称	サンプリングチューブ損料（円／本）
実数	条件省略値:0		

A=4,5のとき、G条件は入力可能。

条件名	H	条件名称	サンプリングチューブ本数
実数			

G>0のとき、H条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード　SH354

施工単価名称	原位置試験および乱れの少ない試料採取 （陸上）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	A～D

出力名称	原位置試験および乱れの少ない試料採取
規格名称１	（港湾）陸上施工
規格名称２	市場単価方式
適用条件	
陸上での原位置試験および乱れの少ない試料採取に適用する。 原位置試験には、標準貫入試験、ベーンせん断試験（ベーンテスト）、孔内水平載荷試験、また乱れの少ない試料採取には固定ピストン式シンウォールサンプリング、ロータリー式二重管・三重管サンプリングを標準とする。	

条件名	A	条件名称	作業区分
01	原位置試験（標準貫入試験）		
02	原位置試験（孔内水平載荷試験）		
03	乱れの少ない試料採取		

条件名	B	条件名称	土質
01	粘性土・シルト		
02	砂・砂質土		
03	レキ混り土砂		
04	玉石混り土砂（玉石・割石）		
05	固結シルト・固結粘性土		
06	軟岩		

条件名	C	条件名称	規格
01	普通載荷（2.5MN/m2以下）GL-50m以内		
02	中圧載荷（2.5～10MN/m2以下）GL-50m以内		
03	高圧載荷（10～20MN/m2以下）GL-50m以内		

施工単価コード SH354

条件名	D	条件名称	種別

01	シンウォールサンプリング
02	ロータリー式二重管サンプリング
03	ロータリー式三重管サンプリング

施工単価コード　SH011

施工単価名称	**事前協議**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	事前協議
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SH012

施工単価名称	**中間報告**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	中間報告
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SH013

施工単価名称	**最終報告**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	最終報告
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード	SH341

施工単価名称	**磁気探査（計画）港湾　測量**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	

出力名称	磁気探査（計画）港湾
規格名称１	；測量
規格名称２	

施工単価コード	SH361

施工単価名称	磁気探査（計画） 港湾　設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	

出力名称	磁気探査（計画）港湾
規格名称１	；設計
規格名称２	

施工単価コード　SH342

施工単価名称	磁気探査（機材運搬） 港湾						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	磁気探査（機材運搬）港湾
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	往復平均距離（km）
実数			

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

条件名	C	条件名称	長期割引（ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 25t）
＊ 01	割引有り（ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 25t）		
02	割引無し（ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 25t）		

施工単価コード　SH343

施工単価名称	磁気探査（準備・艤装）港湾　測量						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	組	条件	A～B

出力名称	磁気探査（準備・艤装）港湾
規格名称１	；測量
規格名称２	

条件名	A	条件名称	準備・艤装の内訳
01	調査台船組立		
02	えい航試験		
03	調査台船解体		
04	保守点検		

条件名	B	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード　SH363

施工単価名称	磁気探査（準備・艤装）港湾　設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	組	条件	A

出力名称	磁気探査（準備・艤装）港湾
規格名称１	；設計
規格名称２	

条件名	A	条件名称	準備・艤装の内訳

01	調査台船組立
02	えい航試験
03	調査台船解体
04	保守点検

施工単価コード　SH344

施工単価名称	磁気探査（探査）港湾　測量						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～H

出力名称	磁気探査（探査）港湾
規格名称１	；測量
規格名称２	

条件名	A	条件名称	海域区分
01	港内水域		
02	港外水域		

条件名	B	条件名称	平均探査長
01	400m未満		
02	400m以上		

条件名	C	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	D	条件名称	探査方向区分
01	両方向		
02	片方向		

条件名	E	条件名称	作業時間区分
01	5km未満		
02	5km以上～10km未満		
03	10km以上～15km未満		

施工単価コード SH344

条件名	F	条件名称	ＧＮＳＳ規格
01	ＤＧＮＳＳ		
02	ＲＴＫＧＮＳＳ		

条件名	G	条件名称	音響測深機規格
01	1方向　100kHz		
02	1方向　200kHz		

条件名	H	条件名称	係数ランク
01	1；（1.65）		
02	2；（1.85）		

施工単価コード　SH364

施工単価名称	磁気探査（探査）港湾　設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～E

出力名称	磁気探査（探査）港湾
規格名称１	；設計
規格名称２	

条件名	A	条件名称	海域区分
01	港内水域		
02	港外水域		

条件名	B	条件名称	平均探査長
01	400ｍ未満		
02	400ｍ以上		

条件名	C	条件名称	現場条件区分
01	影響なし		
02	やや影響あり		
03	悪い		

条件名	D	条件名称	探査方向
01	両方向		
02	片方向		

条件名	E	条件名称	作業時間区分
01	5km未満		
02	5km以上～10km未満		
03	10km以上～15km未満		

施工単価コード　SH345

施工単価名称	**磁気探査（資料解析）港湾　測量**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km	条件	

出力名称	磁気探査（資料解析）港湾
規格名称１	；測量
規格名称２	

施工単価コード　SH365

施工単価名称	**磁気探査（資料解析）港湾　設計**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	km	条件	

出力名称	磁気探査（資料解析）港湾
規格名称１	；設計
規格名称２	

施工単価コード　SH011

施工単価名称	**事前協議**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	事前協議
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SH012

施工単価名称	**中間報告**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	中間報告
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SH013

施工単価名称	**最終報告**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	最終報告
規格名称１	（工種区分）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	深浅測量		
02	磁気探査業務		
03	土質調査業務		
04	海象観測装置定期点検・保守業務		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SB121

施工単価名称	**各種試験**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	件	条件	A～C

出力名称	各種試験
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
歩掛が制定されていない試験の費用積算に適用する。	

条件名	A	条件名称	試験名

01	シンウォールサンプリング
02	デニソンサンプリング
03	現場密度試験
04	道路用平板載荷試験
05	変状土設計ＣＢＲ試験
06	変状土修正ＣＢＲ試験
07	現場ＣＢＲ試験
08	土粒子の密度試験
09	土の含水比試験
10	土の粒度試験（１）　粘性土
11	土の粒度試験（２）　砂質土
12	土の液性限界試験
13	土の塑性限界試験
14	土の収縮定数試験
15	土の遠心含水当量試験
16	突固め試験　乾燥法φ10
17	突固め試験　乾燥法φ15
18	突固め試験非乾燥法φ10
19	突固め試験非乾燥法φ15
20	土の圧密試験
21	土の透水試験　定水位法

施工単価コード SB121

条件名	A	条件名称	試験名
22	土の透水試験　変水位法		
23	土の一軸圧縮試験		
24	土質試験		

条件名	B	条件名称	単価（A=24のとき入力）
実数	条件省略値:0		

省略すると、建設物価の価格が入力される。
建設物価以外の価格又はA条件で24を選択した場合は、金額を入力すること。

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

設　　計

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
設計				
				委-3
＝＝　第３編　土木設計業務　＝＝＝＝＝＝＝＝				
＝＝　第２章 第１節 共通				
打合せ（設計）	SC100	業務		委-3-　1
打合せ（設計）	SC500	回		委-3-　3
関係機関打合せ協議（設計）	SC011	回		委-3-　5
合同現地踏査（設計）	SC012	回		委-3-　6
照査技術者による報告（設計）	SC013	回		委-3-　7
条件明示チェックシートの作成（設計）	SC014	回		委-3-　8
公開成果品作成	SC015	業務		委-3-　9
往復旅行時間にかかる直接人件費	SA021	式		委-3-　10
＝＝　第２章 第２節 道路設計標準歩掛				
＝＝　２－１　道路概略設計				
道路概略設計（Ａ）	SC101	km		委-3-　14
道路概略設計（Ｂ）	SC102	km		委-3-　15
＝＝　２－２　道路予備設計				
道路予備設計（Ａ）	SC104	km	改訂	委-3-　16
道路予備修正設計（Ａ）	SC103	km		委-3-　19
道路予備設計（Ｂ）	SC105	km	改訂	委-3-　21
道路予備修正設計（Ｂ）	SC108	km		委-3-　24
＝＝　２－３　道路詳細設計				
道路詳細設計	SC106	km		委-3-　26
＝＝　第２章 第３節 交差点設計				
＝＝　３－１　平面交差点設計				
平面交差点予備設計	SC109	箇所		委-3-　29
平面交差点詳細設計	SC112	箇所		委-3-　30
＝＝　３－２　ダイヤモンド型ＩＣ設計				
ダイヤモンド型ＩＣ予備設計	SC110	箇所		委-3-　31

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
ダイヤモンド型ＩＣ詳細設計	SC111	箇所		委-3- 32
＝＝　第２章 第４節 道路休憩施設設計				
サービスエリア設計	SC135	km		委-3- 33
パーキングエリア設計	SC136	km		委-3- 34
＝＝　第２章 第５節 歩道詳細設計				
歩道詳細設計	SC107	km		委-3- 35
＝＝　第２章 第６節 道路設計関係その他設計等				
＝＝　６－１　取付道路・大型用排水路詳細設計				
取付構造物詳細設計	SC113	m		委-3- 36
＝＝　６－２　座標計算				
座標計算	SC115	km		委-3- 37
＝＝　第２章 第７節 一般構造物設計				
＝＝　７－１　門型ラーメン・箱型函渠				
箱型函渠等　形式比較検討	SC119	箇所		委-3- 38
門型ラーメン詳細設計	SC120	箇所		委-3- 40
箱型函渠詳細設計	SC121	箇所		委-3- 42
＝＝　７－２　擁壁・補強土				
擁壁・補強土　形式比較検討	SC122	箇所		委-3- 44
逆Ｔ式擁壁詳細設計	SC123	箇所		委-3- 46
重力式擁壁詳細設計	SC124	箇所		委-3- 48
モタレ式・井桁・大型ブロック積擁壁詳細設計	SC125	箇所		委-3- 50
テールアルメ・多数アンカー式擁壁等詳細設計	SC126	箇所		委-3- 52
Ｕ型擁壁詳細設計	SC138	箇所		委-3- 54
＝＝　７－３　法面工				
法面工　予備設計	SC127	箇所		委-3- 56
場所打ち法枠詳細設計	SC128	箇所		委-3- 58
アンカー付場所打ち法枠詳細設計	SC129	箇所		委-3- 60

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
＝＝　７－４　落石防護柵				
落石防護柵　詳細設計	SC366	箇所		委-3-　62
＝＝　７－５　雪崩予防施設				
雪崩予防柵、雪崩防護柵　詳細設計	SC363	タイプ		委-3-　64
吊柵　詳細設計	SC364	業務		委-3-　66
＝＝　７－６　一般構造物基礎工				
一般構造物基礎工　詳細設計	SC186	箇所		委-3-　68
＝＝　第２章 第８節 橋梁設計				
＝＝　８－１　橋梁予備設計				
橋梁予備設計	SC401	式		委-3-　69
＝＝　８－２ 橋梁詳細設計				
＝＝　８－２－１　コンクリート上部工				
ＲＣ単純床版橋	SC411	橋		委-3-　70
ＲＣ単純Ｔ桁橋	SC412	橋		委-3-　72
ＲＣ単純中空床版橋	SC413	橋		委-3-　74
ＲＣ３径間連続中空床版橋	SC414	橋		委-3-　76
ＲＣ３径間連続Ｔ桁橋	SC415	橋		委-3-　78
ＲＣ３径間連続ラーメン橋	SC416	橋		委-3-　80
ＰＣ単純プレテンションＩ桁橋	SC417	橋		委-3-　82
ＰＣ単純プレテンションＴ桁橋	SC418	橋		委-3-　84
ＰＣプレテンションホロー桁橋	SC419	橋		委-3-　86
ＰＣ単純中空床版橋	SC420	橋		委-3-　88
ＰＣ単純ポストテンションＴ桁橋	SC421	橋		委-3-　90
ＰＣ単純箱桁橋	SC422	橋		委-3-　92
ＰＣ３径間連結プレテンＴ桁橋	SC423	橋		委-3-　94
ＰＣ３径間連結ポステンＴ桁橋	SC424	橋		委-3-　96
ＰＣ斜材付きπ型ラーメン橋	SC425	橋		委-3-　98
ＰＣ３径間連続中空床版橋	SC426	橋		委-3- 100
ＰＣ３径間連続ポステンＴ桁橋	SC427	橋		委-3- 102
ＰＣ３径間連続箱桁橋	SC428	橋		委-3- 104

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
＝＝　８－２－２　鋼橋上部工				
単純H形橋（鋼橋）	SC431	橋		委-3- 106
単純合成H形橋（鋼橋）	SC432	橋		委-3- 108
単純鈑桁橋（鋼橋）	SC433	橋		委-3- 110
単純合成鈑桁橋（鋼橋）	SC434	橋		委-3- 112
単純鋼床版鈑桁橋（鋼橋）	SC435	橋		委-3- 114
単純箱桁橋（鋼橋）	SC436	橋		委-3- 116
単純合成箱桁橋（鋼橋）	SC437	橋		委-3- 118
単純鋼床版箱桁橋（鋼橋）	SC438	橋		委-3- 120
３径間非合成ゲルバー桁橋（鋼橋）	SC439	橋		委-3- 122
単純トラス橋（鋼橋）	SC440	橋		委-3- 124
３径間連続鈑桁橋（鋼橋）	SC441	橋		委-3- 126
π型ラーメン鈑桁橋（鋼橋）	SC442	橋		委-3- 128
ゲルバートラス橋（鋼橋）	SC444	橋		委-3- 130
３径間連続鋼床版鈑桁橋（鋼橋）	SC447	橋		委-3- 132
３径間連続トラス橋（鋼橋）	SC448	橋		委-3- 134
３径間連続箱桁橋（鋼橋）	SC449	橋		委-3- 136
３径間連続鋼床版箱桁橋（鋼橋）	SC450	橋		委-3- 138
＝＝　８－２－４　橋台工				
重力式橋台	SC461	式		委-3- 140
逆Ｔ式橋台	SC462	式		委-3- 141
控え壁式橋台（扶壁式）	SC463	式		委-3- 142
ラーメン式橋台	SC464	式		委-3- 143
箱式橋台	SC465	式		委-3- 144
ラーメン式橋台（２方向）	SC466	式		委-3- 145
＝＝　８－２－５　橋脚工				
重力式橋脚	SC471	式		委-3- 146
壁式橋脚（逆Ｔ式）	SC472	式		委-3- 147
柱式橋脚（２柱式）	SC473	式		委-3- 148
張出式橋脚	SC474	式		委-3- 149
ラーメン式橋脚	SC475	式		委-3- 150
ＳＲＣ橋脚（中空式橋脚）	SC476	式		委-3- 151

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
＝＝　８－２－７　橋台基礎工				
既製杭　橋台基礎工	SC481	式		委-3- 152
場所打杭　橋台基礎工	SC482	式		委-3- 153
深礎杭　橋台基礎工	SC483	式		委-3- 154
＝＝　８－２－８　橋脚基礎工				
既製杭　橋脚基礎工	SC484	式		委-3- 155
場所打杭　橋脚基礎工	SC485	式		委-3- 156
深礎杭　橋脚基礎工	SC486	式		委-3- 157
井筒　橋脚基礎工	SC487	式		委-3- 158
鋼管矢板ウエル　橋脚基礎工	SC488	式		委-3- 159
ニューマチックケーソン　橋脚基礎工	SC489	式		委-3- 160
＝＝　８－２－11　架設計画（1工法）				
架設工設計（架設計画）	SC157	工法		委-3- 161
＝＝　８－３　横断歩道橋詳細設計				
横断歩道橋詳細設計	SC451	橋		委-3- 162
＝＝　第２章 第９節 地下横断歩道等設計				
横断地下道　設計計画及び現地踏査	SC260	箇所		委-3- 164
横断地下道　本体設計	SC261	箇所		委-3- 165
横断地下道　景観設計	SC262	箇所		委-3- 166
横断地下道　付属施設設計	SC263	箇所		委-3- 167
横断地下道　上屋設計	SC264	箇所		委-3- 168
横断地下道　施工計画	SC265	箇所		委-3- 169
横断地下道　設計図・数量計算・照査報告書	SC266	箇所		委-3- 170
＝＝　第２章 第10節 トンネル設計				
山岳トンネル本体詳細設計	SC190	式		委-3- 171
山岳トンネル設計計画・設計条件の確認	SC199	業務		委-3- 173
山岳トンネル現地踏査	SC191	業務		委-3- 174
山岳トンネル本体工設計	SC192	式		委-3- 175
山岳トンネル坑門工設計	SC194	式		委-3- 176

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
山岳トンネル坑門工比較設計	SC198	坑口		委-3- 177
防水工設計	SC189	断面		委-3- 178
排水工設計	SC197	トンネル		委-3- 179
非常用施設設計	SC196	トンネル		委-3- 180
舗装・施工計画・仮設備計画	SC195	トンネル		委-3- 181
山岳トンネル換気検討	SC193	トンネル		委-3- 182
山岳トンネル照査	SC188	業務		委-3- 183
＝＝　第２章 第11節 共同溝設計				
共同溝予備設計	SC340	km		委-3- 184
共同溝詳細設計［開削工法］設計計画	SC341	業務		委-3- 185
共同溝詳細設計［開削工法］全体計画	SC342	km		委-3- 186
共同溝詳細設計［開削工法］一般部断面設計	SC344	断面		委-3- 189
共同溝詳細設計［開削工法］換気口部設計	SC346	箇所		委-3- 190
共同溝詳細設計［開削工法］仮設構造物設計	SC343	断面		委-3- 191
共同溝詳細設計［開削工法］特殊部設計	SC345	箇所		委-3- 192
共同溝詳細設計［開削工法］施工計画・照査・	SC347	業務		委-3- 193
共同溝詳細設計［シールド工法］標準歩掛	SC348	km		委-3- 194
共同溝詳細設計［シールド工法］立坑設計	SC349	箇所		委-3- 195
＝＝　第２章 第12節 電線共同溝(C･C･BOX)設計				
電線共同溝（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）予備設計	SC166	箇所		委-3- 196
電線共同溝（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）詳細設計	SC176	箇所		委-3- 198
電線共同溝（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）各部設計	SC177	式		委-3- 200
＝＝　第２章 第13節 仮設構造物詳細設計				
土留工詳細設計	SC230	式		委-3- 202
仮橋仮桟橋設計	SC232	式		委-3- 204
＝＝　第２章 第14節 河川構造物設計				
＝＝　14－１　樋門設計				
樋門設計（設計計画）	SF291	箇所		委-3- 205
樋門設計（現地踏査）	SF292	箇所		委-3- 207
樋門設計（基本事項の決定）	SF293	箇所		委-3- 209

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
樋門設計（景観設計）	SF294	箇所		委-3- 211
樋門設計（構造設計）	SF295	箇所		委-3- 213
樋門設計（施工計画）	SF296	箇所		委-3- 215
樋門設計（仮設構造物設計）	SF297	箇所		委-3- 217
樋門設計（数量計算）	SF298	箇所		委-3- 219
樋門設計（パース作成）	SF299	箇所		委-3- 221
樋門設計（照査）	SF300	箇所		委-3- 223
樋門設計（報告書作成）	SF301	箇所		委-3- 225
＝＝　14－２　河川排水機場設計				
排水機場設計（設計計画）	SC220	式		委-3- 227
排水機場設計（現地踏査）	SC221	式		委-3- 228
排水機場設計（基本事項の検討・決定）	SC225	式		委-3- 229
排水機場設計（景観検討）	SC223	式		委-3- 230
排水機場設計（設計図）	SC224	式		委-3- 231
排水機場設計（構造設計）	SC226	式		委-3- 232
排水機場設計（機場上屋）	SC227	式		委-3- 233
排水機場設計（機場上屋設計及び外構設計）	SC228	式		委-3- 234
排水機場設計（ポンプ機電設備計画）	SC229	式		委-3- 235
排水機場設計（ポンプ機電設備計画）	SC222	式		委-3- 236
排水機場設計（ゲート設備計画）	SC237	式		委-3- 237
排水機場設計（施工計画）	SC233	式		委-3- 238
排水機場設計（概算工事費算出）	SC234	式		委-3- 239
排水機場設計（仮設構造物設計）	SC238	式		委-3- 240
排水機場設計（数量計算）	SC235	式		委-3- 241
排水機場設計（照査・報告書作成）	SC236	式		委-3- 242
＝＝　14－３　護岸設計				
河川護岸詳細設計　設計計画	SF121	式		委-3- 243
河川護岸詳細設計　現地踏査	SF123	式		委-3- 245
河川護岸詳細設計　基本事項の決定	SF124	式		委-3- 247
河川護岸詳細設計　景観検討	SF133	式		委-3- 249
河川護岸詳細設計　本体設計	SF125	式		委-3- 251
河川護岸詳細設計　付帯施設設計	SF126	式		委-3- 253

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
河川護岸詳細設計　施工計画	SF127	式		委-3- 255
河川護岸詳細設計　仮設計画	SF132	式		委-3- 257
河川護岸詳細設計　図面作成	SF128	式		委-3- 259
河川護岸詳細設計　パース作成	SF134	式		委-3- 261
河川護岸詳細設計　数量計算	SF129	式		委-3- 263
河川護岸詳細設計　照査	SF130	式		委-3- 265
河川護岸詳細設計　報告書作成	SF131	式		委-3- 267
＝＝　第２章 第15節 砂防構造物設計				
砂防堰堤予備設計	SC282	業務		委-3- 269
砂防堰堤詳細設計	SC283	業務		委-3- 271
渓流保全工　詳細設計	SC288	業務		委-3- 273
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝				
＝＝　標準歩掛外設計委託設計				
標準歩掛外設計委託施工単価１	SC901	式		委-3- 275
標準歩掛外設計委託施工単価２	SC902	式		委-3- 282
＝＝　土木工事標準積算基準書（機械編）　＝＝				
＝＝　機械設備設計業務委託				
水門設備予備設計	SC280	式		委-3- 289
ポンプ設備予備設計	SC281	式		委-3- 291
消融雪設備設計	SC495	式		委-3- 293
＝＝　国土交通省港湾請負工事積算基準　＝＝＝				
＝＝　数値波動水槽（CADMAS-SURF）（2次元）				
計画準備	SH381	式		委-3- 294
協議・報告	SH382	回		委-3- 295
資料収集・整理	SH383	ケース		委-3- 296
モデルの設定	SH384	式 or 形状		委-3- 297
作用波の検定	SH385	ケース		委-3- 298
構造物・計測点の設定	SH386	断面 or 式		委-3- 299
数値解析の実施	SH387	ｹｰｽor項目		委-3- 300
照査	SH388	式		委-3- 301

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
成果物	SH389	式		委-3- 302

施工単価コード　SC100

施工単価名称	打合せ（設計）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～D

出力名称	打合せ（設計）
規格名称１	（設計種別）
規格名称２	
適用条件	

１．業務着手時打合せ、中間打合せ、成果物納入時打合せを組合せた複合施工単価である。
２．各打合せ毎に計上する場合は、（SC500）を使用する。
３．打合せ回数は、設計図書に明示すること。
４．打合せ議事録の作成時間及び移動時間（片道所要時間1時間程度以内）を含むものとする。
５．電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
６．中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数（5回を標準）を計上する。打合せ回数を変更する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。
なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。

条件名	A	条件名称	設計種別

01	歩道詳細設計
02	橋梁予備設計
03	橋梁詳細設計
04	横断歩道橋詳細設計
05	地下横断歩道設計
06	トンネル設計
07	電線共同溝（Ｃ・Ｃ・Ｂｏｘ）予備設計
08	電線共同溝（Ｃ・Ｃ・Ｂｏｘ）詳細設計
09	河川構造物樋門設計
10	河川排水機場予備設計
11	河川排水機場詳細設計
12	護岸設計
13	砂防堰堤予備設計
14	砂防堰堤詳細設計
15	流木対策工

施工単価コード　SC100

条件名	A	条件名称	設計種別
16	流木対策工施設設計		
17	流木対策工予備設計		
18	流木対策工詳細設計		
19	渓流保全工詳細設計		
20	道路設計		
21	交差点設計		
22	道路休憩施設設計		
23	一般構造物設計		
24	その他		

条件名	B	条件名称	中間打合せの有無
01	中間打合せ　有り		
02	中間打合せ　無し		

条件名	C	条件名称	中間打合せ回数（省略時は標準回数）
実数	条件省略値:0		

A=24の時、打ち合せ回数は省略不可

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC500

施工単価名称	**打合せ（設計）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A～C

出力名称	打合せ（設計）
規格名称１	（設計種別）
規格名称２	
適用条件	

１．各打合せ毎に計上する場合に使用する。
２．打合せ回数は、設計図書に明示すること。
３．打合せ議事録の作成時間及び移動時間（片道所要時間1時間程度以内）を含むものとする。
４．電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
５．中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数（5回を標準）を計上する。打合せ回数を変更する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。
なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。

条件名	A	条件名称	設計協議区分
01	業務着手時打合せ		
02	中間打合せ		
03	成果物納入時打合せ		

条件名	B	条件名称	設計種別
01	歩道詳細設計		
02	橋梁予備設計		
03	橋梁詳細設計		
04	横断歩道橋詳細設計		
05	地下横断歩道設計		
06	トンネル設計		
07	電線共同溝（Ｃ・Ｃ・Ｂｏｘ）予備設計		
08	電線共同溝（Ｃ・Ｃ・Ｂｏｘ）詳細設計		
09	河川構造物樋門設計		
10	河川排水機場予備設計		
11	河川排水機場詳細設計		

施工単価コード SC500

条件名	B	条件名称	設計種別

12	護岸設計
13	砂防堰堤予備設計
14	砂防堰堤詳細設計
15	流木対策工
16	流木対策工施設設計
17	流木対策工予備設計
18	流木対策工詳細設計
19	渓流保全工詳細設計
20	道路設計
21	交差点設計
22	道路休憩施設設計
23	一般構造物設計
24	その他

条件名	C	条件名称	基準歩掛の補正

実数	条件省略値:0

施工単価コード　SC011

施工単価名称	関係機関打合せ協議（設計）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	関係機関打合せ協議（設計）
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	

１．打合せ議事録の作成時間及び移動時間（片道所要時間1時間程度以内）を含むものとする。
２．電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
３．関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とし、関係機関打合せ協議の回数を増減する場合は、1回当たり、関係機関打合せ協議1回の人員を増減する。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC012

施工単価名称	合同現地踏査（設計）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	合同現地踏査（設計）
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC013

施工単価名称	照査技術者による報告（設計）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	照査技術者による報告（設計）
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC014

施工単価名称	条件明示チェックシートの作成（設計）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	条件明示チェックシートの作成（設計）
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．予備設計時に作成する際に適用する。	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC015

施工単価名称	**公開成果品作成**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	公開成果品作成
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．本歩掛は、設計成果品を公開用資料とするためにマスキング作業等 が必要な場合に適用する。	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SA021

施工単価名称	往復旅行時間にかかる直接人件費						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～Y

出力名称	往復旅行時間にかかる直接人件費
規格名称１	（業務区分）
規格名称２	
適用条件	
１．往復旅行時間にかかる直接人件費が必要な場合に適用する。	

条件名	A	条件名称	業務区分
01	測量		
02	設計		
03	地質調査		

条件名	B	条件名称	移動日数（測量上級主任技師）
実数	条件省略値:0		

B条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	移動日数（測量主任技師）
実数	条件省略値:0		

C条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	移動日数（測量技師）
実数	条件省略値:0		

D条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	移動日数（測量技師補）
実数	条件省略値:0		

E条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	F	条件名称	移動日数（測量助手）
実数	条件省略値:0		

F条件は、A=1のとき入力可能。

施工単価コード SA021

条件名	G	条件名称	移動日数（測量補助員）
実数	条件省略値:0		

G条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	H	条件名称	移動日数（操縦士）
実数	条件省略値:0		

H条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	I	条件名称	移動日数（整備士）
実数	条件省略値:0		

I条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	J	条件名称	移動日数（撮影士）
実数	条件省略値:0		

J条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	K	条件名称	移動日数（測量船操縦士）
実数	条件省略値:0		

K条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	L	条件名称	移動日数（撮影助手）
実数	条件省略値:0		

L条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	M	条件名称	移動日数（主任技術者）
実数	条件省略値:0		

M条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	N	条件名称	移動日数（理事、技師長）
実数	条件省略値:0		

N条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	O	条件名称	移動日数（主任技師）
実数	条件省略値:0		

O条件は、A=2のとき入力可能。

施工単価コード SA021

条件名	P	条件名称	移動日数（技師Ａ）
実数	条件省略値:0		

P条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	Q	条件名称	移動日数（技師Ｂ）
実数	条件省略値:0		

Q条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	R	条件名称	移動日数（技師Ｃ）
実数	条件省略値:0		

R条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	S	条件名称	移動日数（技術員）
実数	条件省略値:0		

S条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	T	条件名称	移動日数（地質調査技師）
実数	条件省略値:0		

T条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	U	条件名称	移動日数（主任地質調査員）
実数	条件省略値:0		

U条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	V	条件名称	移動日数（地質調査員）
実数	条件省略値:0		

V条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	W	条件名称	移動日数（試験助手）
実数	条件省略値:0		

W条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	X	条件名称	測量上級主任技師単価（円／人）
実数			

X条件は、B>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SA021

条件名	Y	条件名称	試験助手単価（円／人）
実数			

Y条件は、W>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード　SC101

施工単価名称	**道路概略設計 （Ａ）**						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	km	条件	A～D

出力名称	道路概略設計（A）
規格名称１	地形図 1／5000程度
規格名称２	
適用条件	
道路概略設計(A)は、地形図（1／5000)、地質資料、現地踏査結果、文献及び設計条件等に基づき、可能と思われる各線形を選定し、各線形について図上で100mピッチの縦横断の検討及び土量計算、主要構造物の数量、概算工事費を積算し、比較案および最適案を提案する業務とする。	

条件名	A	条件名称	地形による割増し
01	平地		
02	丘陵地		
03	市街地		
04	山地		
05	急峻山地		

条件名	B	条件名称	暫定計画の有無
＊ 01	暫定計画行わない		
02	暫定計画行う		

暫定計画を行う場合は、歩掛を割増する。

条件名	C	条件名称	成果品分割
＊ 01	無し		
02	あり		

成果品を分割する場合、割増を行う。

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

施工単価コード　SC102

施工単価名称	**道路概略設計 （Ｂ）**						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	km	条件	A～D

出力名称	道路概略設計（B）
規格名称１	地形図 1／2500程度
規格名称２	
適用条件	
道路概略設計(B)は、地形図（1／2,500)、地質資料、現地踏査結果、文献及び設計条件等に基づき、可能と思われる各線形を選定し、各線形について図上で50mピッチの縦横断の検討及び土量計算、主要構造物の数量、概算工事費を積算し、比較案および最適案を提案する業務とする。	

条件名	A	条件名称	地形による割増し
01	平地		
02	丘陵地		
03	市街地		
04	山地		
05	急峻山地		

条件名	B	条件名称	暫定計画の有無
＊ 01	暫定計画行わない		
02	暫定計画行う		

暫定計画を行う場合は、歩掛を割増する。

条件名	C	条件名称	成果品分割
＊ 01	無し		
02	あり		

成果品を分割する場合、割増を行う。

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

施工単価コード　SC104

施工単価名称	**道路予備設計（Ａ）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～L

出力名称	道路予備設計（A）
規格名称１	空中写真図による場合
規格名称２	（車線による割増し）
適用条件	
概略設計によって決定された路線について、平面線形、縦横断線形の比較案を策定し、施工性、経済性、維持管理、走行性、安全性及び環境等の総合的な検討と橋梁、トンネル等の主要構造物の位置、概略形式、基本寸法を計画し、技術的、経済的判定によりルートの中心線を決定する業務とする。	

条件名	A	条件名称	地形による割増し
01	平地		
02	丘陵地		
03	市街地		
04	山地		
05	急峻山地		

条件名	B	条件名称	車線による割増し
01	1～2車線		
02	3～4車線		
03	5～6車線		
04	7～8車線		

条件名	C	条件名称	複断面の有無
01	複断面無し		
02	複断面有り		

複断面の場合は、歩掛を割増す。

施工単価コード SC104

条件名	D	条件名称	暫定計画の有無
＊ 01	暫定計画行わない		
02	暫定計画行う		

暫定計画を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	E	条件名称	歩道設計の有無
＊ 01	歩道設計無し		
02	歩道設計有り		

歩道等（W＝4m未満の側道を含む）設計を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	F	条件名称	軟弱地盤関連処理の有無
＊ 01	軟弱地盤関連処理無し		
02	軟弱地盤関連処理有り		

軟弱地盤関連処理を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	G	条件名称	道路関連施設設計の有無
＊ 01	道路関連施設設計無し		
02	道路関連施設設計有り		

道路環境関連施設（緑地、遮音設備等）を設計（力学計算を必要としない）する場合は歩掛を割増す。

条件名	H	条件名称	成果物分割の有無
＊ 01	成果物分割無し		
02	成果物分割有り		

工区ごとに図面、数量計算書、報告書等の成果物を分割する場合は、標準歩掛を10%割増すものとする。

条件名	I	条件名称	特殊法面設計の有無
＊ 01	特殊法面設計無し		
02	特殊法面設計有り		

特殊法面設計を含む場合は、歩掛を割増す。

条件名	J	条件名称	単独区間あたりの設計延長区分
01	1km未満		
02	1km以上		

施工単価コード SC104

条件名	K	条件名称	単独区間あたりの設計延長km(1km未満の場合
実数			

K条件は、J=1のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	L	条件名称	構成項目の選択（01～08）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

施工単価コード　SC103

施工単価名称	**道路予備修正設計（Ａ）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～J

出力名称	道路予備修正設計（A）
規格名称１	（地形による割増し）
規格名称２	（車線による割増し）
適用条件	
道路予備設計(A)の成果に基づき、道路予備設計(A)と同一水準の業務内容を行う業務とする。	

条件名	A	条件名称	地形による割増し
01	平地		
02	丘陵地		
03	市街地		
04	山地		
05	急峻山地		

条件名	B	条件名称	車線による割増し
01	1～2車線		
02	3～4車線		
03	5～6車線		
04	7～8車線		

条件名	C	条件名称	複断面の有無
01	複断面無し		
02	複断面有り		

複断面の場合は、歩掛を割増す。

条件名	D	条件名称	暫定計画の有無
＊ 01	暫定計画行わない		
02	暫定計画行う		

暫定計画を行う場合は、歩掛を割増す。

施工単価コード SC103

条件名	E	条件名称	歩道設計の有無
＊ 01	歩道設計無し		
02	歩道設計有り		

歩道等（W＝4m未満の側道を含む）設計を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	F	条件名称	軟弱地盤関連処理の有無
＊ 01	軟弱地盤関連処理無し		
02	軟弱地盤関連処理有り		

軟弱地盤関連処理がある場合は、歩掛を割増す。

条件名	G	条件名称	道路関連施設設計の有無
＊ 01	道路関連施設設計無し		
02	道路関連施設設計有り		

道路環境関連施設（緑地、遮音設備等）を設計（力学計算を必要としない）する場合は歩掛を割増す。

条件名	H	条件名称	成果物分割の有無
＊ 01	成果物分割無し		
02	成果物分割有り		

工区ごとに図面、数量計算書、報告書等の成果物を分割する場合は、標準歩掛を10%割増すものとする。

条件名	I	条件名称	特殊法面設計の有無
＊ 01	特殊法面設計無し		
02	特殊法面設計有り		

特殊法面設計を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	J	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

施工単価コード　SC105

施工単価名称	**道路予備設計（Ｂ）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～M

出力名称	道路予備設計（B）
規格名称１	実測図による場合
規格名称２	（車線による割増し）
適用条件	
道路予備設計(A)、或いは同修正設計より決定された中心線に基づいて行われた実測路線測量による実測図を用いて図上での用地幅杭位置を決定する業務とする。	

条件名	A	条件名称	地形による割増し
01	平地		
02	丘陵地		
03	市街地		
04	山地		
05	急峻山地		

条件名	B	条件名称	車線による割増し
01	1～2車線		
02	3～4車線		
03	5～6車線		
04	7～8車線		

条件名	C	条件名称	複断面の有無
01	複断面無し		
02	複断面有り		

複断面の場合は、歩掛を割増す。

条件名	D	条件名称	暫定計画の有無
＊ 01	暫定計画行わない		
02	暫定計画行う		

暫定計画を行う場合は、歩掛を割増す。

施工単価コード SC105

条件名	E	条件名称	歩道設計の有無
＊ 01	歩道設計無し		
02	歩道設計有り		

歩道等（W＝4m未満の側道を含む）設計を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	F	条件名称	軟弱地盤関連処理の有無
＊ 01	軟弱地盤関連処理無し		
02	軟弱地盤関連処理有り		

軟弱地盤関連処理を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	G	条件名称	道路関連施設設計の有無
＊ 01	道路関連施設設計無し		
02	道路関連施設設計有り		

道路環境関連施設（緑地、遮音設備等）を設計（力学計算を必要としない）する場合は歩掛を割増す。

条件名	H	条件名称	成果物分割の有無
＊ 01	成果物分割無し		
02	成果物分割有り		

工区ごとに図面、数量計算書、報告書等の成果物を分割する場合は、標準歩掛を10%割増すものとする。

条件名	I	条件名称	特殊法面設計の有無
01	特殊法面設計無し		
02	特殊法面設計有り		

特殊法面設計を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	J	条件名称	単独区間あたりの設計延長区分
01	1km未満		
02	1km以上		

条件名	K	条件名称	単独区間あたりの設計延長km(1km未満の場合
実数			

K条件は、J=1のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SC105

条件名	L	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

条件名	M	条件名称	構成項目の選択（08～13）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

施工単価コード　SC108

施工単価名称	**道路予備修正設計（Ｂ）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～K

出力名称	道路予備修正設計（Ｂ）
規格名称１	（地形による割増し）
規格名称２	（車線による割増し）
適用条件	
道路予備設計(Ｂ)の成果に基づき道路予備設計(Ｂ)と同一水準の業務内容を行う業務とする。	

条件名	A	条件名称	地形による割増し
01	平地		
02	丘陵地		
03	市街地		
04	山地		
05	急峻山地		

条件名	B	条件名称	車線による割増し
01	1～2車線		
02	3～4車線		
03	5～6車線		
04	7～8車線		

条件名	C	条件名称	複断面の有無
01	複断面無し		
02	複断面有り		

複断面の場合は、歩掛を割り増す。

条件名	D	条件名称	暫定計画の有無
＊ 01	暫定計画行わない		
02	暫定計画行う		

暫定計画を行う場合は、歩掛を割り増す。

施工単価コード SC108

条件名	E	条件名称	歩道設計の有無
＊ 01	歩道設計無し		
02	歩道設計有り		

歩道等（W＝4m未満の側道を含む）設計を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	F	条件名称	地盤改良等の処理の有無
＊ 01	地盤改良等の処理無し		
02	地盤改良等の処理有り		

軟弱地盤関連処理を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	G	条件名称	道路関連施設設計の有無
＊ 01	道路関連施設設計無し		
02	道路関連施設設計有り		

道路環境関連施設（緑地、遮音設備等）を設計（力学計算を必要としない）する場合は歩掛を割増す。

条件名	H	条件名称	成果物分割の有無
＊ 01	成果物分割無し		
02	成果物分割有り		

工区ごとに図面、数量計算書、報告書等の成果物を分割する場合は、標準歩掛を10%割増すものとする。

条件名	I	条件名称	特殊法面の設計の有無
＊ 01	特殊法面の設計無し		
02	特殊法面の設計有り		

特殊法面設計を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	J	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

条件名	K	条件名称	構成項目の選択（08～10）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

施工単価コード　SC106

施工単価名称	**道路詳細設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～P

出力名称	道路詳細設計
規格名称１	（地形による割増し）
規格名称２	（車線による割増し）
適用条件	
道路詳細設計は、与えられた平面図（縮尺1／1,000線形入り）、縦横断図ならびに予備設計成果にもとづいて、道路工事に必要な縦横断の設計及び小構造物（設計計算を必要としないもの）の設計を行い、各工種別数量計算を行う。	

条件名	A	条件名称	予備設計資料の有無
01	予備設計資料なし		
02	予備設計資料あり		

条件名	B	条件名称	地形による割増し
01	平地		
02	丘陵地		
03	山地		
04	市街地		
05	急峻山地		

条件名	C	条件名称	車線による割増し
01	1～2車線		
02	3～4車線		
03	5車線		
04	6～7車線		
05	8車線		

施工単価コード SC106

条件名	D	条件名称	複断面の有無
01	複断面無し		
02	複断面有り		

複断面の場合は、歩掛を割増す。

条件名	E	条件名称	暫定計画の有無
＊ 01	暫定計画行わない		
02	暫定計画行う		

暫定計画を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	F	条件名称	歩道設計の有無
＊ 01	歩道設計無し		
02	歩道設計有り		

歩道（W＝4m未満の側道を含む）等の設計を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	G	条件名称	取付道路・付替水路・横断管渠
＊ 01	設計行わない		
02	設計行う		

取付道路（W≦3mまたはＬ≦30m／箇所）、付替水路（W≦2mまたはＬ≦100m／箇所）、横断管渠等のいずれも設計をしない場合は、歩掛を減ずる。

条件名	H	条件名称	道路関連施設設計の有無
＊ 01	道路関連施設設計無し		
02	道路関連施設設計有り		

道路環境関連施設（緑地、遮音設備等）を設計（力学計算を必要としない）する場合は歩掛を割増す。

条件名	I	条件名称	成果品分割の有無
＊ 01	成果品分割無し		
02	成果品分割有り		

工区ごとに図面、数量計算書、報告書等の成果品の分割を行う場合は、標準歩掛を割増す。

条件名	J	条件名称	軟弱地盤関連処理の有無
＊ 01	軟弱地盤関連処理無し		
02	軟弱地盤関連処理有り		

軟弱地盤上に道路を築造する場合に路床入替、在来地盤改良等の処理に対する設計を

施工単価コード SC106

含めて発注する場合は、歩掛を割増す。

条件名	K	条件名称	車線変更設計の有無
＊ 01	車線変更設計無し		
02	車線変更設計有り		

現道拡幅等の工事で施工途中の車線変更等に対する設計を含めて発注する場合は、歩掛を割増す。

条件名	L	条件名称	特殊法面設計の有無
01	特殊法面設計無し		
02	特殊法面設計あり		

特殊法面設計を行う場合は、歩掛を割増す。

条件名	M	条件名称	単独区間あたりの設計延長区分
01	1km未満		
02	1km以上		

条件名	N	条件名称	単独区間あたりの設計延長km(1km未満の場合
実数			

M=1のとき、N条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	O	条件名称	構成項目の選択（01～10）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

条件名	P	条件名称	構成項目の選択（11～13）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。
P条件は、A=2のとき入力可能。

施工単価コード SC109

施工単価名称	平面交差点予備設計							
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～C	

出力名称	平面交差点予備設計
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	本線設計と同時発注
01	同時発注		
02	同時発注しない		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（08～11）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．本歩掛を適用する場合、本線予備設計より交差点の範囲は控除しない。
２．交差する道路が2車線以上（3枝以上）の場合に適用する。
３．新設及び改良交差点を対象とし、各々の右折車線長（本線シフト含む）が200m以下を標準とする。
４．平面図は、縮尺1／500を標準とする。
５．打合せ、設計計画及び現地踏査については、本線設計と合わせて発注する場合には本線に含まれるものとして計上しない。
６．地形、地物及び車線数による補正は行わない。
７．設計計算が必要な一般構造物等の設計は別途計上する。
８．座標計算、環境対策に関する設計及びパース作成は含まない。
９．交差点容量・路面表示は方向別計画交通量の解析を含まない。

施工単価コード SC112

施工単価名称	平面交差点詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～D

出力名称	平面交差点詳細設計
規格名称１	（設計条件）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	設計条件
01	予備設計あり		
02	予備設計なし		

条件名	B	条件名称	本線設計と同時発注
01	同時発注		
02	同時発注しない		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（08～12）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．本歩掛を適用する場合、本線詳細設計より交差点の範囲は控除しない。
２．交差する道路が2車線以上（3枝以上）の場合に適用する。
３．新設及び改良交差点を対象とし、各々の右折車線長（本線シフト含む）が200m以下を標準とする。
４．平面図は、縮尺1／500を標準とする。
５．打合せ、設計計画及び現地踏査については、本線設計と合わせて発注する場合には本線に含まれるものとし計上しない。
６．地形、地物及び車線数による補正は行わない。
７．設計計算が必要な一般構造物等の設計は別途計上する。
８．座標計算、環境対策に関する設計及びパース作成は含まない。
９．交差点容量・路面表示は方向別計画交通量の解析を含まない。

施工単価コード　SC110

施工単価名称	ダイヤモンド型ＩＣ予備設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～D

出力名称	ダイヤモンド型ＩＣ予備設計
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	ランプの型式
01	フルランプ型		
02	ハーフランプ型		

条件名	B	条件名称	本線設計と同時発注
01	同時発注		
02	同時発注しない		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（08～11）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．本歩掛を適用する場合、本線予備設計延長からインターチェンジの範囲は控除しない。
２．フルランプ型及びランプ総延長が2km以下を標準とする。
３．平面図は、縮尺1/1000を標準とする。
４．打合せ、設計計画及び現地踏査については、本線設計と合わせて発注する場合には本線に含まれるものとし計上しない。
５．地形、地物及び車線数による補正は行わない。
６．設計計算が必要な一般構造物等及び高架構造となる場合の跨道橋等については別途計上する。
７．座標計算、環境対策に関する設計及びパース作成は含まない。
８．交差点容量・路面表示は方向別計画交通量の解析を含まない。
９．ハーフランプ型は補正の対象とする。
10．打合せは必要に応じて計上するものとし、次表を標準とする。

施工単価コード　SC111

施工単価名称	ダイヤモンド型ＩＣ詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～D

出力名称	ダイヤモンド型ＩＣ詳細設計
規格名称１	予備設計あり
規格名称２	

条件名	A	条件名称	ランプ形式
01	フルランプ型		
02	ハーフランプ型		

条件名	B	条件名称	本線設計と同時発注
01	同時発注		
02	同時発注しない		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（08～11）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．本歩掛を適用する場合、本線詳細設計延長からインターチェンジの範囲は控除しない。
２．フルランプ型及びランプ総延長が2km以下を標準とする。
３．平面図は、縮尺1/500を標準とする。
４．打合せ、設計計画及び現地踏査については、本線設計と合わせて発注する場合には本線に含まれるものとし計上しない。
５．地形、地物及び車線数による補正は行わない。
６．設計計算が必要な一般構造物等及び高架構造となる場合の跨道橋等については別途計上する。
７．座標計算、環境対策に関する設計及びパース作成は含まない。
８．交差点容量・路面表示は方向別計画交通量の解析を含まない。
９．ハーフランプ型は補正の対象とする。
10．打合せは必要に応じて計上するものとし、次表を標準とする。

施工単価コード SC135

施工単価名称	サービスエリア設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～C

出力名称	サービスエリア設計
規格名称１	予備設計・詳細設計
規格名称２	
適用条件	
高規格幹線道路に設置するサービスエリア又は、これに準ずる休憩施設 予備設計、詳細設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計区分
01	予備設計		
02	詳細設計　予備設計有り		
03	詳細設計　予備設計無し		

条件名	B	条件名称	地形による割増
01	平地		
02	丘陵地		
03	山地		
04	急峻山地		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．設計対象区間は、上り線、下り線を別途計上するものとし、対象区間は、ランプ及び通り抜け車道のノーズ間距離とする。
２．環境対策に関する設計、鳥かん図及びパース図作成、座標計算、交通解析、照明設備、上下水施設、上屋の設計は含まない。
３．インターチェンジとサービスエリアの併設は、本歩掛を適用する。
４．打合せについては、本線設計と合わせて発注する場合には本線設計に含まれるものとし、設計計画及び現地踏査については、各々計上する。
５．設計計算が必要な擁壁類、高架構造となる場合の跨道橋等については、別途計上するものとする。ただし、小構造物設計は、含まれる。

施工単価コード SC136

施工単価名称	パーキングエリア設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～C

出力名称	パーキングエリア設計
規格名称１	予備設計・詳細設計
規格名称２	
適用条件	
高規格幹線道路に設置するパーキングエリア又は、これに準ずる休憩施設 予備設計、詳細設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計区分
01	予備設計		
02	詳細設計　予備設計有り		
03	詳細設計　予備設計無し		

条件名	B	条件名称	地形による割増
01	平地		
02	丘陵地		
03	山地		
04	急峻山地		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．設計対象区間は、上り線、下り線を別途計上するものとし、対象区間は、ランプ及び通り抜け車道のノーズ間距離とする。
２．環境対策に関する設計、鳥かん図及びパース図作成、座標計算、交通解析、照明設備、上下水施設、上屋の設計は含まない。
３．インターチェンジとパーキングエリアの併設は、本歩掛を適用する。
４．打合せについては、本線設計と合わせて発注する場合には本線設計に含まれるものとし、設計計画及び現地踏査については、各々計上する。
５．設計計算が必要な擁壁類、高架構造となる場合の跨道橋等については、別途計上するものとする。ただし、小構造物設計は、含まれる。

施工単価コード　SC107

施工単価名称	**歩道詳細設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～B

出力名称	歩道詳細設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
本歩掛は、現道の路側に歩道を新設もしくは改築する場合の歩道詳細設計に適用する。なお、適用範囲は、3kmまでとする。	

条件名	A	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（08～11）
実数	条件省略値:0		

省略すれば標準とする。

１．直接人件費は標準歩掛に設計延長を乗じて積算する。
２．標準歩掛は片道片側分の歩掛であり、設計が両側に及ぶ場合は、両側の延べ設計延長を計上する。
３．標準歩掛には、現地での平面・縦断・横断及び詳細測量は含まない。
４．小構造物以外の張り出し歩道、床版橋、函渠等の構造物に関する設計は別途計上する。その場合張り出し歩道、橋梁等の延長は設計延長から控除する。
５．標準歩掛は、歩道舗装の標準図及び数量計算を含んでいる。

施工単価コード　SC113

施工単価名称	**取付構造物詳細設計**						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m	条件	A

出力名称	取付構造物詳細設計
規格名称１	取付道路、大型用排水路
規格名称２	
適用条件	
取付道路及び大型用排水路における平面図・横断図・縦断図及び、小構造物の図面作成及び数量計算（設計計算を含まず）に適用する。	

条件名	A	条件名称	工種区分
01	大型用排水路		
02	取付道路		

取付道路：W＝3m以下 または Ｌ＝ 30m以下は、道路詳細設計に含まれる。
付替水路：W＝2m以下 または Ｌ＝100m以下は、道路詳細設計に含まれる。

1箇所の延長が320mを超える場合は、別途計上するものとする。

施工単価コード　SC115

施工単価名称	**座標計算**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	

出力名称	座標計算
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
道路設計及び交差点設計時の中心線座標計算に用いるものとし、計算計画・試算及び検算・線形図作成・計算報告書の一連作業に適用する。	

１．本線設計及びインターチェンジ等の座標計算を対象とする。
２．線形計画は行ってあるものを対象とする。
３．電子計算機の費用は道路設計に含まれる。

施工単価コード　SC119

施工単価名称	箱型函渠等　形式比較検討						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	箱型函渠等　形式比較検討
規格名称１	門型ラーメン・箱型函渠
規格名称２	
適用条件	
１．門型ラーメン、箱型函渠、橋梁等を比較形式として比較検討を行う場合に適用する。 ２．1箇所当りの施工である。 ３．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	設計作成条件
01	標準		
02	既存資料　有		

標準設計及び既存の資料等によって、断面形状等比較検討に必要な諸要素が決定できる場合は、B=2「既存資料　有」を選択する。

注）比較断面の形状寸法を決定した資料及び形状寸法が分る図面(断面図等)作成を含む。

条件名	C	条件名称	基礎工検討の有無
01	基礎工検討　無		
02	基礎工検討　有		

基礎工検討を行わない場合、基礎工検討は計上しない。

条件名	D	条件名称	協議資料の有無
01	協議資料　無		
02	協議資料　有		

協議資料を作成しない場合、協議資料を計上しない。

施工単価コード SC119

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば、構成項目を全て明示する。

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（08～11、13）
実数	条件省略値:0		

省略すれば、構成項目を全て明示する。

比較検討を行う比較形式は、3案を標準とする。

施工単価コード　SC120

施工単価名称	門型ラーメン詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～G

出力名称	門型ラーメン詳細設計
規格名称１	B，C条件明示
規格名称２	
適用条件	
１．1箇所当りの施工である。 ２．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	断面形状（割増率）
01	1連1層（±0%）		
02	1連2層（＋60%）		
03	2連1層（＋60%）		
04	3連1層（＋120%）		

本歩掛は1連1層の場合であり断面形状が多連多層の場合は断面形状による増減率により割増したものを1箇所当り歩掛とする。

条件名	C	条件名称	設計作成条件
01	形式比較　有・概略計算　有		
02	形式比較　有・概略計算　無		
03	形式比較検討　無		
04	設計計算必要なし		

C=1：形式比較検討を行なった上で、詳細設計を行う場合で、概略設計計算が済んでいる場合
C=2：　〃　、　〃　、概略設計計算を行っていない場合
C=3：　〃　を行っていない場合
C=4：同一断面で施工場所が異なる場合（類似構造物）で設計計算を行わず設計を行う場合

施工単価コード SC120

条件名	D	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角　φ90度		
02	斜角　φ90度未満70度以上		
03	斜角　φ70度未満		

斜角とは、構造物中心線に対する端部及び継手部の角度をいう。

条件名	E	条件名称	ウイング設計条件
＊ 01	ウイング設計　無		
02	ウイング片側　有		
03	ウイング両側　有		

ウイングの設計における片側の場合とは、例えば水路の場合の呑口側または吐口側の一方（呑口・吐口側が同形状寸法の場合を含む）を設ける場合をいい、また、両側の場合とは、呑口・吐口側の両方に形状の異なるものを設ける場合をいう。

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

基礎工及び仮設設計を行う場合は別途計上する。

施工単価コード　SC121

施工単価名称	箱型函渠詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～H

出力名称	箱型函渠詳細設計
規格名称１	断面形状（断面形状）
規格名称２	
適用条件	
１．1箇所当りの施工である。 ２．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	断面形状
01	1連1層		
02	1連2層		
03	2連1層		
04	3連1層		

本歩掛は1連1層の場合であり断面形状が多連多層の場合は断面形状による増減率により割増したものを1箇所当り歩掛とする。

条件名	C	条件名称	設計作成条件
01	形式比較　有・概略計算　有		
02	形式比較　有・概略計算　無		
03	形式比較検討　無		
04	設計計算必要なし		

C=1：形式比較検討を行なった上で、詳細設計を行う場合で、概略設計計算が済んでいる場合
C=2：　〃　、　〃　、概略設計計算を行っていない場合
C=3：　〃　を行っていない場合
C=4：同一断面で施工場所が異なる場合（類似構造物）で設計計算を行わず設計を行う場合

施工単価コード SC121

条件名	D	条件名称	標準設計使用の有無
＊ 01	標準設計を使用しない		
02	標準設計を使用する		

くい基礎となる場合は、標準設計を使用できない。

条件名	E	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角　φ90度		
02	斜角　φ90度未満70度以上		
03	斜角　φ70度未満		

斜角とは、構造物中心線に対する端部及び継手部の角度をいう。

条件名	F	条件名称	ウイング設計条件
＊ 01	ウイング設計　無		
02	ウイング片側　有		
03	ウイング両側　有		

ウイングの設計における片側の場合とは、例えば水路の場合の呑口側または吐口側の一方（呑口・吐口側が同形状寸法の場合を含む）を設ける場合をいい、また、両側の場合とは、呑口・吐口側の両方に形状の異なるものを設ける場合をいう。

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

基礎工及び仮設設計を行う場合は別途計上する。

施工単価コード　SC122

施工単価名称	擁壁・補強土　形式比較検討						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	擁壁・補強土　形式比較検討
規格名称１	B条件明示
規格名称２	
適用条件	
１．擁壁類等の内から3案を比較工種として比較検討を行う場合に適用する。 ２．1箇所当りの施工である。 ３．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	設計作成条件
01	標準		
02	既存資料　有		

概略設計計算、概略設計図の作成を行わずに比較検討を行う場合の増減率を－20%とする。

注）比較断面の形状寸法を決定した資料及び形状寸法が分かる図面(断面図等)作成を含む。

条件名	C	条件名称	基礎工検討の有無
01	基礎工検討　無		
02	基礎工検討　有		

基礎工検討を行わない場合、基礎工検討は計上しない。

条件名	D	条件名称	協議資料の有無
01	協議資料　無		
02	協議資料　有		

協議資料の作成を行わない場合は、協議資料を計上しない。

施工単価コード SC122

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば、構成項目を全て明示する。

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（08～11、13）
実数	条件省略値:0		

省略すれば、構成項目を全て明示する。

１．検討を行う比較工種は、3案を標準とする。

施工単価コード　SC123

施工単価名称	**逆Ｔ式擁壁詳細設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	逆Ｔ式擁壁詳細設計
規格名称１	B，C，D条件明示
規格名称２	
適用条件	
１．1箇所当りの施工である。 ２．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
	01	現地踏査　無	
	02	現地踏査　有	

条件名	B	条件名称	設計作成条件
	01	形式比較　有・概略計算　有	
	02	形式比較　有・概略計算　無	

B=1：形式比較検討を行なった上で、詳細設計を行う場合で、概略設計計算が済んでいる場合
B=2：　〃　、　〃　、概略設計計算を行っていない場合

条件名	C	条件名称	標準設計使用の有無
	＊01	標準設計を使用しない	
	02	標準設計を使用する	

条件名	D	条件名称	設計計算・スベリ解析
	＊01	行う	
	02	行わない（類似構造物）	

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～07）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC123

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．基礎工及び仮設設計を行う場合は、別途計上する。
２．本歩掛の適用範囲は、高さ2m以上10m以下、1断面あたりの延長500m以下とする。
　　なお、構造が異なり連続しない擁壁を複数設計する場合は、各箇所で計上する。

施工単価コード SC124

施工単価名称	重力式擁壁詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	重力式擁壁詳細設計
規格名称１	B, C, D条件明示
規格名称２	
適用条件	
１．1箇所当りの施工である。 ２．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
	01	現地踏査　無	
	02	現地踏査　有	

条件名	B	条件名称	設計作成条件
	01	形式比較　有・概略計算　有	
	02	形式比較　有・概略計算　無	

B=1：形式比較検討を行なった上で、詳細設計を行う場合で、概略設計計算が済んでいる場合
B=2：〃　、〃　、概略設計計算を行っていない場合

条件名	C	条件名称	標準設計使用の有無
	＊ 01	標準設計を使用しない	
	02	標準設計を使用する	

条件名	D	条件名称	設計計算・スベリ解析
	＊ 01	行う	
	02	行わない（類似構造物）	

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～07）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC124

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．基礎工及び仮設設計を行う場合は、別途計上する。
２．本歩掛の適用範囲は、高さ2m以上10m以下、1断面あたりの延長500m以下とする。
　　なお、構造が異なり連続しない擁壁を複数設計する場合は、各箇所で計上する。

施工単価コード SC125

施工単価名称	モタレ式・井桁・大型ブロック積擁壁詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～G

出力名称	モタレ井桁大型ブロック詳細設計
規格名称１	C, D, E条件明示
規格名称２	
適用条件	
１．1箇所当りの施工である。 ２．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	実施形式
01	モタレ式		
02	井桁		
03	大型ブロック積		

条件名	B	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	C	条件名称	設計作成条件
01	形式比較　有・概略計算　有		
02	形式比較　有・概略計算　無		

C=1：形式比較検討を行なった上で、詳細設計を行う場合で、概略設計計算が済んでいる場合
C=2：　〃　、　〃　、概略設計計算を行っていない場合

条件名	D	条件名称	標準設計使用の有無
＊ 01	標準設計を使用しない		
02	標準設計を使用する		

標準設計を使用する場合の増減率はモタレ式のみに適用する。

施工単価コード SC125

条件名	E	条件名称	設計計算・スベリ解析
＊ 01	行う		
02	スベリ解析のみ行わない		
03	行わない（類似構造物）		

スベリ安定解析を行わない場合、スベリ安定解析は計上しない。

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．基礎工及び仮設設計を行う場合は別途計上する。
２．本歩掛の適用範囲は、高さ2m以上10m以下、1断面あたりの延長500m以下とする。

施工単価コード SC126

施工単価名称	テールアルメ・多数アンカー式擁壁等詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～E

出力名称	テールアルメ・アンカー詳細設計
規格名称１	（設計作成条件）
規格名称２	
適用条件	
１．1箇所当りの施工である。 ２．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	設計作成条件
01	形式比較検討　有・概略設計計算　有		
02	形式比較検討　有・概略設計計算　無		

B=1：形式比較検討を行なった上で、詳細設計を行う場合で、概略設計計算が済んでいる場合
B=2：〃　、〃　、概略設計計算を行っていない場合

条件名	C	条件名称	設計計算・スベリ解析
＊ 01	行う		
02	スベリ解析のみ行わない		
03	行わない（類似構造物）		

スベリ安定解析を行わない場合、スベリ安定解析は計上しない。

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC126

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．基礎工及び仮設設計を行う場合は、別途計上する。
２．本歩掛の適用範囲は、高さ2m以上10m以下、1断面あたりの延長500m以下とする。

施工単価コード SC138

施工単価名称	U型擁壁詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～E

出力名称	U型擁壁詳細設計
規格名称１	B，C条件明示
規格名称２	
適用条件	
１．1箇所当りの施工である。 ２．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	断面形状
01	割増し無し		
02	左右の擁壁高さが異なる		
03	張出し部がある		
04	左右の擁壁高さが異なりかつ張出し部がある		

条件名	C	条件名称	設計条件
01	予備設計を行っていない		
02	同一断面で施工場所が異なる（類似構造物）		
03	簡用法を用いて設計する		
04	上記に該当しない		

簡用法とは、U型擁壁の幅が狭い場合、片持梁として算出した壁下端のモーメントを底板の両端に加え、底板は単純梁として計算する手法である。

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC138

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．基礎工設計及び仮設設計を行う場合は、別途計上する。
２．高さ1.0m以上について適用する。

施工単価コード　SC127

施工単価名称	**法面工　予備設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	法面工　予備設計
規格名称１	（設計作成条件）
規格名称２	
適用条件	
１．場所打ち法枠、アンカー付場所打ち法枠、吹付法枠工、アンカー付吹付法枠工、コンクリート吹付、張ブロック等を比較工種として比較検討を行う場合に適用する。 ２．1箇所当りの施工である。 ３．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	設計作成条件
01	標準		
02	既存資料　有		

概略設計計算、概略設計図の作成を行わずに比較検討を行う場合の増減率を－20%とする。

注）比較断面の形状寸法を決定した資料及び形状寸法が分る図面(断面図等)作成を含む。

条件名	C	条件名称	基礎工検討の有無
01	基礎工検討　無		
02	基礎工検討　有		

基礎工検討を行わない場合、基礎工検討は計上しない。

条件名	D	条件名称	協議資料の有無
01	協議資料　無		
02	協議資料　有		

協議資料を作成しない場合、協議資料を計上しない。

施工単価コード SC127

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（08～11、13）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．検討を行う比較工種は、3案を標準とする。

施工単価コード　SC128

施工単価名称	場所打ち法枠詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	場所打ち法枠詳細設計
規格名称１	（設計作成条件）
規格名称２	
適用条件	
１．1箇所当りの施工である。 ２．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	設計作成条件
01	予備設計　済・概略設計計算　済		
02	予備設計　済・概略設計計算　未		
03	予備設計　未		

B=1：予備設計を行なった上で、詳細設計を行う場合で、概略設計計算が済んでいる場合
B=2：　〃　、　〃　、概略設計計算を行っていない場合
B=3：　〃　を行っていない場合

条件名	C	条件名称	一断面当り計画面積
01	1000m2未満		
02	1000m2以上		

断面数とは、同一法面・斜面において設計計算を行う断面数をいい、一断面当り計画面積は、下の式で算定する。

一断面当り面積＝計画面積／断面数

条件名	D	条件名称	スベリ安定解析の有無
01	スベリ安定解析　無		
02	スベリ安定解析　有		

スベリ安定解析を行わない場合、スベリ安定解析は計上しない。

施工単価コード SC128

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC129

施工単価名称	アンカー付場所打ち法枠詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	アンカー付場所打ち法枠詳細設計
規格名称１	（設計作成条件）
規格名称２	
適用条件	
１．1箇所当りの施工である。 ２．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	設計作成条件
01	予備設計　有・概略設計計算　有		
02	予備設計　有・概略設計計算　無		
03	予備設計　無		

B=1：予備設計を行なった上で、詳細設計を行う場合で、概略設計計算が済んでいる場合
B=2：　〃　、　〃　、概略設計計算を行っていない場合
B=3：予備設計を行ってない場合

条件名	C	条件名称	一断面当り計画面積
01	1000m2未満		
02	1000m2以上		

断面数とは、同一法面・斜面において設計計算を行う断面数をいい、一断面当り計画面積は、下の式で算定する。

一断面当り面積＝計画面積／断面数

条件名	D	条件名称	スベリ安定解析の有無
01	スベリ安定解析　無		
02	スベリ安定解析　有		

スベリ安定解析を行わない場合、スベリ安定解析は計上しない。

施工単価コード SC129

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC366

施工単価名称	落石防護柵　詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～H

出力名称	落石防護柵　詳細設計
規格名称１	（設計計算条件）
規格名称２	
適用条件	
１．柵高Ｈ＝1.5m～3.5mの直柱型及び曲柱型を対象とした落石防護柵詳細設計に適用する。 ２．1箇所当りの施工である。 ３．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	設計延長（m）
実数	条件省略値:0		

落石防護柵の延長は100m以下を標準とする。

条件名	B	条件名称	設計計算条件
01	設計計算を行う		
02	設計計算を行わない		

条件名	C	条件名称	同一法面内で設計を行う断面数
実数			

条件名	D	条件名称	法面の数
実数			

条件名	E	条件名称	仮設設計の有無
01	仮設設計　無		
02	仮設設計　有		

仮設設計とは、現場条件（施工スペースがない等）により足場の設置・仮設防護柵の設置等施工方法・仮設方法の検討を行う場合をいう。

施工単価コード SC366

条件名	F	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（08～09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC363

施工単価名称	雪崩予防柵、雪崩防護柵　詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	タイプ	条件	A～H

出力名称	雪崩予防柵、雪崩防護柵　詳細設計
規格名称１	（設計計算条件）
規格名称２	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	設計計算条件
01	設計計算を行う		
02	設計計算を行わない		

条件名	C	条件名称	設計面積（m2）
01	設計面積1000m2未満		
02	設計面積1000m2以上		

設計面積とは、計画地点の斜面・法面の面積をいう。
同一法面・斜面において異種の施設を複数設計する場合で、1工種当たりの面積が1000m2以上の場合は1000m2以上となる工種の標準歩掛にそれぞれ＋30%すること。
ただし、1工種当たり1000m2未満の場合については考慮しない。

条件名	D	条件名称	施設配置計画の有無
01	施設配置計画　無		
02	施設配置計画　有		

施設配置計画を行わない場合、施設配置計画は計上しない。

条件名	E	条件名称	複数タイプ設計する断面数
実数	条件省略値:0		

同一業務内で、同じ工種の構造物を設計する場合に適用する。
（例えば、同一業務内で予防柵と防護柵を設計する場合には適用しない。）

施工単価コード SC363

条件名	F	条件名称	設計計算を行わない構造物数
実数	条件省略値:0		

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（05～08、10）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．直接基礎の設計は、本歩掛に含まれている。
　なお、杭基礎とする場合は、一般構造物基礎工設計により積算するものとする。
２．仮設設計を行う場合は別途計上する。
３．施設配置計画は、効果、経済性等を考慮し、最適な施設の配置の計画を行う。
　なお、施設配置計画には、雪崩解析は含まない。
４．施設配置計画を行わない場合，施設配置計画は計上しない。
５．現地踏査は、技師Ａ 0.5＋技師Ｂ 0.5を別途計上する。（同一法面・斜面において
　異種の施設を複数設計する場合は、主となる施設の現地踏査を計上する。）
　ただし、道路設計に含めて委託する場合は計上しない。

施工単価コード　SC364

施工単価名称	**吊柵　詳細設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～G

出力名称	吊柵　詳細設計
規格名称１	雪崩予防施設
規格名称２	
適用条件	
設計面積1,000m2未満とし、設計面積1,000m2以上については、増減率による。ただし、設計面積37,000m2を超えるものについては別途計上する。	

条件名	A	条件名称	現地踏査の有無
01	現地踏査　無		
02	現地踏査　有		

条件名	B	条件名称	設計計算条件
01	設計計算を行う		
02	設計計算を行わない		

条件名	C	条件名称	設計面積（m2）
実数			

設計面積は、37,000m2まで
設計面積とは、計画地点の斜面・法面の面積をいう。
同一法面・斜面において異種の施設を複数設計する場合で、1工種当たりの面積が1000m2以上の場合は1000m2以上となる工種の標準歩掛にそれぞれ＋30%すること。
ただし、1工種当たり1000m2未満の場合については考慮しない。

条件名	D	条件名称	施設配置計画の有無
01	施設配置計画　無		
02	施設配置計画　有		

施設配置計画を行わない場合、施設配置計画は計上しない。

条件名	E	条件名称	複数タイプ設計する断面数
実数	条件省略値:0		

同一業務内で、同じ工種の構造物を設計する場合に適用する。
（例えば、同一業務内で予防柵と防護柵を設計する場合には適用しない。）

施工単価コード SC364

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～02）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（03～08，10）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

１．直接基礎の設計は、本歩掛に含まれている。
２．仮設設計を行う場合は、別途計上する。
３．施設配置計画には、雪崩解析は含まない。
４．施設配置計画を行わない場合、施設配置計画は計上しない。
５．協議資料の作成を行う場合は、別途計上する。
６．現地踏査は、技師Ａ 1.0＋技師Ｂ 1.5を別途計上する。（同一斜面・法面において異種の施設を複数設計する場合は、主となる施設の現地踏査を計上する。）
ただし、道路設計に含めて委託する場合は計上しない。
７．吊枠には適用しない。

施工単価コード　SC186

施工単価名称	一般構造物基礎工　詳細設計							
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～C	

出力名称	一般構造物基礎工　詳細設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．函渠・擁壁等の一般構造物に適用する。 ２．1箇所当りの施工である。 ３．同一箇所における類似構造、標準設計を利用する場合は、積算基準により箇所数を計算し入力すること。	

条件名	A	条件名称	杭種
01	既製杭（鋼管杭　RC杭　PHC杭）		
02	場所打杭（深礎杭を除く）		
03	深礎杭		

条件名	B	条件名称	類似構造物の箇所数
実数	条件省略値:0		

類似構造物の場合は「標準歩掛」80%を計上する。

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC401

施工単価名称	**橋梁予備設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	橋梁予備設計
規格名称１	橋長（A条件値） m
規格名称２	
適用条件	
本歩掛は、上部工、下部工、基礎工について比較検討を行い、比較案3案を選定する場合に適用する。なお、3,000mを超えるもの、並びに景観検討を含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	設計対象橋長（m）
実数	条件省略値:0		

省略すれば75mに設定する。

条件名	B	条件名称	杭基礎の有無
＊ 01	杭基礎必要なし		
02	杭基礎必要		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード SC411

施工単価名称	ＲＣ単純床版橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ＲＣ単純床版橋
規格名称１	（標準設計の利用有無）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	標準設計の利用有無
01	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
02	標準設計・JIS桁を利用しない		

B=1：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=2：標準設計を利用しない場合（通常設計）

B=2のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

施工単価コード SC411

条件名	E	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70° 以上		
02	斜角70° 未満		

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC412

施工単価名称	ＲＣ単純Ｔ桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ＲＣ単純Ｔ桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC412

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70°以上	
	02	斜角70°未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC413

施工単価名称	ＲＣ単純中空床版橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ＲＣ単純中空床版橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC413

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70°以上	
	02	斜角70°未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC414

施工単価名称	ＲＣ３径間連続中空床版橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	ＲＣ３径間連続中空床版橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

標準径間以外は標準橋長を自動補正する。

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のとき、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC414

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法でトラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC415

施工単価名称	ＲＣ３径間連続Ｔ桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	ＲＣ３径間連続Ｔ桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	径間数
	01	２径間	
	＊ 02	３径間	
	03	４径間	
	04	５径間	
	05	６径間	

条件名	B	条件名称	構造物種別
	01	基本構造物	
	02	類似構造物	

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
	01	予備設計あり	
	02	標準設計を利用またはJIS桁を使用	
	03	予備設計なし	

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のときは、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC415

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC416

施工単価名称	ＲＣ３径間連続ラーメン橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	ＲＣ３径間連続ラーメン橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のときは、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC416

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC417

施工単価名称	ＰＣ単純プレテンション Ｉ 桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ＰＣ単純プレテンション Ｉ 桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ｉ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC417

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC418

施工単価名称	ＰＣ単純プレテンションＴ桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ＰＣ単純プレテンションＴ桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC418

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC419

施工単価名称	ＰＣプレテンションホロー桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ＰＣプレテンションホロー桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC419

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC420

施工単価名称	ＰＣ単純中空床版橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ＰＣ単純中空床版橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC420

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70° 以上	
	02	斜角70° 未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC421

施工単価名称	ＰＣ単純ポストテンションＴ桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ＰＣ単純ポストテンションＴ桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC421

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70° 以上	
	02	斜角70° 未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC422

施工単価名称	ＰＣ単純箱桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ＰＣ単純箱桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC422

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC423

施工単価名称	ＰＣ３径間連結プレテンＴ桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	ＰＣ３径間連結プレテンＴ桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	径間数
	01	２径間	
	＊ 02	３径間	
	03	４径間	
	04	５径間	
	05	６径間	

条件名	B	条件名称	構造物種別
	01	基本構造物	
	02	類似構造物	

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
	01	予備設計あり	
	02	標準設計を利用またはJIS桁を使用	
	03	予備設計なし	

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のときは、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC423

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC424

施工単価名称	ＰＣ３径間連結ポステンＴ桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	ＰＣ３径間連結ポステンＴ桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外は、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC424

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC425

施工単価名称	ＰＣ斜材付きπ型ラーメン橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ＰＣ斜材付きπ型ラーメン橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC425

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC426

施工単価名称	ＰＣ３径間連続中空床版橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	ＰＣ３径間連続中空床版橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のときは、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC426

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC427

施工単価名称	ＰＣ３径間連続ポステンＴ桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	ＰＣ３径間連続ポステンＴ桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のときは、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC427

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC428

施工単価名称	ＰＣ３径間連続箱桁橋						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	ＰＣ３径間連続箱桁橋
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、コンクリート橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	径間数
	01	２径間	
	＊ 02	３径間	
	03	４径間	
	04	５径間	
	05	６径間	

条件名	B	条件名称	構造物種別
	01	基本構造物	
	02	類似構造物	

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
	01	予備設計あり	
	02	標準設計を利用またはJIS桁を使用	
	03	予備設計なし	

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のときは、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC428

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC431

施工単価名称	**単純Ｈ形橋　（鋼橋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	単純H形橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC431

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70° 以上	
	02	斜角70° 未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC432

施工単価名称	**単純合成Ｈ形橋　（鋼橋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	単純合成H形橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC432

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70° 以上	
	02	斜角70° 未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC433

施工単価名称	**単純鈑桁橋（鋼橋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	単純鈑桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC433

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70° 以上	
	02	斜角70° 未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC434

施工単価名称	**単純合成鈑桁橋（鋼橋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	単純合成鈑桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC434

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC435

施工単価名称	**単純鋼床版鈑桁橋（鋼橋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	単純鋼床版鈑桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC435

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70° 以上	
	02	斜角70° 未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC436

施工単価名称	**単純箱桁橋（鋼橋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	単純箱桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC436

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70° 以上	
	02	斜角70° 未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC437

施工単価名称	**単純合成箱桁橋（鋼橋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	単純合成箱桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC437

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC438

施工単価名称	**単純鋼床版箱桁橋（鋼橋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	単純鋼床版箱桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC438

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70° 以上	
	02	斜角70° 未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC439

施工単価名称	３径間非合成ゲルバー桁橋（鋼橋）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	３径間非合成ゲルバー桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のとき、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC439

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC440

施工単価名称	**単純トラス橋（鋼橋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	単純トラス橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC440

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70° 以上	
	02	斜角70° 未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC441

施工単価名称	３径間連続鈑桁橋 （鋼橋）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	３径間連続鈑桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のとき、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC441

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC442

施工単価名称	π型ラーメン鈑桁橋（鋼橋）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	π型ラーメン鈑桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC442

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
	04	架設計画　工法Ⅲ	

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
	＊ 01	斜角70° 以上	
	02	斜角70° 未満	

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
	＊ 01	標準形	
	02	バチ形　幅員方向	

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
	＊ 01	曲線形による割増無し	
	02	桁の形状が曲線	

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
	実数	条件省略値:0	

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC444

施工単価名称	**ゲルバートラス橋（鋼橋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～H

出力名称	ゲルバートラス橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｃ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	B	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

B=1：予備設計が済んでいる場合
B=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
B=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

B=2以外のとき、橋長を自動補正する。

条件名	C	条件名称	設計対象橋長（ｍ）
実数			

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		

施工単価コード SC444

条件名	D	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	E	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	F	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	G	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC447

施工単価名称	３径間連続鋼床版鈑桁橋 （鋼橋）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	３径間連続鋼床版鈑桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のときは、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC447

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC448

施工単価名称	３径間連続トラス橋（鋼橋）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	３径間連続トラス橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のとき、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC448

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード SC449

施工単価名称	３径間連続箱桁橋 （鋼橋）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	３径間連続箱桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	
本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のとき、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC449

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC450

施工単価名称	３径間連続鋼床版箱桁橋 （鋼橋）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～I

出力名称	３径間連続鋼床版箱桁橋（鋼橋）
規格名称１	（予備設計及び標準設計区分）
規格名称２	設計橋長（Ｄ条件値）ｍ
適用条件	

本歩掛は、鋼橋上部構造を道路橋示方書等により設計するもので、支承、伸縮装置、排水装置、高欄及び応力計算を必要としない付帯施設の設計を含む場合に適用する。また、架設計画（トラック〈クローラ〉クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設）は含まれるが、架設計画、景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計、橋梁付属物等（照明、遮音壁等）の設計は含まないものとする。

条件名	A	条件名称	径間数
01	２径間		
＊ 02	３径間		
03	４径間		
04	５径間		
05	６径間		

条件名	B	条件名称	構造物種別
01	基本構造物		
02	類似構造物		

条件名	C	条件名称	予備設計及び標準設計区分
01	予備設計あり		
02	標準設計を利用またはJIS桁を使用		
03	予備設計なし		

C=1：予備設計が済んでいる場合
C=2：標準設計を利用する場合
　　標準設計を応力計算することなく一部手直しする場合
C=3：予備設計がなく、標準設計も利用しない場合（通常設計）

C=2以外のとき、橋長を自動補正する。

施工単価コード SC450

条件名	D	条件名称	設計対象橋長（m）
実数			

径間が変化する場合は、各径間毎の標準橋長の範囲内の数値を代入する。

条件名	E	条件名称	架設計画の有無（構成項目09）
01	架設計画無し		
02	架設計画　工法Ⅰ		
03	架設計画　工法Ⅱ		
04	架設計画　工法Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易な工法で、トラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合

条件名	F	条件名称	斜角条件
＊ 01	斜角70°以上		
02	斜角70°未満		

条件名	G	条件名称	バチ形による割増
＊ 01	標準形		
02	バチ形　幅員方向		

別途参考資料を参照すること。

条件名	H	条件名称	曲線形による割増
＊ 01	曲線形による割増無し		
02	桁の形状が曲線		

条件名	I	条件名称	構成項目の選択（01～06，09）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

施工単価コード　SC461

施工単価名称	**重力式橋台**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	重力式橋台
規格名称１	対象橋台数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC462

施工単価名称	**逆Ｔ式橋台**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	逆Ｔ式橋台
規格名称１	対象橋台数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC463

施工単価名称	控え壁式橋台（扶壁式）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	控え壁式橋台（扶壁式）
規格名称１	対象橋台数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC464

施工単価名称	ラーメン式橋台						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	ラーメン式橋台
規格名称１	対象橋台数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC465

施工単価名称	**箱式橋台**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	箱式橋台
規格名称１	対象橋台数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC466

施工単価名称	ラーメン式橋台（２方向）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	ラーメン式橋台（２方向）
規格名称１	対象橋台数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC471

施工単価名称	**重力式橋脚**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	重力式橋脚
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC472

施工単価名称	**壁式橋脚（逆Ｔ式）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	壁式橋脚（逆Ｔ式）
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC473

施工単価名称	**柱式橋脚（２柱式）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	柱式橋脚（２柱式）
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC474

施工単価名称	**張出式橋脚**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	張出式橋脚
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC475

施工単価名称	**ラーメン式橋脚**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	ラーメン式橋脚
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC476

施工単価名称	ＳＲＣ橋脚（中空式橋脚）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	ＳＲＣ橋脚（中空式橋脚）
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工を道路橋示方書等により設計するもので、構造物設置に伴う掘削、埋戻しの土量計算及び設計計算を必要としない橋梁下部工に付随した袖部のコンクリートブロック積み等の設計を含むものとする。 ２．景観検討、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ３．1橋分の施工単価であり、1橋台分ではないので留意されたい。 ４．打合せは必要に応じ別途加算するものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC481

施工単価名称	**既製杭　橋台基礎工**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	既製杭　橋台基礎工
規格名称１	対象橋台数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工の橋台の基礎に適用する。なお、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ２．鋼管杭・ＲＣ杭・ＰＨＣ杭に適用する。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC482

施工単価名称	場所打杭　橋台基礎工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	場所打杭　橋台基礎工
規格名称１	対象橋台数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工の橋台の基礎に適用する。なお、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ２．深礎杭を除く。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC483

施工単価名称	深礎杭　橋台基礎工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	深礎杭　橋台基礎工
規格名称１	対象橋台数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
橋梁下部工の橋台の基礎に適用する。なお、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC484

施工単価名称	**既製杭　橋脚基礎工**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	既製杭　橋脚基礎工
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工の橋脚の基礎に適用する。なお、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ２．鋼管杭・ＲＣ杭・ＰＨＣ杭に適用する。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC485

施工単価名称	**場所打杭　橋脚基礎工**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	場所打杭　橋脚基礎工
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
１．橋梁下部工の橋脚の基礎に適用する。なお、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。 ２．深礎杭を除く。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC486

施工単価名称	**深礎杭　橋脚基礎工**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	深礎杭　橋脚基礎工
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
橋梁下部工の橋脚の基礎に適用する。なお、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC487

施工単価名称	**井筒　橋脚基礎工**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	井筒　橋脚基礎工
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
橋梁下部工の橋脚の基礎に適用する。なお、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC488

施工単価名称	鋼管矢板ウエル　橋脚基礎工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	鋼管矢板ウエル　橋脚基礎工
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
橋梁下部工の橋脚の基礎に適用する。なお、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード SC489

施工単価名称	ニューマチックケーソン　橋脚基礎工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	ニューマチックケーソン　橋脚基礎工
規格名称１	対象橋脚数　（Ａ条件値）基
規格名称２	
適用条件	
橋梁下部工の橋脚の基礎に適用する。なお、仮設構造物設計、仮橋設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	類似構造物数（基）
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード SC157

施工単価名称	架設工設計（架設計画）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	工法	条件	A～B

出力名称	架設工設計（架設計画）
規格名称１	（架設工法区分）
規格名称２	
適用条件	
橋梁上部工の架設計画及び架設工設計に適用する。なお，迂回路等に係わる設計は含まないものとする。	

条件名	A	条件名称	架設工法区分
01	架設工法　Ⅰ		
02	架設工法　Ⅱ		
03	架設工法　Ⅲ		

架設工法Ⅰ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが仮設部材の応力計算、安定計算が必要となるもの。
架設工法Ⅱ：架設時の応力が橋梁上部の断面決定の一つの要因となり、かつ仮設部材の応力計算、安定計算が必要となるもの。
架設工法Ⅲ：架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易なもの。トラッククレーンベント工法などの場合。

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC451

施工単価名称	**横断歩道橋詳細設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	橋	条件	A～G

出力名称	横断歩道橋詳細設計
規格名称１	（標準設計利用区分）
規格名称２	
適用条件	
１．横断歩道橋設計図集が適用出来ない歩道橋の設計に使用する。 ２．直接基礎を含む。 ３．別途基礎が必要な場合は、杭基礎の標準歩掛を適用する。	

条件名	A	条件名称	標準設計利用区分
01	標準設計を利用する		
02	標準設計を利用しない		

条件名	B	条件名称	主桁型式の選定
＊ 01	Ｈ，Ｃ，Ｉ型鋼使用		
02	箱桁・ＰＣ桁		

条件名	C	条件名称	構造形式
＊ 01	標準		
02	連続桁・ラーメン構造		

条件名	D	条件名称	渡架型式
＊ 01	標準		
02	二方向横断型・コの字型		

条件名	E	条件名称	昇降型式
＊ 01	標準		
02	斜路式		

施工単価コード SC451

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（05～08）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC260

施工単価名称	横断地下道　設計計画及び現地踏査						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～B

出力名称	横断地下道　設計計画及び現地踏査
規格名称１	（予備設計の有無）
規格名称２	
適用条件	
１．車道を横断する地下横断歩道の詳細設計に適用する。 ２．地下横断歩道設計の設計計画及び現地踏査に適用する。 ３．1箇所当りの施工単価である。	

条件名	A	条件名称	予備設計の有無
01	予備設計無し		
02	予備設計あり		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～02）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC261

施工単価名称	**横断地下道　本体設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～C

出力名称	横断地下道　本体設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．車道を横断する地下横断歩道の詳細設計に適用する。 ２．地下横断歩道設計の本体設計に適用する。 ３．1箇所当りの施工単価である。 ４．杭基礎を必要とする場合は、杭基礎の標準歩掛を適用する。	

条件名	A	条件名称	平面形状
01	直線型		
02	上記以外		

条件名	B	条件名称	基礎型式
01	置換基礎		
02	置換・杭基礎以外		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～05）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC262

施工単価名称	**横断地下道　景観設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A

出力名称	横断地下道　景観設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．車道を横断する地下横断歩道の詳細設計に適用する。 ２．地下横断歩道設計の景観検討に適用する。 ３．1箇所当りの施工単価である。	

条件名	A	条件名称	構成項目の選択（01～05）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC263

施工単価名称	**横断地下道　付属施設設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A

出力名称	横断地下道　付属施設設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．車道を横断する地下横断歩道の詳細設計に適用する。 ２．地下横断歩道設計の付属施設設計に適用する。 ３．1箇所当りの施工単価である。	

条件名	A	条件名称	構成項目の選択（01～05）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

１．排水施設は機械設備（ポンプ排水）を標準とする。
２．防犯施設は非常警報装置（非常ベル、非常灯など）を標準とし、監視用カメラを設計する場合は、別途計上する。

施工単価コード　SC264

施工単価名称	**横断地下道　上屋設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A

出力名称	横断地下道　上屋設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．車道を横断する地下横断歩道の詳細設計に適用する。 ２．地下横断歩道設計の上屋設計に適用する。 ３．1箇所当りの施工単価である。類似構造物を計上する場合は、箇所数で補正する。	

条件名	A	条件名称	構成項目の選択（01）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

１．上屋の形状は、「立体横断施設技術基準・同解説」及び「設計便覧（案）」による標準的なものとする。

施工単価コード　SC265

施工単価名称	**横断地下道　施工計画**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～B

出力名称	横断地下道　施工計画
規格名称１	（道路供用区分）
規格名称２	
適用条件	
１．車道を横断する地下横断歩道の詳細設計に適用する。 ２．地下横断歩道設計の施工計画に適用する。 ３．1箇所当りの施工単価である。	

条件名	A	条件名称	道路供用区分
＊ 01	未供用道路（バイパス）		
02	供用道路		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC266

施工単価名称	横断地下道　設計図・数量計算・照査報告書						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～B

出力名称	横断地下道　設計図・数量計算・照査報告書
規格名称１	Ａ条件明示
規格名称２	
適用条件	
１．車道を横断する地下横断歩道の詳細設計に適用する。 ２．地下横断歩道設計の設計図、数量計算及び照査報告書に適用する。	

条件名	A	条件名称	平面形状
01	直線型		
02	上記以外		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC190

施工単価名称	山岳トンネル本体詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～H

出力名称	山岳トンネル本体詳細設計
規格名称１	設計断面数（Ａ条件値）
規格名称２	計画延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．既設トンネルを拡幅設計する場合は、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計断面数
実数			

設計断面数は、積算基準を参照して決定する。

条件名	B	条件名称	計画延長（ｍ）
実数			

条件名	C	条件名称	坑口構造条件
＊ 01	入口と出口が同形		
02	入口と出口が類似		
03	入口と出口が異形		

C=1の場合、1.0坑門
C=2の場合、1.8坑門　計上する。
C=3の場合、2.0坑門

条件名	D	条件名称	換気検討の要・不要
01	換気検討必要無し		
02	換気検討必要有り		

条件名	E	条件名称	トンネル等級区分
01	等級ＡＡ		
02	等級Ａ		
03	等級Ｂ		

施工単価コード SC190

条件名	E	条件名称	トンネル等級区分
04	等級Ｃ		

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～07）7桁
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（08～14）7桁
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

条件名	H	条件名称	坑門区分
01	面壁型		
02	突出型		

１．打合せ回数については、基準を参照すること。
２．トンネルに附帯する設備（トンネル照明等）については電気通信設備積算資料による。

施工単価コード SC199

施工単価名称	山岳トンネル設計計画・設計条件の確認						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～B

出力名称	山岳トンネル設計計画・設計条件の確認
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．山岳トンネル本体詳細設計の設計計画・設計条件の確認に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計区分
01	設計計画		
02	設計条件の確認		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

省略すれば補正値は1.0である。

施工単価コード SC191

施工単価名称	山岳トンネル現地踏査						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	山岳トンネル現地踏査
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．山岳トンネル本体詳細設計の現地踏査に適用する。	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC192

施工単価名称	山岳トンネル本体工設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	山岳トンネル本体工設計
規格名称１	断面数（Ａ条件値）
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．トンネル本体詳細設計の本体工設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計断面数
実数			

設計断面数が2以上の場合
　2断面以上の1断面当り歩掛＝標準歩掛×0.4
設計断面数は、積算基準を参照して決定する。

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

省略すれば補正値は1.0である。

１．設計断面数は、掘削工法と巻厚の組合せにより計上する。
　　なお、インバートが必要な場合は、1断面加算計上する。

施工単価コード SC194

施工単価名称	山岳トンネル坑門工設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	山岳トンネル坑門工設計
規格名称１	基準構造物・計画延長
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．トンネル本体詳細設計の坑門工設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	坑口構造条件
＊ 01	入口と出口が同形		
02	入口と出口が類似		
03	入口と出口が異形		

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

省略すれば補正値は1.0である。

条件名	C	条件名称	区分
01	面壁型		
02	突出型		

施工単価コード SC198

施工単価名称	山岳トンネル坑門工比較設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	坑口	条件	A

出力名称	山岳トンネル坑門工比較設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．山岳トンネル本体詳細設計の坑門工比較設計計画に適用する。	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

省略すれば補正値は1.0である。

施工単価コード SC189

施工単価名称	**防水工設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	断面	条件	A

出力名称	防水工設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．山岳トンネル本体詳細設計の防水工設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

省略すれば補正値は1.0である。

施工単価コード SC197

施工単価名称	**排水工設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	トンネル	条件	A

出力名称	排水工設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．山岳トンネル本体詳細設計の排水工設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

省略すれば補正値は1.0である。

施工単価コード　SC196

施工単価名称	非常用施設設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	トンネル	条件	A～B

出力名称	非常用施設設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．トンネル本体詳細設計の非常用施設設計に適用する。ただし、トンネル等級区分がＡＡ，Ａ，Ｂ，Ｃとなる場合に計上するものとする。	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

省略すれば補正値は1.0である。

条件名	B	条件名称	トンネル等級区分
01	等級ＡＡ		
02	等級Ａ		
03	等級Ｂ		
04	等級Ｃ		

施工単価コード SC195

施工単価名称	**舗装・施工計画・仮設備計画**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	トンネル	条件	A～C

出力名称	舗装・施工計画・仮設備計画
規格名称１	計画延長
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．トンネル本体詳細設計の舗装工設計･施工計画･仮設備計画に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計区分
01	舗装工設計		
02	施工計画・仮設備計画		

条件名	B	条件名称	計画延長（m）
実数			

条件名	C	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

省略すれば補正値は1.0である。

施工単価コード SC193

施工単価名称	**山岳トンネル換気検討**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	トンネル	条件	A～B

出力名称	山岳トンネル換気検討
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．山岳トンネル本体詳細設計の換気検討に適用する。 ３．所要換気量の算定及び換気方法の選定を検討する場合に計上するものとする。	

条件名	A	条件名称	計画延長（m）
実数			

条件名	B	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

省略すれば補正値は1.0である。

施工単価コード SC188

施工単価名称	**山岳トンネル照査**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	山岳トンネル照査
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
１．関連道路設計及び地質調査資料等、既存の関連資料を基に、道路トンネルの詳細設計を行う場合に適用する。 ２．山岳トンネル本体詳細設計の照査に適用する。	

条件名	A	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

省略すれば補正値は1.0である。

施工単価コード SC340

施工単価名称	**共同溝予備設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～B

出力名称	共同溝予備設計
規格名称１	
規格名称２	
適用条件	
実測平面図、縦断、横断図をもとに行われる一般的な開削工法の予備設計に適用するものとし、特殊工法(シールド工法)は、除外するものとする。	

条件名	A	条件名称	洞道数による増減率（＋－%）
実数	条件省略値:0		

標準歩掛は2洞道を原則とし、1洞道を増減する毎に10%の範囲で増減してよい。

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC341

施工単価名称	**共同溝詳細設計［開削工法］設計計画**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	

出力名称	共同溝詳細設計［開削工法］
規格名称１	設計計画
規格名称２	
適用条件	
幹線共同溝のうち開削工法で行う場合の設計計画に適用する。	

施工単価コード SC342

施工単価名称	共同溝詳細設計［開削工法］全体計画						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～P

出力名称	共同溝詳細設計［開削工法］
規格名称１	全体計画
規格名称２	
適用条件	
幹線共同溝のうち開削工法で行う場合の全体計画に適用する。	

条件名	A	条件名称	予備設計成果の有無
01	有		
02	無		

条件名	B	条件名称	参加企業数
実数			

条件名	C	条件名称	設計対象地域
01	市街地（ＤＩＤ地区）		
02	市街地以外		

条件名	D	条件名称	既設道路か否か
01	既設道路		
02	新設又は改築道路		

条件名	E	条件名称	同調施工事業有無
01	有		
02	無		

条件名	F	条件名称	仮設構造物断面設計数量
実数			

施工単価コード SC342

条件名	G	条件名称	一般部断面設計数量
実数			

条件名	H	条件名称	設計延長（km）
実数			

条件名	I	条件名称	交差物件か否か
01	交差物件		
02	交差物件以外		

共同溝が河川、鉄道等と交差する際、構造、施工方法等で特に検討を要する場合。

条件名	J	条件名称	近接施工か否か
01	近接施工		
02	近接施工以外		

近接施工の影響範囲内で対策方法等を検討する場合。但し近接施工の影響範囲の判定は除くものとする。

条件名	K	条件名称	本体縦断検討
01	行う		
02	行わない		

「共同溝設計指針 5.1.14 共同溝縦断方向の検討」に該当し検討・設計を行う場合。

条件名	L	条件名称	大規模山留設計
01	行う		
02	行わない		

「共同溝設計指針 7.4 大規模山留設計」に該当し検討・設計を行う場合。

条件名	M	条件名称	耐震検討有無
01	有		
02	無		

耐震検討、液状化対策を検討する場合。但し液状化の判定及び地震時の動的解析は除くものとする。

施工単価コード SC342

条件名	N	条件名称	プレキャスト工法か否か
01	プレキャスト工法		
02	プレキャスト工法以外		

プレキャスト工法により設計する場合。

条件名	0	条件名称	その他必要となる特殊検討事項有無
01	有		
02	無		

その他必要となる特殊検討事項。

条件名	P	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード SC344

施工単価名称	共同溝詳細設計［開削工法］一般部断面設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	断面	条件	A～C

出力名称	共同溝詳細設計［開削工法］
規格名称１	一般部断面設計
規格名称２	
適用条件	
１．幹線共同溝のうち開削工法で行う場合に適用する。 ２．共同溝本体のうち縦断的に連続する一般部の1断面の設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	洞道数
実数			

条件名	B	条件名称	プレキャスト工法による設計
01	行う		
02	行わない		

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC346

施工単価名称	共同溝詳細設計［開削工法］換気口部設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A

出力名称	共同溝詳細設計［開削工法］
規格名称１	換気口部設計
規格名称２	
適用条件	
１．幹線共同溝のうち開削工法で行う場合に適用する。 ２．共同溝本体のうち強制換気口及び自然換気口1箇所の設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード SC343

施工単価名称	共同溝詳細設計［開削工法］仮設構造物設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	断面	条件	A～B

出力名称	共同溝詳細設計［開削工法］
規格名称１	仮設構造物断面設計
規格名称２	
適用条件	
１．幹線共同溝のうち開削工法で行う場合に適用する。 ２．鋼矢板による締切、H鋼親杭土留方式による、仮設構造物の設計に適用する。但し、本歩掛は縦断的に連続する仮設構造物の1断面を設計するものである。	

条件名	A	条件名称	覆工の有無
01	覆工あり		
02	覆工なし		

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード SC345

施工単価名称	共同溝詳細設計［開削工法］特殊部設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～B

出力名称	共同溝詳細設計［開削工法］
規格名称１	特殊部設計
規格名称２	
適用条件	
１．幹線共同溝のうち開削工法で行う場合に適用する。 ２．共同溝本体のうち特殊部及び一般部のうち1スパンで設計を行う必要のあるもの1箇所の設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	断面変化数
実数			

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード SC347

施工単価名称	共同溝詳細設計［開削工法］施工計画・照査・						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A

出力名称	報告書作成
規格名称１	施工計画・照査・報告書作成
規格名称２	
適用条件	
幹線共同溝のうち開削工法で行う場合に適用する。	

条件名	A	条件名称	構成項目の選択

01	施工計画
02	照査
03	報告書作成

施工単価コード SC348

施工単価名称	共同溝詳細設計［シールド工法］標準歩掛						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A～B

出力名称	共同溝詳細設計［シールド工法］
規格名称１	標準歩掛
規格名称２	
適用条件	
幹線共同溝のうちシールド工法で行う場合に適用する。	

条件名	A	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

条件名	B	条件名称	構成項目の選択（08～12）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC349

施工単価名称	共同溝詳細設計［シールド工法］立坑設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A

出力名称	共同溝詳細設計［シールド工法］
規格名称１	立坑設計
規格名称２	
適用条件	
幹線共同溝のうちシールド工法で行う場合に適用する。	

条件名	A	条件名称	仮設工法が同一な設計を行う設計箇所数
実数			

施工単価コード SC166

施工単価名称	電線共同溝（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）予備設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	電線共同溝（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）予備設計
規格名称１	（設計対象地域）
規格名称２	
適用条件	
１．既存の関連資料をもとに最適な構造，線形，施工方法の選定を行う 設計で、設計延長が 0.75km超～1.0km以下、設計地域が市街地 （ＤＩＤ地区）の場合を標準とする。設計延長等条件が異なる場合は、 割増率等により標準歩掛を補正するものとする。 ２．適用範囲は4kmまでとする。 ３．1箇所当りの施工単価である。	

条件名	A	条件名称	設計延長区分（m）
実数			

条件名	B	条件名称	設計対象地域
01	；市街地（ＤＩＤ地区）		
02	；市街地以外		
03	；計画道路（区画整理地内道路含む）		
04	；設計区間内に地域がまたがる		

条件名	C	条件名称	市街地以外又は計画道路の延長（m）
実数			

条件名	D	条件名称	電線共同溝設置
01	両側歩道に設置		
02	片側歩道に設置		

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード SC166

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（08～11）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード SC176

施工単価名称	電線共同溝（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～G

出力名称	電線共同溝（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）詳細設計
規格名称１	（予備設計の有無）
規格名称２	
適用条件	
１．予備設計成果に基づいて工事に必要な詳細構造の設計を行う詳細設計で、設計延長が 0.75km超～1.0km以下、設計地域が市街地（ＤＩＤ地区）の場合を標準歩掛とする。設計延長等条件が異なる場合は、割増率等により標準歩掛を補正するものとする。 ２．適用範囲は4km以下とする。	

条件名	A	条件名称	設計延長区分（m）
実数			

条件名	B	条件名称	予備設計の有無
01	有		
02	無		

条件名	C	条件名称	設計対象地域
01	；市街地（ＤＩＤ地区）		
02	；市街地以外		
03	；計画道路（区画整理地内道路含む）		
04	；設計区間内に地域がまたがる		

条件名	D	条件名称	市街地以外又は計画道路の延長（m）
実数			

条件名	E	条件名称	電線共同溝設置
01	両側歩道に設置		
02	片側歩道に設置		

施工単価コード SC176

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～07）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（08～12）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード　SC177

施工単価名称	電線共同溝（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）各部設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	各部設計
規格名称１	電線共同溝（Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ）詳細設計
規格名称２	
適用条件	
１．予備設計成果に基づいて工事に必要な詳細構造の設計を行う詳細設計で、設計延長が0.75km超～1.0km以下、設計地域が市街地（ＤＩＤ地区）の場合を標準歩掛とする。設計延長等条件が異なる場合は、割増率等により標準歩掛を補正するものとする。 ２．適用範囲は4km以下とする。 ３．応力計算を伴う各部を対象とする。	

条件名	A	条件名称	応力計算ケース数
実数			

条件名	B	条件名称	予備設計成果の有無
01	有		
02	無		

仮設構造物詳細設計は、掘削深さ2m程度を超えるもの、または、土質状況等により必要と判断する場合に行うものとする。

条件名	C	条件名称	設計対象地域
01	市街地（ＤＩＤ地区）		
02	市街地以外		
03	道路計画（区画整理地内道路含む）		
04	設計区間内に地域がまたがる		

条件名	D	条件名称	設計延長（m）
実数			

省略すれば標準とする。

条件名	E	条件名称	市街地以外又は計画道路の延長（m）
実数			

施工単価コード SC177

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目をすべて明示する。

施工単価コード SC230

施工単価名称	土留工詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～D

出力名称	土留工詳細設計
規格名称１	（構造物種別）
規格名称２	対象構造物数（Ｃ条件値）基
適用条件	

１．道路構造物等の施工に伴う仮設の土留工（鋼矢板工法、親杭横矢板工法[H形鋼]）に適用する。
なお、指定仮設を検討する場合は、本歩掛を適用せず別途計上とする。
２．打合せ・現地踏査については、主目的とする構造物の打合せ・現地踏査に含むものとする。
３．1基当りの施工であるので、複数基を同時に設計する場合は、施工を基数分計上する。

条件名	A	条件名称	構造物種別

01	自立式
02	切梁式　1段
03	切梁式　2段
04	切梁式　3段
05	切梁式　4段
06	アンカー式　1段
07	アンカー式　2段
08	アンカー式　3段
09	アンカー式　4段
10	タイロッド式
11	タイロッド式（切梁式1段併用）
12	タイロッド式（切梁式2段併用）
13	タイロッド式（切梁式3段併用）
14	タイロッド式（切梁式4段併用）

条件名	B	条件名称	同一基内での複数設計計算箇所の有無

01	複数設計計算あり
02	複数設計計算なし

施工単価コード SC230

B条件は、A=2～5,11～15のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	基数ｎ（基本構造物＋類似構造物）
実数	条件省略値:0		

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC232

施工単価名称	**仮橋仮桟橋設計**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～D

出力名称	仮橋仮桟橋設計
規格名称１	（仮橋・仮桟橋種別）
規格名称２	対象橋数（Ｃ条件値）基
適用条件	
１．道路構造物等の施工に伴う仮橋、仮桟橋に適用する。 ２．上部工がH形鋼桁、トラス桁（リース材等製品使用）の双方に適用する。 ３．打合せ・現地踏査については、主目的とする構造物打合せ・現地踏査に含むものとする。 ４．1橋当りの施工である。	

条件名	A	条件名称	仮橋・仮桟橋種別
01	一般通行用仮橋		
02	工事用仮橋・仮桟橋		

条件名	B	条件名称	同一橋内における設計計算箇所
01	同一橋内で1箇所のみ		
02	同一橋内で複数（2箇所以上）を有する		

条件名	C	条件名称	基数ｎ（基本構造物＋類似構造物）
実数	条件省略値:0		

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～06）
実数	条件省略値:0		

省略すれば構成項目を全て明示する。

下部工の設計（H形鋼の打ち込み、台座コンクリート等）は含むものとする。

施工単価コード SF291

施工単価名称	**樋門設計 （設計計画）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	設計計画
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	
適用条件	

１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。
２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。
３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	C	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

条件名	D	条件名称	管長
01	11m未満		
02	11m以上 23m未満		
03	23m以上 35m未満		
04	35m以上 46m未満		
05	46m以上 58m未満		

施工単価コード SF291

条件名	D	条件名称	管長
06	58m以上 70m未満		
07	70m以上 74m以下		

条件名	E	条件名称	スパン数
01	1スパン		
02	2スパン		
03	3スパン		
04	4スパン		
05	5スパン		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SF292

施工単価名称	**樋門設計（現地踏査）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	現地踏査
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	
適用条件	
１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。 ２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。 ３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	C	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

条件名	D	条件名称	管長
01	11m未満		
02	11m以上 23m未満		
03	23m以上 35m未満		
04	35m以上 46m未満		
05	46m以上 58m未満		

施工単価コード SF292

条件名	D	条件名称	管長
06	58m以上 70m未満		
07	70m以上 74m以下		

条件名	E	条件名称	スパン数
01	1スパン		
02	2スパン		
03	3スパン		
04	4スパン		
05	5スパン		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SF293

施工単価名称	樋門設計（基本事項の決定）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	基本事項の決定
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	
適用条件	
１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。 ２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。 ３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	C	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

条件名	D	条件名称	管長
01	11m未満		
02	11m以上 23m未満		
03	23m以上 35m未満		
04	35m以上 46m未満		
05	46m以上 58m未満		

施工単価コード SF293

条件名	D	条件名称	管長
06	58m以上 70m未満		
07	70m以上 74m以下		

条件名	E	条件名称	スパン数
01	1スパン		
02	2スパン		
03	3スパン		
04	4スパン		
05	5スパン		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SF294

施工単価名称	**樋門設計 （景観設計）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	景観設計
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	
適用条件	
１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。 ２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。 ３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	C	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

条件名	D	条件名称	管長
01	11m未満		
02	11m以上 23m未満		
03	23m以上 35m未満		
04	35m以上 46m未満		
05	46m以上 58m未満		

施工単価コード SF294

条件名	D	条件名称	管長
06	58m以上 70m未満		
07	70m以上 74m以下		

条件名	E	条件名称	スパン数
01	1スパン		
02	2スパン		
03	3スパン		
04	4スパン		
05	5スパン		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SF295

施工単価名称	**樋門設計 （構造設計）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～G

出力名称	構造設計
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	（設計条件種別）
適用条件	
１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。 ２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。 ３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	設計条件種別
01	設計条件の確認		
02	基礎工		
03	本体工		
04	ゲート工及び操作室		
05	高水護岸・低水護岸及び土工等		

条件名	C	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	D	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

施工単価コード SF295

条件名	E	条件名称	管長

01	11m未満
02	11m以上 23m未満
03	23m以上 35m未満
04	35m以上 46m未満
05	46m以上 58m未満
06	58m以上 70m未満
07	70m以上 74m以下

条件名	F	条件名称	スパン数

01	1スパン
02	2スパン
03	3スパン
04	4スパン
05	5スパン

条件名	G	条件名称	基準歩掛の補正

実数	条件省略値:0

施工単価コード SF296

施工単価名称	**樋門設計 （施工計画）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	施工計画
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	
適用条件	
１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。 ２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。 ３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	C	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

条件名	D	条件名称	管長
01	11m未満		
02	11m以上 23m未満		
03	23m以上 35m未満		
04	35m以上 46m未満		
05	46m以上 58m未満		

施工単価コード SF296

条件名	D	条件名称	管長
06	58m以上 70m未満		
07	70m以上 74m以下		

条件名	E	条件名称	スパン数
01	1スパン		
02	2スパン		
03	3スパン		
04	4スパン		
05	5スパン		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SF297

施工単価名称	**樋門設計 （仮設構造物設計）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	仮設構造物設計
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	
適用条件	
１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。 ２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。 ３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	C	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

条件名	D	条件名称	管長
01	11m未満		
02	11m以上 23m未満		
03	23m以上 35m未満		
04	35m以上 46m未満		
05	46m以上 58m未満		

施工単価コード SF297

条件名	D	条件名称	管長
06	58m以上 70m未満		
07	70m以上 74m以下		

条件名	E	条件名称	スパン数
01	1スパン		
02	2スパン		
03	3スパン		
04	4スパン		
05	5スパン		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SF298

施工単価名称	**樋門設計 （数量計算）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	数量計算
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	
適用条件	
１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。 ２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。 ３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	C	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

条件名	D	条件名称	管長
01	11m未満		
02	11m以上 23m未満		
03	23m以上 35m未満		
04	35m以上 46m未満		
05	46m以上 58m未満		

施工単価コード SF298

条件名	D	条件名称	管長
06	58m以上 70m未満		
07	70m以上 74m以下		

条件名	E	条件名称	スパン数
01	1スパン		
02	2スパン		
03	3スパン		
04	4スパン		
05	5スパン		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SF299

施工単価名称	**樋門設計（パース作成）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	パース作成
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	
適用条件	
１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。 ２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。 ３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	C	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

条件名	D	条件名称	管長
01	11m未満		
02	11m以上 23m未満		
03	23m以上 35m未満		
04	35m以上 46m未満		
05	46m以上 58m未満		

施工単価コード SF299

条件名	D	条件名称	管長
06	58m以上 70m未満		
07	70m以上 74m以下		

条件名	E	条件名称	スパン数
01	1スパン		
02	2スパン		
03	3スパン		
04	4スパン		
05	5スパン		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SF300

施工単価名称	**樋門設計 （照査）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	照査
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	
適用条件	
１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。 ２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。 ３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	C	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

条件名	D	条件名称	管長
01	11m未満		
02	11m以上 23m未満		
03	23m以上 35m未満		
04	35m以上 46m未満		
05	46m以上 58m未満		

施工単価コード SF300

条件名	D	条件名称	管長
06	58m以上 70m未満		
07	70m以上 74m以下		

条件名	E	条件名称	スパン数
01	1スパン		
02	2スパン		
03	3スパン		
04	4スパン		
05	5スパン		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SF301

施工単価名称	**樋門設計（報告書作成）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	箇所	条件	A～F

出力名称	報告書作成
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	
適用条件	
１．主に1級河川及び2級河川の堤防を横断する樋門（計画流量50m3／s以下）の設計に適用する。 ２．標準的な樋門の設計業務内容を示すものであり、各々の設計条件に応じて標準歩掛を増減する。 ３．標準設計を使用する場合は、本歩掛の適用範囲外とし、別途計上する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	柔構造　（予備設計あり）		
02	剛構造　標準設計を使用しない（予備設計あり）		

条件名	B	条件名称	一連当り断面積
01	2m2未満		
02	2m2以上 7m2以下		
03	5m2以下		

条件名	C	条件名称	連数
01	1連		
02	2連		
03	3連		

条件名	D	条件名称	管長
01	11m未満		
02	11m以上 23m未満		
03	23m以上 35m未満		
04	35m以上 46m未満		
05	46m以上 58m未満		

施工単価コード SF301

条件名	D	条件名称	管長
06	58m以上 70m未満		
07	70m以上 74m以下		

条件名	E	条件名称	スパン数
01	1スパン		
02	2スパン		
03	3スパン		
04	4スパン		
05	5スパン		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC220

施工単価名称	**排水機場設計（設計計画）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	排水機場設計（設計計画）
規格名称１	予備設計・詳細設計
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の予備設計、詳細設計における設計計画に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	予備設計（パイプ形式）		
02	詳細設計（パイプ形式）		

条件名	B	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC221

施工単価名称	**排水機場設計（現地踏査）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	排水機場設計（現地踏査）
規格名称１	予備設計・詳細設計
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の予備設計、詳細設計における現地踏査に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	予備設計（パイプ形式）		
02	詳細設計（パイプ形式）		

条件名	B	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC225

施工単価名称	排水機場設計（基本事項の検討・決定）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	排水機場設計（基本事項の検討・決定）
規格名称１	予備設計・詳細設計
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の予備設計における基本事項の検討、詳細設計における基本事項の決定に 適用する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	予備設計（パイプ形式）		
02	詳細設計（パイプ形式）		

条件名	B	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC223

施工単価名称	**排水機場設計（景観検討）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	排水機場設計（景観検討）
規格名称１	予備設計・詳細設計
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の予備設計、詳細設計における景観検討に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	予備設計（パイプ形式）		
02	詳細設計（パイプ形式）		

条件名	B	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC224

施工単価名称	**排水機場設計 （設計図）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	排水機場設計（設計図）
規格名称１	予備設計（パイプ形式）
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の予備設計における設計図に適用する。	

条件名	A	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC226

施工単価名称	**排水機場設計（構造設計）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	排水機場設計（構造設計）
規格名称１	詳細設計（パイプ形式）
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の詳細設計における構造設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC227

施工単価名称	**排水機場設計（機場上屋）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	排水機場設計（機場上屋）
規格名称１	予備設計（パイプ形式）
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の予備設計における機場上屋に適用する。	

条件名	A	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC228

施工単価名称	排水機場設計（機場上屋設計及び外構設計）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	排水機場設計（機場上屋設計及び外構設計）
規格名称１	詳細設計（パイプ形式）
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の詳細設計における機場上屋設計及び外構設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	総排水量（m3／ｓ）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC229

施工単価名称	**排水機場設計（ポンプ機電設備計画）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	排水機場設計（ポンプ機電設備計画）
規格名称１	予備設計（パイプ形式）
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の予備設計における機電設備計画に適用する。	

条件名	A	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC222

施工単価名称	**排水機場設計（ポンプ機電設備計画）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	排水機場設計（ポンプ機電設備計画）
規格名称１	詳細設計（パイプ形式）
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の詳細設計におけるポンプ機電設備計画に適用する。	

条件名	A	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC237

施工単価名称	**排水機場設計（ゲート設備計画）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	排水機場設計（ゲート設備計画）
規格名称１	詳細設計（パイプ形式）
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の詳細設計における門扉設備計画に適用する。	

条件名	A	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC233

施工単価名称	**排水機場設計（施工計画）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	排水機場設計（施工計画）
規格名称１	予備設計・詳細設計
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下）の 予備設計における施工計画検討、詳細設計における施工計画に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	予備設計（パイプ形式）		
02	詳細設計（パイプ形式）		

条件名	B	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	C	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC234

施工単価名称	**排水機場設計（概算工事費算出）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	排水機場設計（概算工事費算出）
規格名称１	予備設計（パイプ形式）
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の予備設計における概算工事費に適用する。	

条件名	A	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC238

施工単価名称	**排水機場設計（仮設構造物設計）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	排水機場設計（仮設構造物設計）
規格名称１	詳細設計（パイプ形式）
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の詳細設計における仮設備設計に適用する。	

条件名	A	条件名称	総排水量（m3／ｓ）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC235

施工単価名称	**排水機場設計（数量計算）**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～B

出力名称	排水機場設計（数量計算）
規格名称１	詳細設計（パイプ形式）
規格名称２	
適用条件	
本歩掛は、一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下）の詳細設計における数量計算に適用する。	

条件名	A	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	B	条件名称	調整係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード SC236

施工単価名称	排水機場設計（照査・報告書作成）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	排水機場設計（照査・報告書作成）
規格名称１	予備設計・詳細設計
規格名称２	
適用条件	
一般の河川排水機場（パイプ形式、総排水容量1m3/s以上30m3/s以下） の予備設計、詳細設計における照査・報告書作成に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	予備設計（パイプ形式）		
02	詳細設計（パイプ形式）		

条件名	B	条件名称	総排水量（m3／s）
実数			

総排水量は1～30(m3)とする。

条件名	C	条件名称	構成項目の選択（01～02）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SF121

施工単価名称	河川護岸詳細設計　設計計画						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　設計計画
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400ｍまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

軟弱地盤とは、護岸の基礎工が計画される位置に下記条件の地層が3m以上あるケースとする。

１）粘土地盤の場合
①標準貫入試験によるＮ値が3以下の地盤
②機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入値が0.3N／mm2以下の地盤
③スウェーデン式サウンディング試験において980N以下の荷重で沈下する地盤
④一軸圧縮強さquが0.06N／mm2以下の地盤
⑤自然含水比が40％以上の沖積粘土の地盤
２）有機質土の地盤の場合
３）砂地盤の場合
①標準貫入試験によるN値が10以下の地盤
②粒径の揃った細砂の地盤

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

施工単価コード SF121

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

補正値は、1.0まで

施工単価コード | SF123

施工単価名称	河川護岸詳細設計　現地踏査							
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　現地踏査
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

軟弱地盤とは、護岸の基礎工が計画される位置に下記条件の地層が3m以上あるケースとする。

１）粘土地盤の場合
　①標準貫入試験によるＮ値が3以下の地盤
　②オランダ式二重管コーン貫入値が0.3N／mm2以下の地盤
　③スウェーデン式サウンディング試験において980N以下の荷重で沈下する地盤
　④一軸圧縮強さquが0.06N／mm2以下の地盤
　⑤自然含水比が40％以上の沖積粘土の地盤
２）有機質土の地盤の場合
３）砂地盤の場合
　①標準貫入試験によるN値が10以下の地盤
　②粒径の揃った細砂の地盤

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

施工単価コード SF123

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

補正値は、1.0まで

施工単価コード　SF124

施工単価名称	河川護岸詳細設計　基本事項の決定						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　基本事項の決定
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

軟弱地盤とは、護岸の基礎工が計画される位置に下記条件の地層が3m以上あるケースとする。

１）粘土地盤の場合
　①標準貫入試験によるＮ値が3以下の地盤
　②オランダ式二重管コーン貫入値が0.3N／mm2以下の地盤
　③スウェーデン式サウンディング試験において980N以下の荷重で沈下する地盤
　④一軸圧縮強さquが0.06N／mm2以下の地盤
　⑤自然含水比が40％以上の沖積粘土の地盤
２）有機質土の地盤の場合
３）砂地盤の場合
　①標準貫入試験によるN値が10以下の地盤
　②粒径の揃った細砂の地盤

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

施工単価コード SF124

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

4桁以上は入力不可

施工単価コード　SF133

施工単価名称	河川護岸詳細設計　景観検討							
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F	

出力名称	河川護岸詳細設計　景観検討
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

施工単価コード SF133

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

補正値は、1.0まで

施工単価コード　SF125

施工単価名称	河川護岸詳細設計　本体設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　本体設計
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

軟弱地盤とは、護岸の基礎工が計画される位置に下記条件の地層が3m以上あるケースとする。

１）粘土地盤の場合
　①標準貫入試験によるＮ値が3以下の地盤
　②オランダ式二重管コーン貫入値が0.3N／mm2以下の地盤
　③スウェーデン式サウンディング試験において980N以下の荷重で沈下する地盤
　④一軸圧縮強さquが0.06N／mm2以下の地盤
　⑤自然含水比が40％以上の沖積粘土の地盤
２）有機質土の地盤の場合
３）砂地盤の場合
　①標準貫入試験によるN値が10以下の地盤
　②粒径の揃った細砂の地盤

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

施工単価コード SF125

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～02）
実数	条件省略値:0		

2桁以上は入力不可

施工単価コード　SF126

施工単価名称	河川護岸詳細設計　付帯施設設計							
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　付帯施設設計
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

軟弱地盤とは、護岸の基礎工が計画される位置に下記条件の地層が3m以上あるケースとする。

１）粘土地盤の場合
　①標準貫入試験によるＮ値が3以下の地盤
　②オランダ式二重管コーン貫入値が0.3N／mm2以下の地盤
　③スウェーデン式サウンディング試験において980N以下の荷重で沈下する地盤
　④一軸圧縮強さquが0.06N／mm2以下の地盤
　⑤自然含水比が40％以上の沖積粘土の地盤
２）有機質土の地盤の場合
３）砂地盤の場合
　①標準貫入試験によるN値が10以下の地盤
　②粒径の揃った細砂の地盤

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

施工単価コード SF126

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

3桁以上は入力不可

施工単価コード | SF127

施工単価名称	河川護岸詳細設計　施工計画						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　施工計画
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

軟弱地盤とは、護岸の基礎工が計画される位置に下記条件の地層が3m以上あるケースとする。

１）粘土地盤の場合
　①標準貫入試験によるＮ値が3以下の地盤
　②オランダ式二重管コーン貫入値が0.3N／mm2以下の地盤
　③スウェーデン式サウンディング試験において980N以下の荷重で沈下する地盤
　④一軸圧縮強さquが0.06N／mm2以下の地盤
　⑤自然含水比が40％以上の沖積粘土の地盤
２）有機質土の地盤の場合
３）砂地盤の場合
　①標準貫入試験によるN値が10以下の地盤
　②粒径の揃った細砂の地盤

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

施工単価コード SF127

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

補正値は、1.0まで

施工単価コード SF132

施工単価名称	河川護岸詳細設計　仮設計画						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　仮設計画
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

施工単価コード SF132

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

補正値は、1.0まで

施工単価コード | SF128

施工単価名称	河川護岸詳細設計　図面作成						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　図面作成
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

軟弱地盤とは、護岸の基礎工が計画される位置に下記条件の地層が3m以上あるケースとする。

１）粘土地盤の場合
　①標準貫入試験によるＮ値が3以下の地盤
　②オランダ式二重管コーン貫入値が0.3N／mm2以下の地盤
　③スウェーデン式サウンディング試験において980N以下の荷重で沈下する地盤
　④一軸圧縮強さquが0.06N／mm2以下の地盤
　⑤自然含水比が40％以上の沖積粘土の地盤
２）有機質土の地盤の場合
３）砂地盤の場合
　①標準貫入試験によるN値が10以下の地盤
　②粒径の揃った細砂の地盤

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

施工単価コード SF128

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

補正値は、1.0まで

施工単価コード　SF134

施工単価名称	河川護岸詳細設計　パース作成						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　パース作成
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

施工単価コード SF134

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

補正値は、1.0まで

施工単価コード　SF129

施工単価名称	河川護岸詳細設計　数量計算						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　数量計算
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

軟弱地盤とは、護岸の基礎工が計画される位置に下記条件の地層が3m以上あるケースとする。

１）粘土地盤の場合
　①標準貫入試験によるＮ値が3以下の地盤
　②オランダ式二重管コーン貫入値が0.3N／mm2以下の地盤
　③スウェーデン式サウンディング試験において980N以下の荷重で沈下する地盤
　④一軸圧縮強さquが0.06N／mm2以下の地盤
　⑤自然含水比が40％以上の沖積粘土の地盤
２）有機質土の地盤の場合
３）砂地盤の場合
　①標準貫入試験によるN値が10以下の地盤
　②粒径の揃った細砂の地盤

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

施工単価コード SF129

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

補正値は、1.0まで

施工単価コード　SF130

施工単価名称	河川護岸詳細設計　照査						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　照査
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

軟弱地盤とは、護岸の基礎工が計画される位置に下記条件の地層が3m以上あるケースとする。

１）粘土地盤の場合
　①標準貫入試験によるＮ値が3以下の地盤
　②オランダ式二重管コーン貫入値が0.3N／mm2以下の地盤
　③スウェーデン式サウンディング試験において980N以下の荷重で沈下する地盤
　④一軸圧縮強さquが0.06N／mm2以下の地盤
　⑤自然含水比が40％以上の沖積粘土の地盤
２）有機質土の地盤の場合
３）砂地盤の場合
　①標準貫入試験によるN値が10以下の地盤
　②粒径の揃った細砂の地盤

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

施工単価コード SF130

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

補正値は、1.0まで

施工単価コード　SF131

施工単価名称	河川護岸詳細設計　報告書作成						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	河川護岸詳細設計　報告書作成
規格名称１	（設計業務種別）
規格名称２	設計延長（Ｂ条件値）ｍ
適用条件	
１．主に一級及び二級河川の護岸詳細設計に適用するものとし、護岸予備設計は別途計上する。 ２．標準的な護岸の設計業務内容を示すものであり、設計条件に応じて業務内容を増減して運用するものとする。	

条件名	A	条件名称	設計業務種別
01	標準歩掛　片岸		
02	標準歩掛　両岸		

条件名	B	条件名称	設計延長（m）
実数			

設計延長は、1,400mまで

条件名	C	条件名称	基礎地盤
01	一般地盤		
02	軟弱地盤		

軟弱地盤とは、護岸の基礎工が計画される位置に下記条件の地層が3m以上あるケースとする。

１）粘土地盤の場合
　①標準貫入試験によるＮ値が3以下の地盤
　②オランダ式二重管コーン貫入値が0.3N／mm2以下の地盤
　③スウェーデン式サウンディング試験において980N以下の荷重で沈下する地盤
　④一軸圧縮強さquが0.06N／mm2以下の地盤
　⑤自然含水比が40％以上の沖積粘土の地盤
２）有機質土の地盤の場合
３）砂地盤の場合
　①標準貫入試験によるN値が10以下の地盤
　②粒径の揃った細砂の地盤

条件名	D	条件名称	測点間隔（m）
01	20～25m		
02	40～50m		

施工単価コード SF131

条件名	E	条件名称	地域区分
＊ 01	一般地区		
02	市街化地区		

条件名	F	条件名称	基準歩掛の補正
実数	条件省略値:0		

補正値は、1.0まで

施工単価コード SC282

施工単価名称	砂防堰堤予備設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～G

出力名称	砂防堰堤予備設計
規格名称１	堰堤高Ｈ＝15m未満に適用
規格名称２	
適用条件	
堰堤高Ｈ＝15m未満とする。	

条件名	A	条件名称	現地踏査必要の有無（構成項目12）
01	現地踏査を行う		
02	現地踏査を行わない		

条件名	B	条件名称	基礎工検討（施設設計）の有無
01	基礎工検討を行う		
02	基礎工検討を行わない		

条件名	C	条件名称	景観検討（施設設計）の有無
01	景観検討を行う		
02	景観検討を行わない		

条件名	D	条件名称	打合せの有無
01	打合せを行う		
02	打合せを行わない		

条件名	E	条件名称	中間打ち合せ回数（標準は2回とする）
実数			

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（01～05）
実数	条件省略値:0		

G<1の時、F=Gとなるように入力する

施工単価コード SC282

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（06～10，12～13）
実数	条件省略値:0		

F<1の時、G=Fとなるように入力

施工単価コード SC283

施工単価名称	砂防堰堤詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～N

出力名称	砂防堰堤詳細設計
規格名称１	重力式（堰堤高Ｈ＝15m未満）
規格名称２	
適用条件	
１．重力式（透過型・不透過型、堰堤高Ｈ＝15m未満）とする。 ２．重力式透過型砂防堰堤のスリット部はコンクリート製及び鋼製に適用する。	

条件名	A	条件名称	設計堰堤基数
実数	条件省略値:1		

条件名	B	条件名称	現地踏査必要の有無（構成項目11）
01	現地踏査を行う		
02	現地踏査を行わない		

条件名	C	条件名称	本堰堤工（施設設計）区分
01	透過型		
02	不透過型		

条件名	D	条件名称	副堰堤設計（施設設計）の有無
01	副堰堤の設計を行う		
02	副堰堤の設計を行わない		

条件名	E	条件名称	水叩き工（施設設計）の箇所数（箇所／基）
実数			

0を入力した場合、水叩き工（施設設計）は計上されない。

条件名	F	条件名称	側壁護岸工（施設設計）の箇所数(箇所／基)
実数			

0を入力した場合、側壁護岸工（施設設計）は計上されない。

施工単価コード SC283

条件名	G	条件名称	床固工設計（施設設計）の有無
01	床固工設計を行う		
02	床固工設計を行わない		

条件名	H	条件名称	流末処理工(護岸工含)(施設設計)のm数(m/基
実数			

0を入力した場合、流末処理工（護岸工含む）（施設設計）は計上されない。

条件名	I	条件名称	基礎工設計（施設設計）の有無
01	基礎工設計を行う		
02	基礎工設計を行わない		

条件名	J	条件名称	景観設計（施設設計）の有無
01	景観設計を行う		
02	景観設計を行わない		

条件名	K	条件名称	打合せの有無
01	打合せを行う		
02	打合せを行わない		

条件名	L	条件名称	中間打合せ回数（標準は5回とする）
実数	条件省略値:5		

条件名	M	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

N<1の時、M=Nとなるように入力

条件名	N	条件名称	構成項目の選択（05～09，11～12）
実数	条件省略値:0		

M<1の時、N=Mとなるように入力

施工単価コード　SC288

施工単価名称	渓流保全工　詳細設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	業務	条件	A～M

出力名称	渓流保全工　詳細設計
規格名称１	渓流保全工延長（Ａ条件値）ｍ
規格名称２	
適用条件	
渓流保全工延長250m以下、渓流保全工幅60m以下とし、渓流保全工延長250mを超え1000m以下については歩掛補正率による。ただし、渓流保全工延長1000mを超えるもの、渓流保全工幅60mを超えるものについては別途計上する。	

条件名	A	条件名称	渓流保全工延長（ｍ）
実数			

渓流保全工延長は、1,000mまで

条件名	B	条件名称	現地踏査必要の有無
01	現地踏査を行う		
02	現地踏査を行わない		

条件名	C	条件名称	護岸工の設計（施設設計）の有無
01	護岸工の設計を行う		
02	護岸工の設計を行わない		

条件名	D	条件名称	床固工設計（施設設計）基数
実数	条件省略値:0		

条件名	E	条件名称	帯工設計（施設設計）基数
実数	条件省略値:0		

条件名	F	条件名称	護床工の設計（施設設計）の有無
01	護床工の設計を行う		
02	護床工の設計を行わない		

施工単価コード SC288

条件名	G	条件名称	管理用道路設計（施設設計）の有無
01	管理用道路設計を行う		
02	管理用道路設計を行わない		

条件名	H	条件名称	取水工・排水工設計（施設設計）基数
実数	条件省略値:0		

条件名	I	条件名称	景観設計（施設設計）の有無
01	景観設計を行う		
02	景観設計を行わない		

条件名	J	条件名称	打合せの有無
01	打合せを行う		
02	打合せを行わない		

条件名	K	条件名称	中間打合せ回数（標準は2回とする）
実数			

条件名	L	条件名称	構成項目の選択（01～03）
実数	条件省略値:0		

M<1の時、L=Mとなるように入力

条件名	M	条件名称	構成項目の選択（04～08，11～12）
実数	条件省略値:0		

L<1の時、M=Lとなるように入力

施工単価コード　SC901

施工単価名称	標準歩掛外設計委託施工単価１						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～J

出力名称	標準歩掛外設計委託施工単価１
規格名称１	（規格１名称）
規格名称２	（規格２名称）

条件名	A	条件名称	歩掛名称

01	道路概略設計
02	道路予備設計
03	道路実施設計
04	歩道実施設計
05	橋梁予備設計
06	橋梁概略設計
07	橋梁実施設計
08	維持修繕設計
09	歩道実施設計
10	交差点設計
11	一般構造物設計
12	取付構造物設計
13	構造物修繕設計
14	小構造物設計
15	上部工設計
16	下部工設計
17	基礎工設計
18	橋台設計
19	橋脚設計
20	横断歩道橋設計
21	側道橋設計
22	側道橋予備設計
23	側道橋詳細設計

施工単価コード SC901

条件名	A	条件名称	歩掛名称

24	樋管実施設計
25	樋函実施設計
26	隧道本体予備設計
27	隧道本体実施設計
28	隧道設備予備設計
29	隧道設備実施設計
30	水門概略設計
31	水門実施設計
32	堰概略設計
33	堰実施設計
34	ダム本体予備設計
35	ダム本体実施設計
36	ダム設備予備設計
37	ダム設備実施設計
38	排水機場概略設計
39	排水機場比較設計
40	排水機場実施設計
41	仮設構造物設計
42	仮設計画設計
43	仮設施設設計
44	築堤護岸概略設計
45	築堤護岸詳細設計
46	護岸概略設計
47	護岸詳細設計
48	矢板式護岸設計
49	砂防全体設計
50	砂防実施設計
51	砂防構造物設計
52	砂防ダム設計
53	渓流保全工設計
54	港湾概略設計

施工単価コード SC901

条件名	A	条件名称	歩掛名称

55	港湾実施設計
56	港湾附属構造物設計
57	港湾設備設計
58	土質調査
59	地質調査
60	環境調査
61	公害調査
62	流量調査
63	流速調査
64	路線調査
65	道路交通量調査
66	機械設備工事
67	電機設備工事
68	通信設備工事
69	配管工事
70	
71	流量検討
72	流量決定

条件名	B	条件名称	規格１名称

01	基準構造物
02	類似構造物
03	標準設計
04	予備設計あり
05	予備設計なし
06	標準設計利用
07	標準設計採用
08	標準設計準拠
09	予備設計
10	概略設計
11	詳細設計

施工単価コード SC901

条件名	B	条件名称	規格１名称

12	実施設計
13	一車線
14	二車線
15	四車線
16	六車線
17	片岸設計
18	両岸設計
19	片側設計
20	両側設計
21	附属設備
22	本体設備
23	照明設備
24	情報設備
25	動力設備
26	強電設備
27	弱電設備
28	無線設備
29	電子設備
30	制御設備
31	発電設備
32	配管設備
33	配線設備
34	空調設備
35	機械設備
36	環境設備
37	調査設備
38	文化設備
39	公園設備
40	
41	河川計画

施工単価コード SC901

条件名	C	条件名称	規格２名称

01	現地調査
02	路線選定
03	設計計画
04	平面計画
05	縦断計画
06	横断計画
07	応力計算
08	設計図
09	材料計算
10	照査
11	架設計画
12	仮設計画
13	全体計画
14	数量計算工費算定
15	数量計算
16	工費算定
17	報告書作成
18	平面及び縦断計画
19	土工数量計算
20	小構造物
21	スベリ安定解析
22	安定解析
23	ゲート自動操作
24	本体計画
25	換気検討
26	設計製図
27	現地立会
28	線形図作成
29	資料外集
30	資料整理
31	検討

施工単価コード SC901

条件名	C	条件名称	規格２名称

32	打ち合せ
33	計画検討
34	資料解析
35	資料収集
＊ 36	
37	計画準備
38	流出係数整理
39	流域河道分割
40	計算モデル
41	検証計算
42	計画降雨作成
43	基本高水流量検討
44	基本高水流量決定
45	計画高水流量検討
46	計画高水流量決定

条件名	D	条件名称	主任技術者
実数	条件省略値:0		

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

条件名	E	条件名称	技師長
実数	条件省略値:0		

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

条件名	F	条件名称	主任技師
実数	条件省略値:0		

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

条件名	G	条件名称	技師（A）
実数	条件省略値:0		

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

施工単価コード SC901

条件名	H	条件名称	技師（B）
実数	条件省略値:0		

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

条件名	I	条件名称	技師（C）
実数	条件省略値:0		

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

条件名	J	条件名称	技術員
実数	条件省略値:0		

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

施工単価コード SC902

施工単価名称	標準歩掛外設計委託施工単価２						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～J

出力名称	標準歩掛外設計委託施工単価２
規格名称１	（規格１名称）
規格名称２	（規格２名称）

条件名	A	条件名称	歩掛名称

01	現地調査
02	路線選定
03	設計計画
04	平面計画
05	縦断計画
06	横断計画
07	応力計算
08	設計図
09	材料計算
10	照査
11	架設計画
12	仮設計画
13	全体計画
14	数量計算工費算定
15	数量計算
16	工費算定
17	報告書作成
18	平面及び縦断計画
19	土工数量計算
20	小構造物
21	スベリ安定解析
22	安定解析
23	ゲート自動操作

施工単価コード SC902

条件名	A	条件名称	歩掛名称

24	本体計画
25	換気検討
26	設計製図
27	現地立会
28	線形図作成
29	資料外集
30	資料整理
31	検討
32	打ち合せ
33	計画検討
34	資料解析
35	資料収集
36	
37	計画準備
38	流出係数整理
39	流域河道分割
40	計算モデル
41	検証計算
42	計画降雨作成
43	基本高水流量検討
44	基本高水流量決定
45	計画高水流量検討
46	計画高水流量決定

条件名	B	条件名称	規格１名称

01	道路概略設計
02	道路予備設計
03	道路実施設計
04	歩道実施設計
05	橋梁予備設計
06	橋梁概略設計

施工単価コード SC902

条件名	B	条件名称	規格１名称

07	橋梁実施設計
08	維持修繕設計
09	歩道実施設計
10	交差点設計
11	一般構造物設計
12	取付構造物設計
13	構造物修繕設計
14	小構造物設計
15	上部工設計
16	下部工設計
17	基礎工設計
18	橋台設計
19	橋脚設計
20	横断歩道橋設計
21	側道橋設計
22	側道橋予備設計
23	側道橋詳細設計
24	樋管実施設計
25	樋函実施設計
26	隧道本体予備設計
27	隧道本体実施設計
28	隧道設備予備設計
29	隧道設備実施設計
30	水門概略設計
31	水門実施設計
32	堰概略設計
33	堰実施設計
34	ダム本体予備設計
35	ダム本体実施設計
36	ダム設備予備設計
37	ダム設備実施設計

施工単価コード SC902

条件名	B	条件名称	規格１名称

38	排水機場概略設計
39	排水機場比較設計
40	排水機場実施設計
41	仮設構造物設計
42	仮設計画設計
43	仮設施設設計
44	築堤護岸概略設計
45	築堤護岸詳細設計
46	護岸概略設計
47	護岸詳細設計
48	矢板式護岸設計
49	砂防全体設計
50	砂防実施設計
51	砂防構造物設計
52	砂防ダム設計
53	渓流保全工設計
54	港湾概略設計
55	港湾実施設計
56	港湾附属構造物設計
57	港湾設備設計
58	土質調査
59	地質調査
60	環境調査
61	公害調査
62	流量調査
63	流速調査
64	路線調査
65	道路交通量調査
66	機械設備工事
67	電機設備工事
68	通信設備工事

施工単価コード SC902

条件名	B	条件名称	規格１名称

69	配管工事
70	
71	流量検討
72	流量決定

条件名	C	条件名称	規格２名称

01	基準構造物
02	類似構造物
03	標準設計
04	予備設計あり
05	予備設計なし
06	標準設計利用
07	標準設計採用
08	標準設計準拠
09	予備設計
10	概略設計
11	詳細設計
12	実施設計
13	一車線
14	二車線
15	四車線
16	六車線
17	片岸設計
18	両岸設計
19	片側設計
20	両側設計
21	附属設備
22	本体設備
23	照明設備
24	情報設備
25	動力設備

施工単価コード SC902

条件名	C	条件名称	規格２名称

26	強電設備
27	弱電設備
28	無線設備
29	電子設備
30	制御設備
31	発電設備
32	配管設備
33	配線設備
34	空調設備
35	機械設備
36	環境設備
37	調査設備
38	文化設備
39	公園設備
40	
41	河川計画

条件名	D	条件名称	主任技術者

実数	条件省略値:0

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

条件名	E	条件名称	技師長

実数	条件省略値:0

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

条件名	F	条件名称	主任技師

実数	条件省略値:0

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

条件名	G	条件名称	技師（A）

実数	条件省略値:0

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

施工単価コード SC902

条件名	H	条件名称	技師（B）
実数	条件省略値:0		

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

条件名	I	条件名称	技師（C）
実数	条件省略値:0		

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

条件名	J	条件名称	技術員
実数	条件省略値:0		

省略又は0入力で、構成項目を削除する。

施工単価コード SC280

施工単価名称	水門設備予備設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～H

出力名称	水門設備予備設計
規格名称１	扉体面積（Ｂ条件値）m2
規格名称２	門数（Ｆ条件値）

条件名	A	条件名称	設備区分
01	水門設備		
02	小形水門設備		

小形水門設備とは、扉体面積が10m2未満のゲートをいう。
水門設備とは、扉体面積が10m2以上200m2未満のゲートをいう。

条件名	B	条件名称	扉体面積（m2）
実数			

標準工数算定式　水門設備　　：Ｙ＝0.24ｘ＋15.9
　　小形水門設備：Ｙ＝0.98ｘ＋ 6.2
　　Ｙ＝標準工数（人工／門）、ｘ＝扉体面積（m2／門）

条件名	C	条件名称	開閉方式
01	ワイヤロープウインチ式		
02	油圧シリンダ式		
03	ラック式		

A=1のとき、C条件は選択可能。

条件名	D	条件名称	ゲート形式
01	ローラーゲート		
02	スライドゲート		

A=2のとき、D条件は選択可能。

条件名	E	条件名称	小形水門設備の開閉装置の種別
01	電動式		
02	手動式		

A=2のとき、E条件は選択可能。

施工単価コード SC280

条件名	F	条件名称	門数

01	1門
02	2門
03	3門
04	4門
05	5門

同形状規格のものを複数門同時設計する場合には、標準工数に門数による補正係数を乗ずるものとする。

条件名	G	条件名称	構成項目の選択（01～04）

実数	条件省略値:0

条件名	H	条件名称	構成項目の選択（05～08）

実数	条件省略値:0

施工単価コード　SC281

施工単価名称	ポンプ設備予備設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～F

出力名称	ポンプ設備予備設計
規格名称１	ポンプ口径（Ｂ条件値）mm
規格名称２	台数（Ｃ条件値）

条件名	A	条件名称	設備区分
01	渦巻、水中ポンプ		
02	軸流、斜流ポンプ		

標準歩掛の範囲は、渦巻、水中ポンプの場合　口径40mm～1,200mm、軸流、斜流ポンプの場合は、口径400mm～2,000mmの設計とする。

条件名	B	条件名称	ポンプ口径（mm）
実数			

標準工数算定式　渦巻、水中ポンプ：Ｙ＝0.033ｘ＋49.0
軸流、斜流ポンプ：Ｙ＝0.019ｘ＋44.0
Ｙ＝標準工数（人／2台）、ｘ＝ポンプ口径(mm)

条件名	C	条件名称	台数
01	1台		
02	2台		
03	3台		
04	4台		
05	5台		

同一口径ポンプ2台の設計を標準とし、他の組合せについては、標準工数に台数による補正係数を乗ずるものとする。

条件名	D	条件名称	異種・異口径種類
01	1種類		
02	2種類		
03	3種類		
＊ 04	異種・異口径なし		

異種・異口径のポンプを同時に設計する場合には、各口径・形式毎に工数を求め、異種・異口径による補正係数を乗ずるものとする。
C=2～5のとき、D＝1～3は選択可能。

施工単価コード SC281

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

条件名	F	条件名称	構成項目の選択（05～08）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SC495

施工単価名称	消融雪設備設計						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～E

出力名称	消融雪設備設計
規格名称１	
規格名称２	

条件名	A	条件名称	設計区分
01	消雪設備　地下水		
02	消雪設備　河川水		
03	融雪設備　空気熱		
04	融雪設備　電熱		

条件名	B	条件名称	要素Ｘ（ｍ又はm2）
実数			

条件名	C	条件名称	箇所数
01	1箇所		
02	2箇所		

条件名	D	条件名称	構成項目の選択（01～04）
実数	条件省略値:0		

条件名	E	条件名称	構成項目の選択（05～08）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード　SH381

施工単価名称	**計画準備**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	

出力名称	計画準備
規格名称１	計画準備
規格名称２	数値波動水槽(CADMAS-SURF)による検討業務

施工単価コード　SH382

施工単価名称	**協議・報告**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件	A

出力名称	協議・報告
規格名称１	（作業区分）
規格名称２	数値波動水槽(CADMAS-SURF)による検討業務

条件名	A	条件名称	作業区分

01	事前協議
02	中間報告
03	最終報告

施工単価コード　SH383

施工単価名称	**資料収集・整理**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	ケース	条件	

出力名称	資料収集・整理
規格名称１	自然・構造物条件等の把握
規格名称２	数値波動水槽(CADMAS-SURF)による検討業務

施工単価コード | SH384

施工単価名称	**モデルの設定**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式 or 形状	条件	A

出力名称	モデルの設定
規格名称１	（作業区分）
規格名称２	数値波動水槽(CADMAS-SURF)による検討業務

条件名	A	条件名称	作業区分

01	数値波動水槽(CADMAS-SURF)モデル設定
02	モデル化された海底地形の設定
03	計算パラメータの設定

施工単価コード　SH385

施工単価名称	**作用波の検定**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	ケース	条件	A

出力名称	作用波の検定
規格名称１	（作業区分）
規格名称２	数値波動水槽(CADMAS-SURF)による検討業務

条件名	A	条件名称	作業区分

01	規則波の場合
02	不規則波の場合
03	津波の場合

施工単価コード SH386

施工単価名称	**構造物・計測点の設定**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	断面 or 式	条件	A

出力名称	構造物・計測点の設定
規格名称１	（作業区分）
規格名称２	数値波動水槽(CADMAS-SURF)による検討業務

条件名	A	条件名称	作業区分
01	計算格子上への構造物の設定		
02	（水位・流速・波圧）計測点の設定		

施工単価コード SH387

施工単価名称	**数値解析の実施**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	ｹｰｽor項目	条件	A

出力名称	数値解析の実施
規格名称１	（作業区分）
規格名称２	数値波動水槽(CADMAS-SURF)による検討業務

条件名	A	条件名称	作業区分

01	規則波の場合
02	不規則波の場合
03	津波の場合
04	解析結果の整理
05	解析結果の分析

施工単価コード SH388

施工単価名称	**照査**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	

出力名称	照査
規格名称１	照査
規格名称２	数値波動水槽(CADMAS-SURF)による検討業務

施工単価コード SH389

施工単価名称	**成果物**						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	

出力名称	成果物
規格名称１	業務完成図書作成
規格名称２	数値波動水槽(CADMAS-SURF)による検討業務